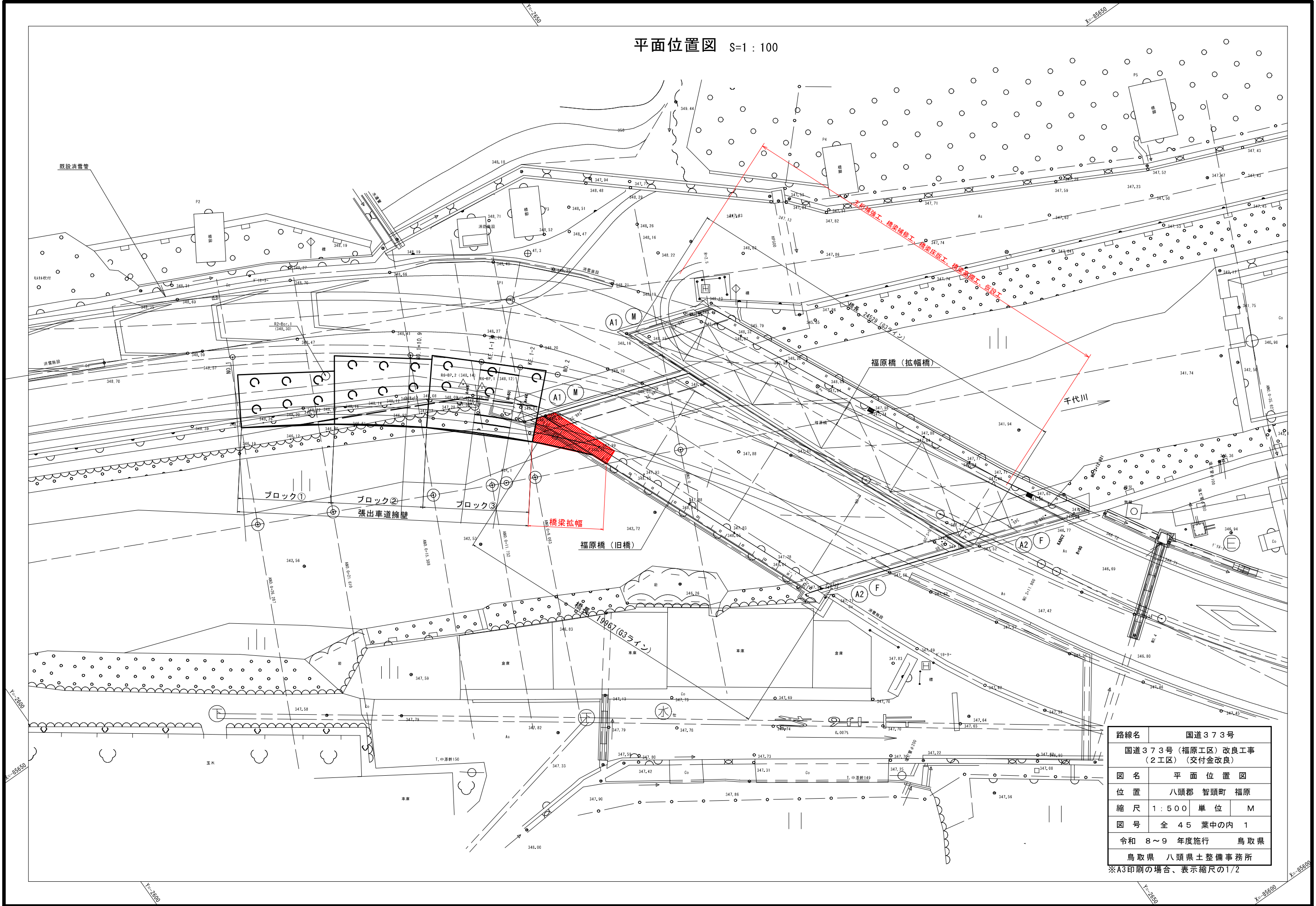


平面位置図 S=1:100



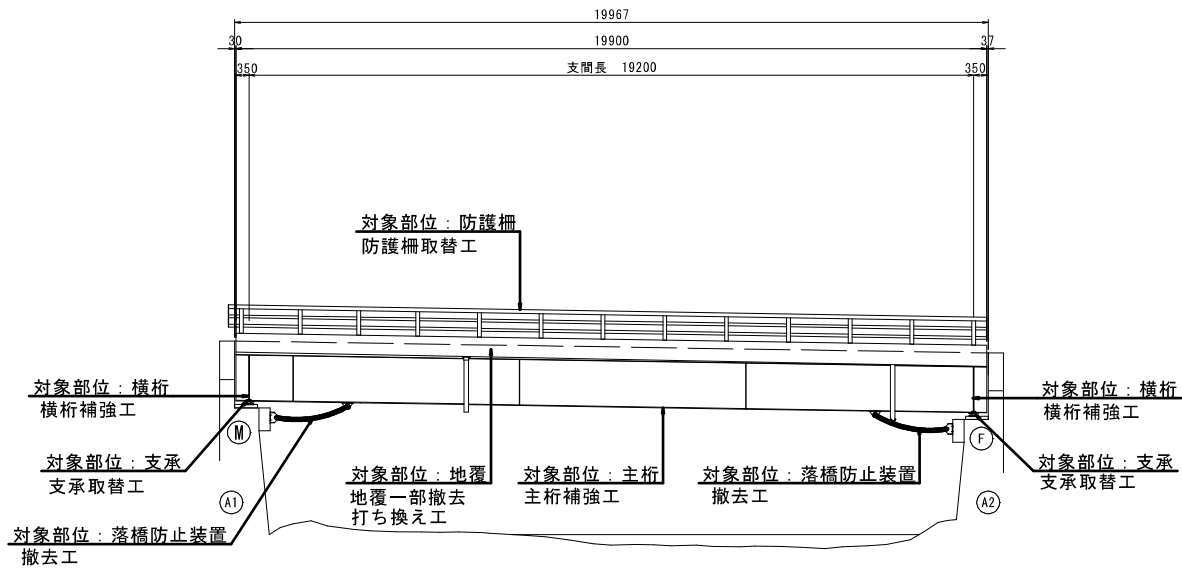
路線名	国道373号		
	国道373号(福原区)改良工事 (2工区)(交付金改良)		
図名	平面位置図		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	1:500	単位	M
図号	全45葉中の内1		
令和	8~9年度施行		
	鳥取県		
	鳥取県 八頭県土整備事務所		

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

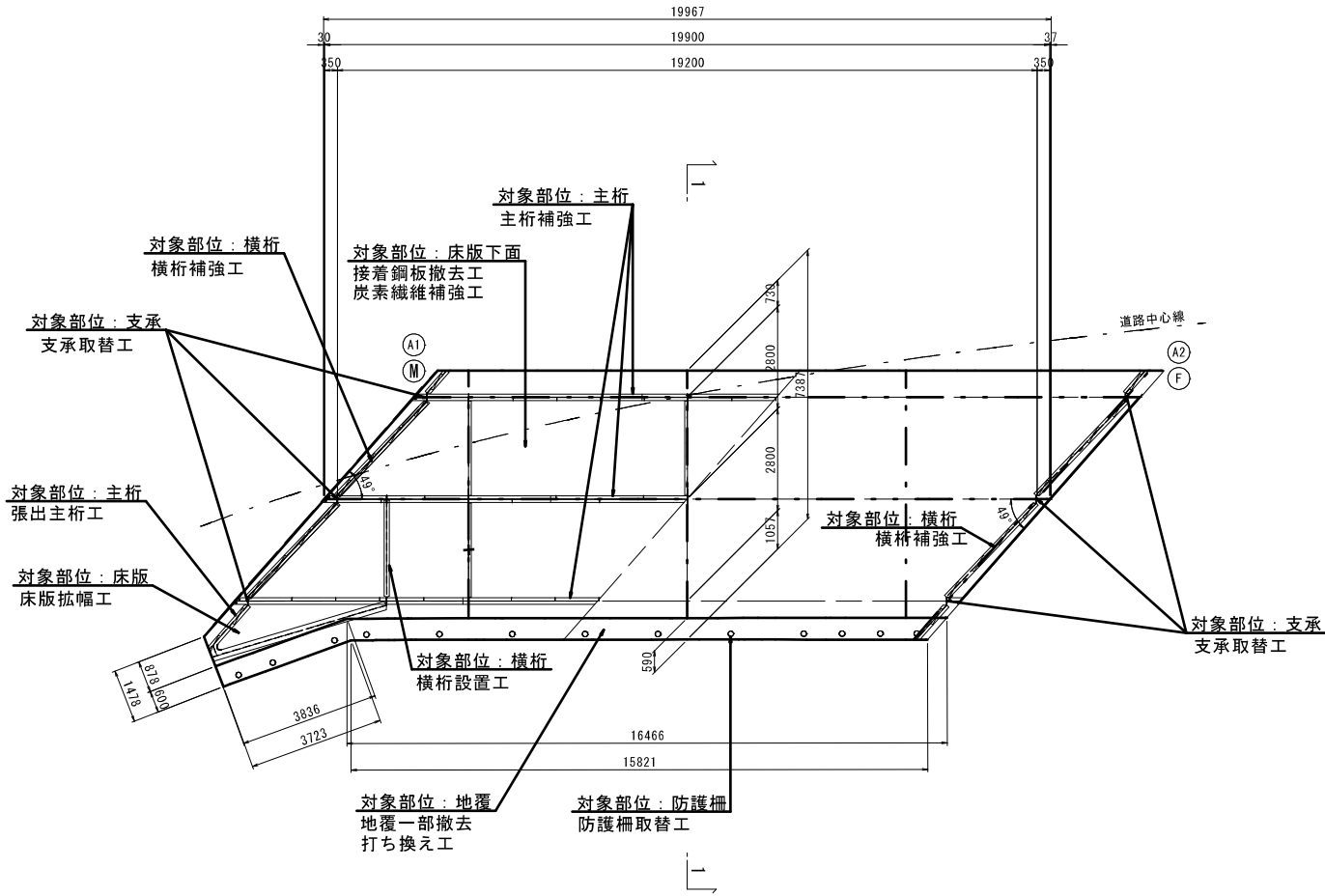
上部工補修補強一般図（その１）

旧橋部

側面図 S=1/100

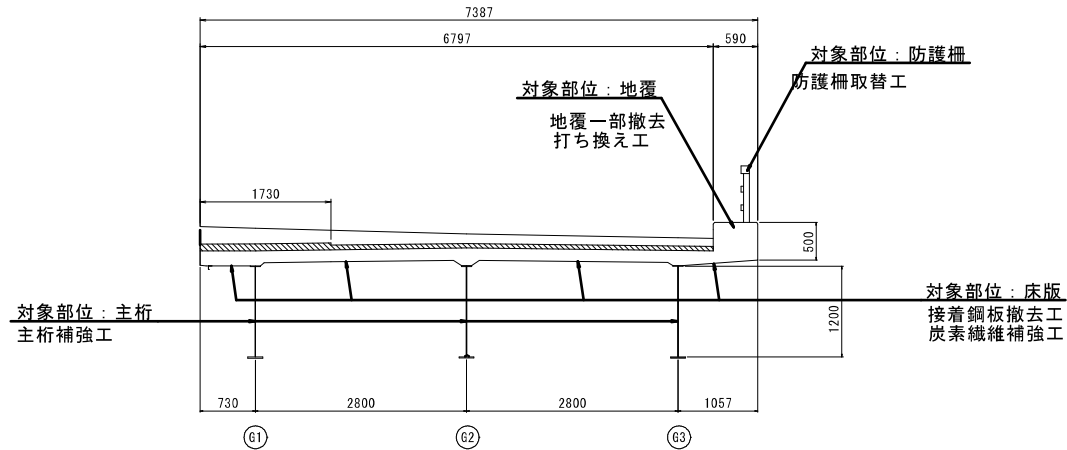


平面図 S=1/100



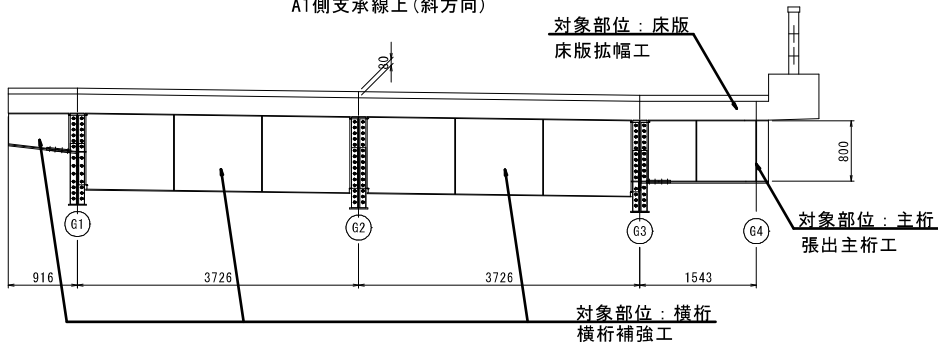
断面図 S=1/50

1-1断面



拡幅後断面図 S=1/50

A1側支承線上(斜方向)



橋梁補修補強一覧

対象部材	工 法
主桁	主桁補強工、張出主桁工
横桁	横桁補強工、横桁設置工
床版	床版拡幅工
床版（上面）	上面増厚工（t=7cm、t=10cm（部分的に補強鉄筋配置））
床版（下面）	接着鋼板撤去 ⇒ 炭素繊維補強工（eプレート工法同等品）
支承	支承取替工（高面圧コンパクト支承同等品）
地覆	地覆一部撤去 ⇒ 地覆打ち換え工
防護柵	防護柵取替工（H=850、A種、アルミ製）

設 計 条 件

道路規格	第3種4級
設計速度	V=40km/h
活 荷 重	B活荷重
重要度区分	B種
有効幅員	車道部：7,939m～7,062m
平面線形	クロノイド区間（R=90m～R=60m）
縦断勾配	-2.152‰～-2.349‰（終点側に下り）
横断勾配	4.859‰～0.743‰（上流側に下り）
橋 長	26.107m（道路中心線上）
桁 長	19,900m（旧橋部G2上）
支 間 長	19,200m（旧橋部G2上）
斜 角	左 49°
上部工形式	活荷重合成鋼鉄桁橋
竣工年	昭和37年（1962年）
適用方書	道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ 平成24年3月

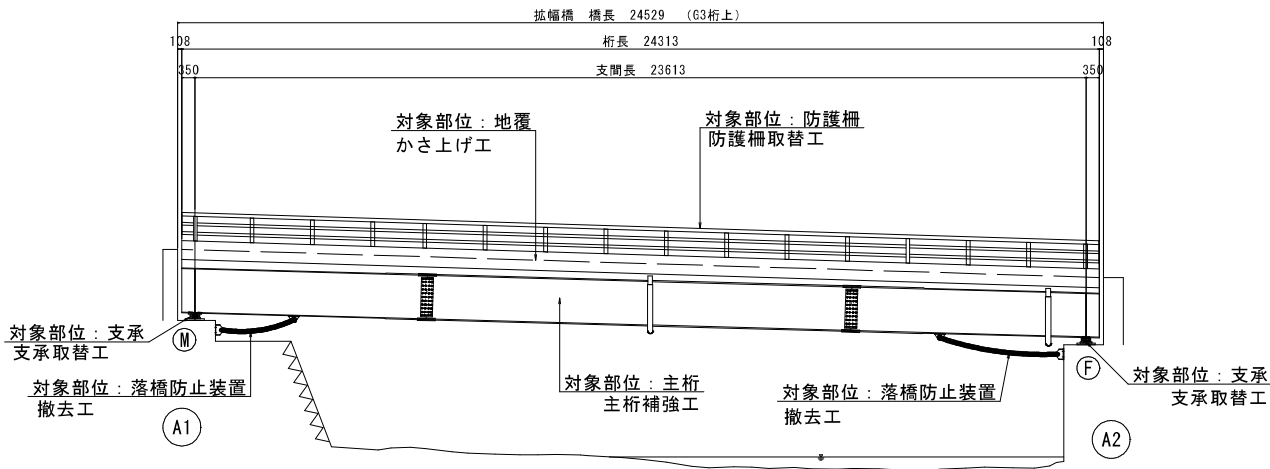
路線名	国道373号		
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）			
図 名	上部工補修一般図(その1)		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 45 葉中の内 2		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

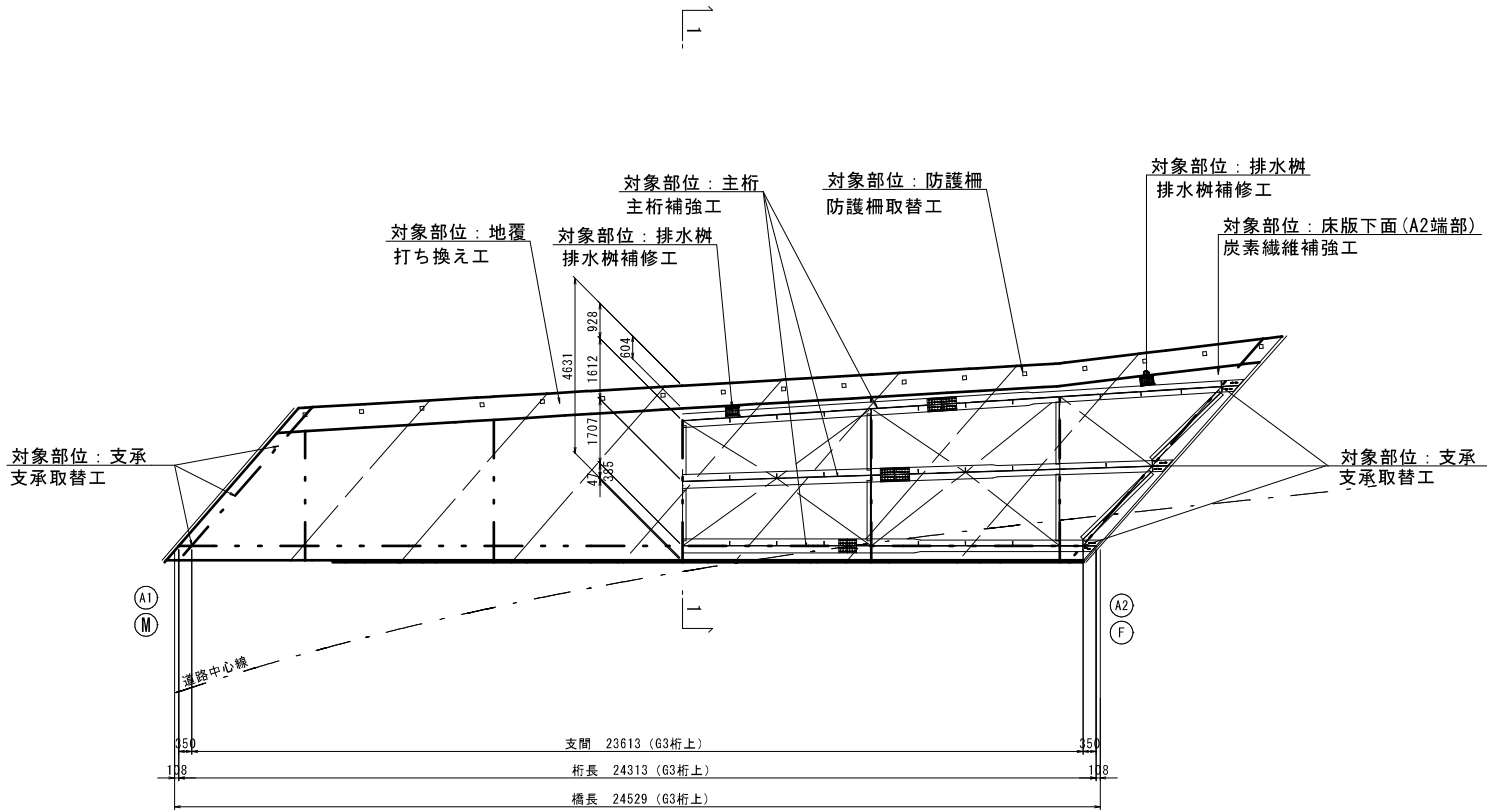
上部工補修補強一般図（その2）

拡幅部

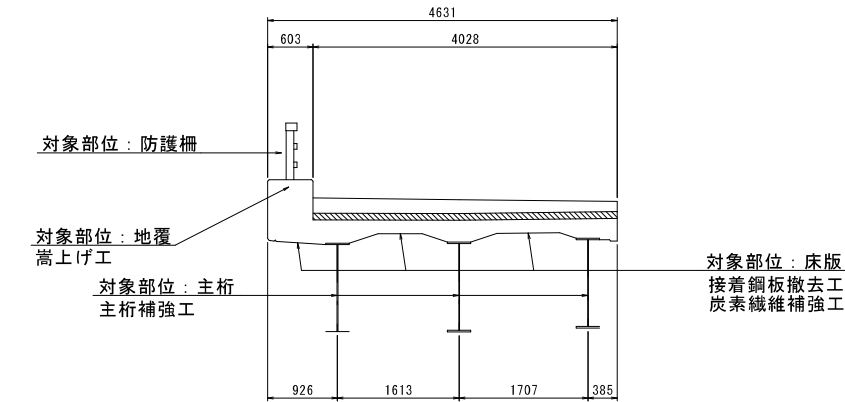
側面図 S=1/100



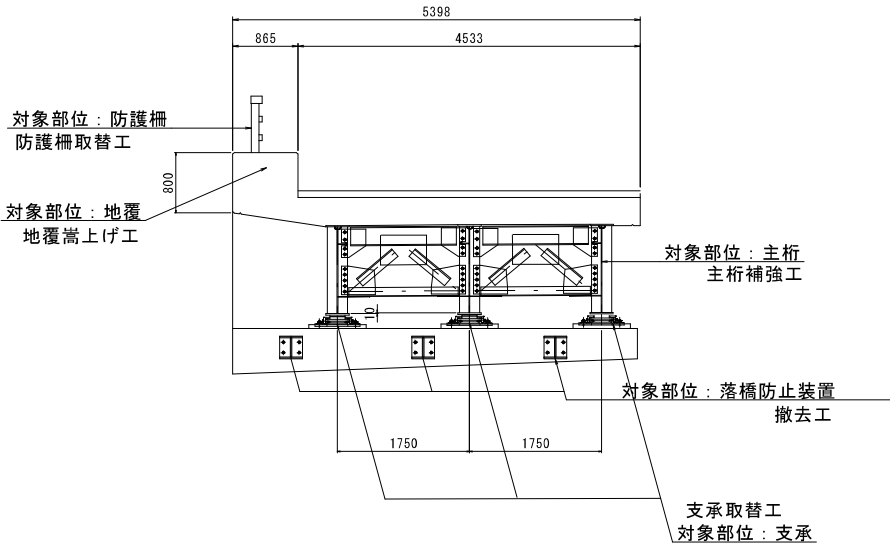
平面図 S=1/100



断面図 S=1/50
1-1断面



A1側支点部断面図 S=1/50



橋梁補修補強一覧

対象部材	工 法
主桁	主桁補強工
床版（上面）	上面増厚工（t=10cm（部分的に補強鉄筋配置））
床版（下面）	炭素繊維補強工（εプレート工法同等品）
支承	支承取替工（高面圧コンパクト支承同等品）
地覆	地覆嵩上げ工
防護柵	防護柵取替工（H=850、A種、アルミ製）
排水柵	排水柵補修工

設 計 条 件

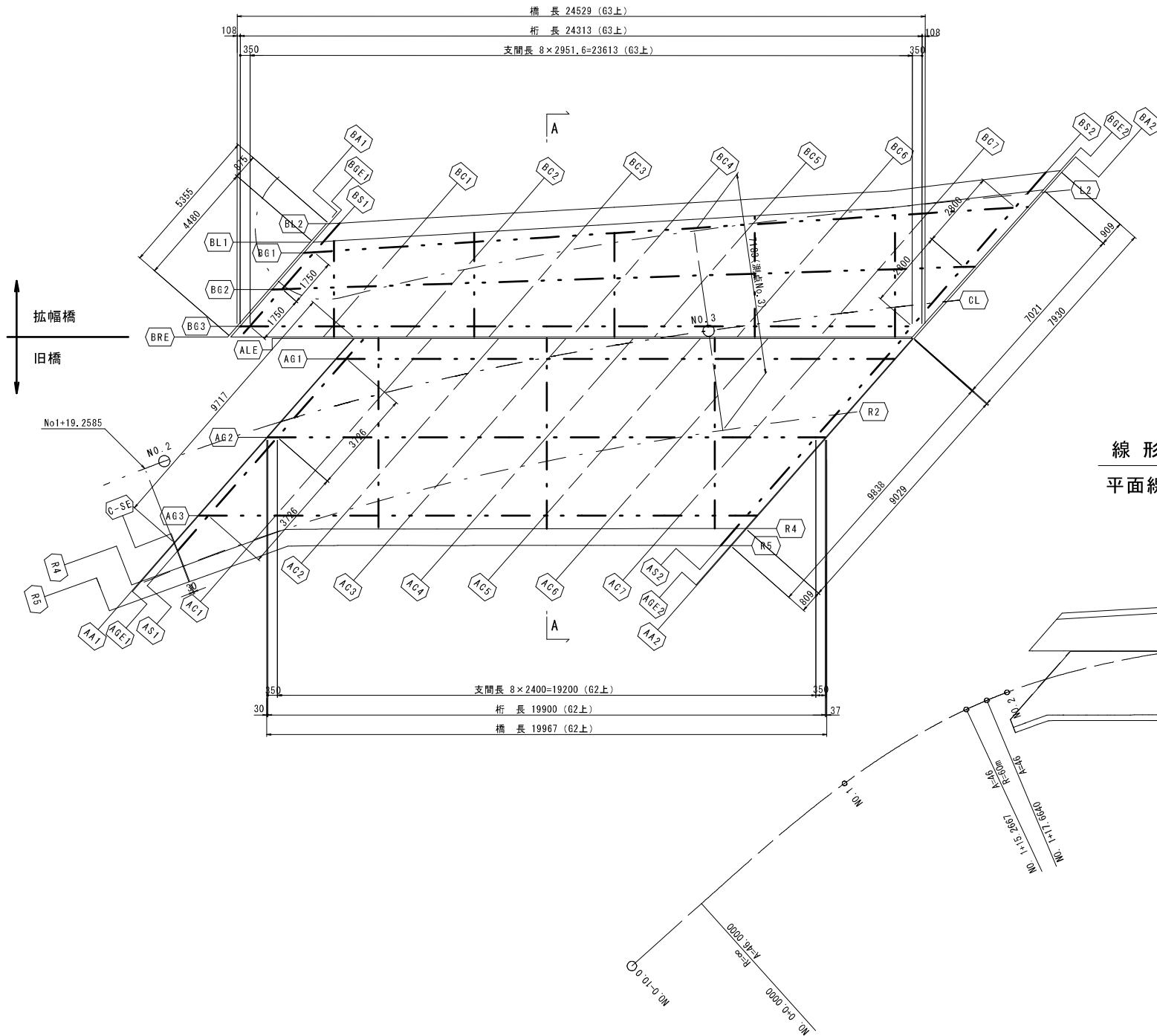
道路規格	第3種4級
設計速度	V=40km/h
活 荷 重	B活荷重
重要度区分	B種
有効幅員	車道部：7.939m～7.062m
平面線形	クロソイド区間（R=90m～R=60m）
縦断勾配	～2.152%～2.349%（終点側に下り）
横断勾配	4.859%～0.743%（上流側に下り）
橋 長	26.107m（道路中心線上）
桁 長	24.313m（拡幅部63上）
支 間 長	23.613m（拡幅部63上）
斜 角	左 49°
上部工形式	活荷重非合成鋼板桁橋
竣工年	昭和60年（1985年）
適用示方書	道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ 平成24年3月

路線名	国道373号
国 道	373号（福原工区）改良工事（2工区）（交付金改良）
図 名	上部工補修一般図（その2）
位 置	八頭郡 智頭町 福原
縮 尺	図示 単 位 M
図 号	全 45 葉中の内 3
令 和	8～9 年度施行 鳥 取 県
鳥 取 県	八頭県土整備事務所

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

線形図（その１）

平面图 S=1:100

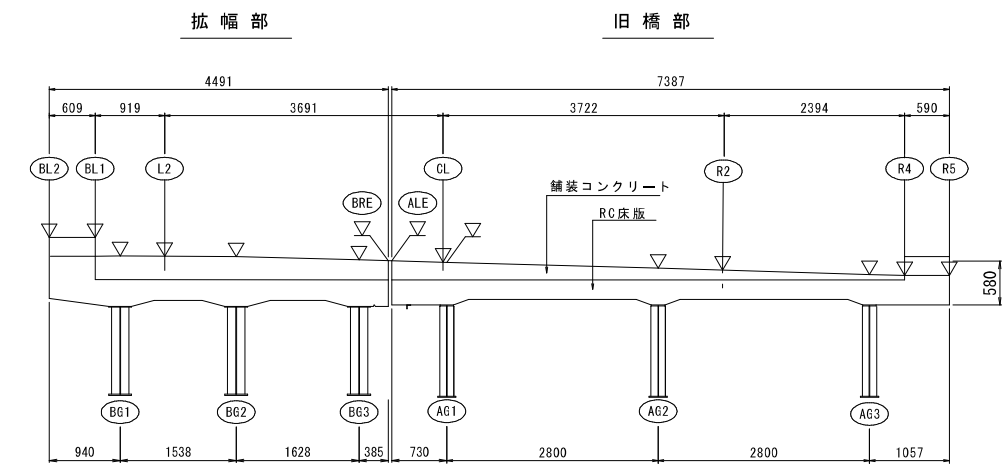


主要点座標

橋軸線名	主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
CL	BPKA1	0+ 0.000	-85672.5360	-2605.2724	A=46	35.2667
	KE. 1-1	1+ 15.267	-85654.4030	-2635.3625		
	KE. 1-2	1+ 17.664	-85652.7545	-2637.1029	R=60	2.3974
	KABC2	3+ 12.931	-85623.6900	-2656.8380	A=46	35.2667
	EC. 2	5+ 12.615	-85594.0721	-2682.7667	R=90	39.6846

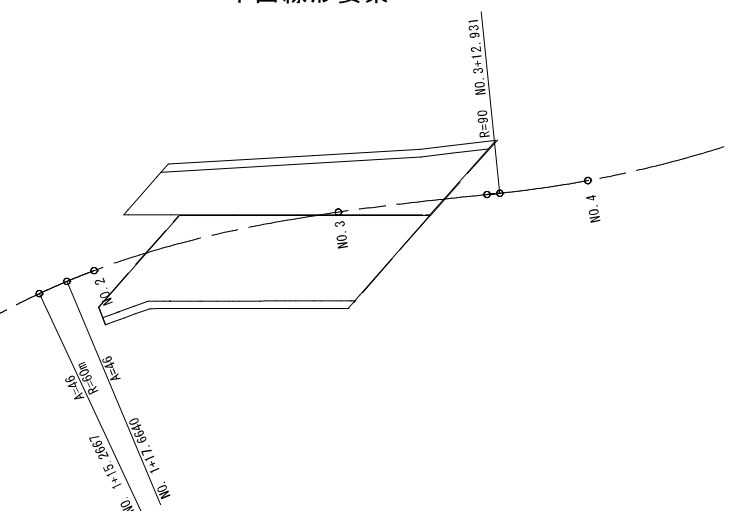
断面図 S=1:50

A-A断面

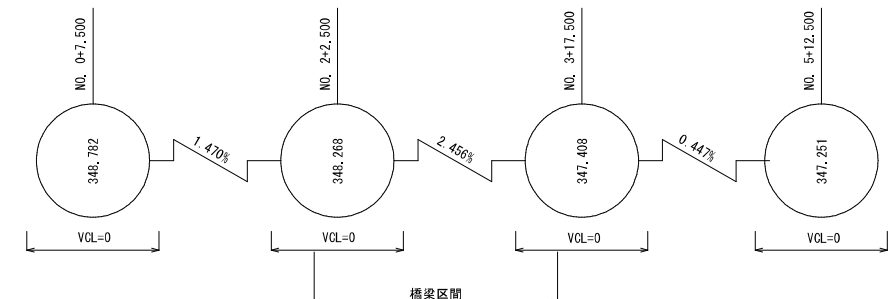


線形要素 S=1:300

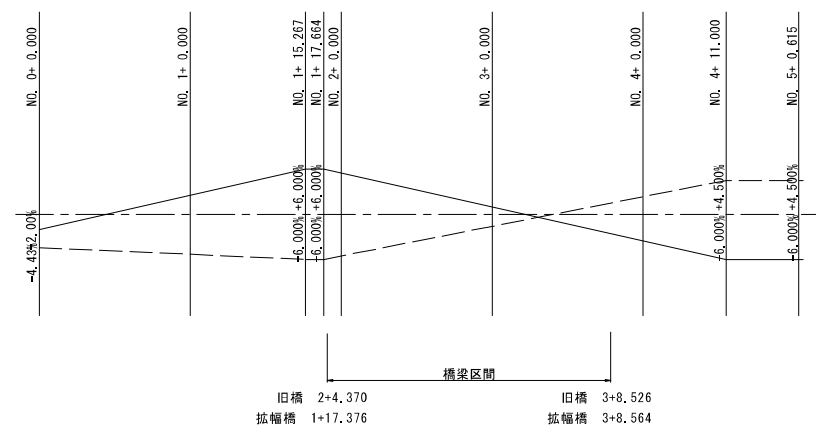
平面線形要素



縦断勾配



横断勾配

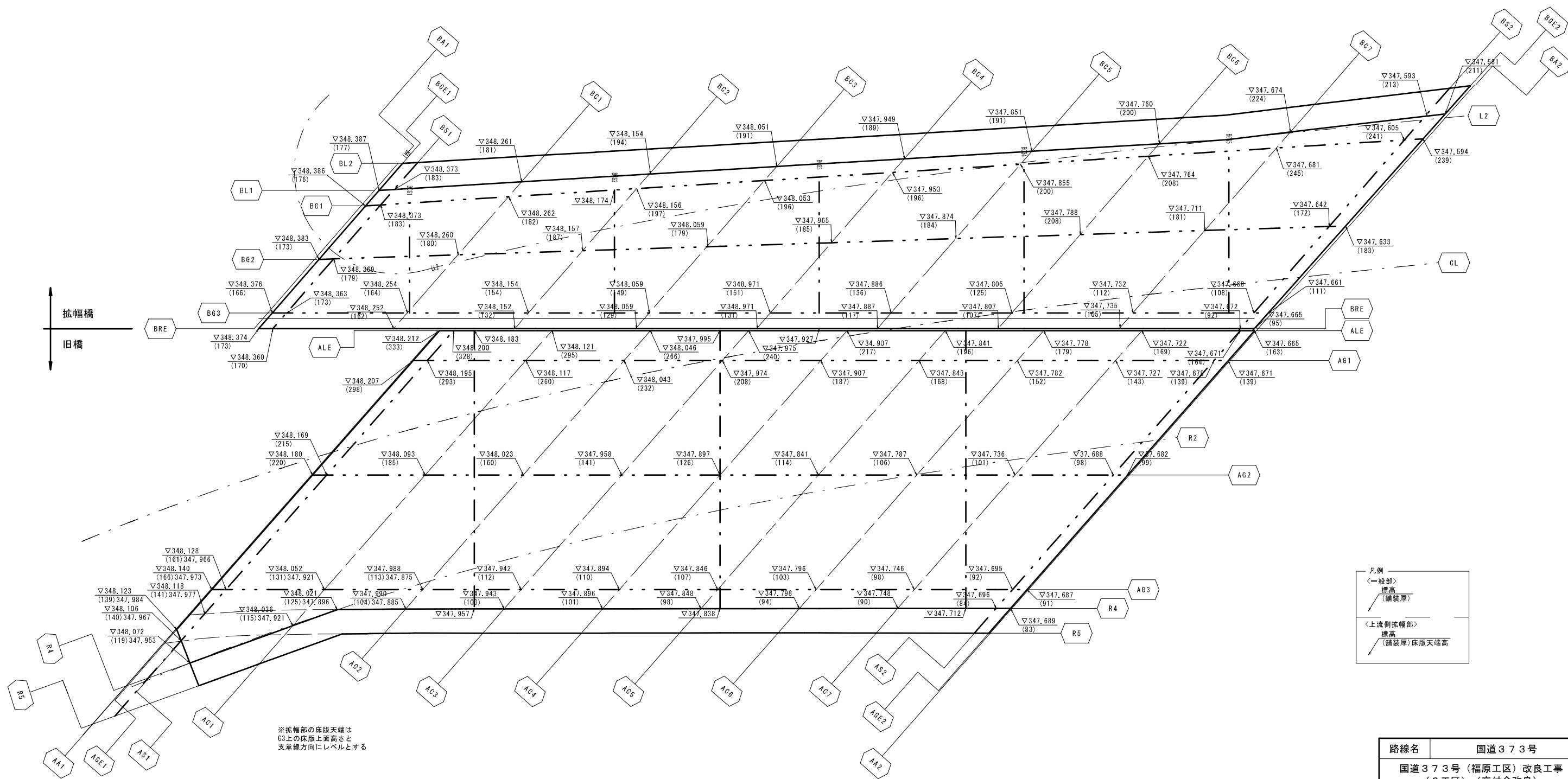


路線名	国道 373 号		
国道 373 号（福原工区）改良工事 （2 工区）（交付金改良）			
図 名	線形図（その 1）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 45 葉中の内 4		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

線形図（その3）

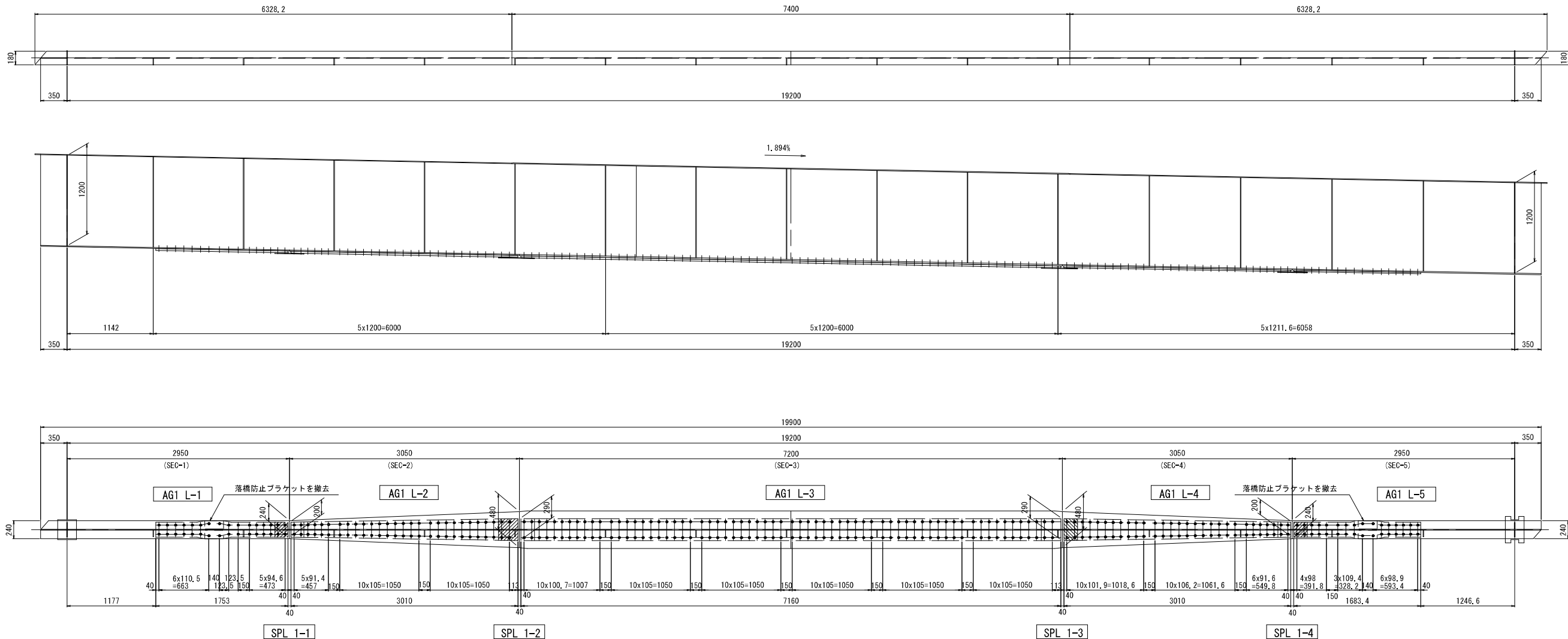
舗装厚図 S=1:50



路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	線形図（その3）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	6
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その１） S=1:30
AG1



AG1 L-1
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 240x 25x1753
28-TCB M22x75 (S10T)

AG1 L-2
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 25x3010
48-TCB M22x80 (S10T)

AG1 L-3
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 25x7160
124-TCB M22x80 (S10T)

AG1 L-4
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 22x3010
50-TCB M22x75 (S10T)

AG1 L-5
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 240x 19x1683
28-TCB M22x70 (S10T)

SPL 1-1
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 205x 9x386
1-FILL PL 200x1.6x175
8-TCB M22x85 (S10T)

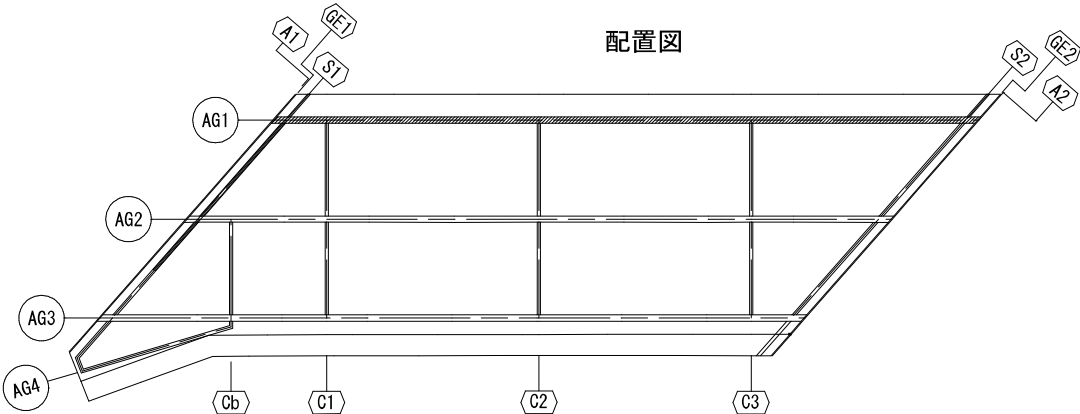
SPL 1-2
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x479
1-FILL PL 290x3.2x258
8-TCB M22x90 (S10T)

SPL 1-3
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x480
1-FILL PL 290x6x182
8-TCB M22x90 (S10T)

SPL 1-4
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 205x 9x390
1-FILL PL 200x4.5x178
8-TCB M22x85 (S10T)

凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

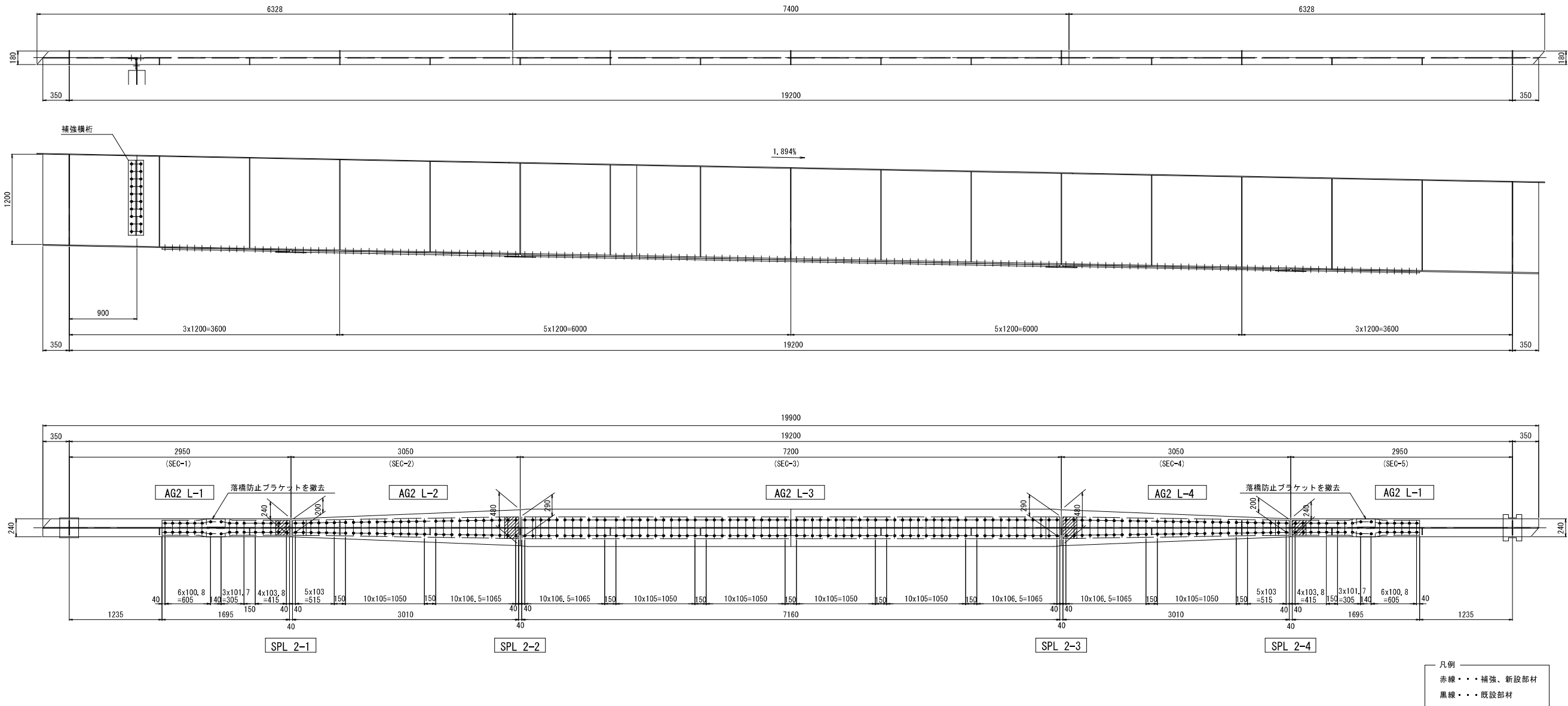
- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカラーップは35Rとする。
 - ⌀印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行之、
既設構造物の寸法確認を行うこと。



路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その１）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	１：３０	単位	mm
図号	全 ４５ 葉中の内 ７		
令和 ８～９ 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その2） S=1:30
AG2



AG2 L-1
1組当たり(製作数: 2)
1-PL 240x 19x1695
28-TCB M22x70 (S10T)

AG2 L-2
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 22x3010
48-TCB M22x75 (S10T)

AG2 L-3
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 22x7160
124-TCB M22x80 (S10T)

AG2 L-4
1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 19x3010
48-TCB M22x70 (S10T)

SPL 2-1
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 206x 9x407
1-FILL PL 200x4, 5x184
8-TCB M22x85 (S10T)

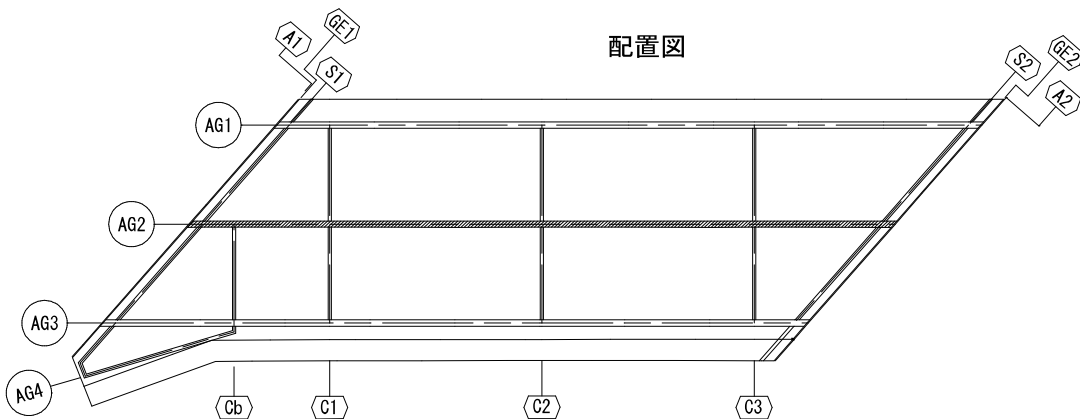
SPL 2-2
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x413
1-FILL PL 290x3, 2x187
8-TCB M22x85 (S10T)

SPL 2-3
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x413
1-FILL PL 290x6x187
8-TCB M22x85 (S10T)

SPL 2-4
1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 206x 9x407
1-FILL PL 200x1, 6x184
8-TCB M22x80 (S10T)

凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

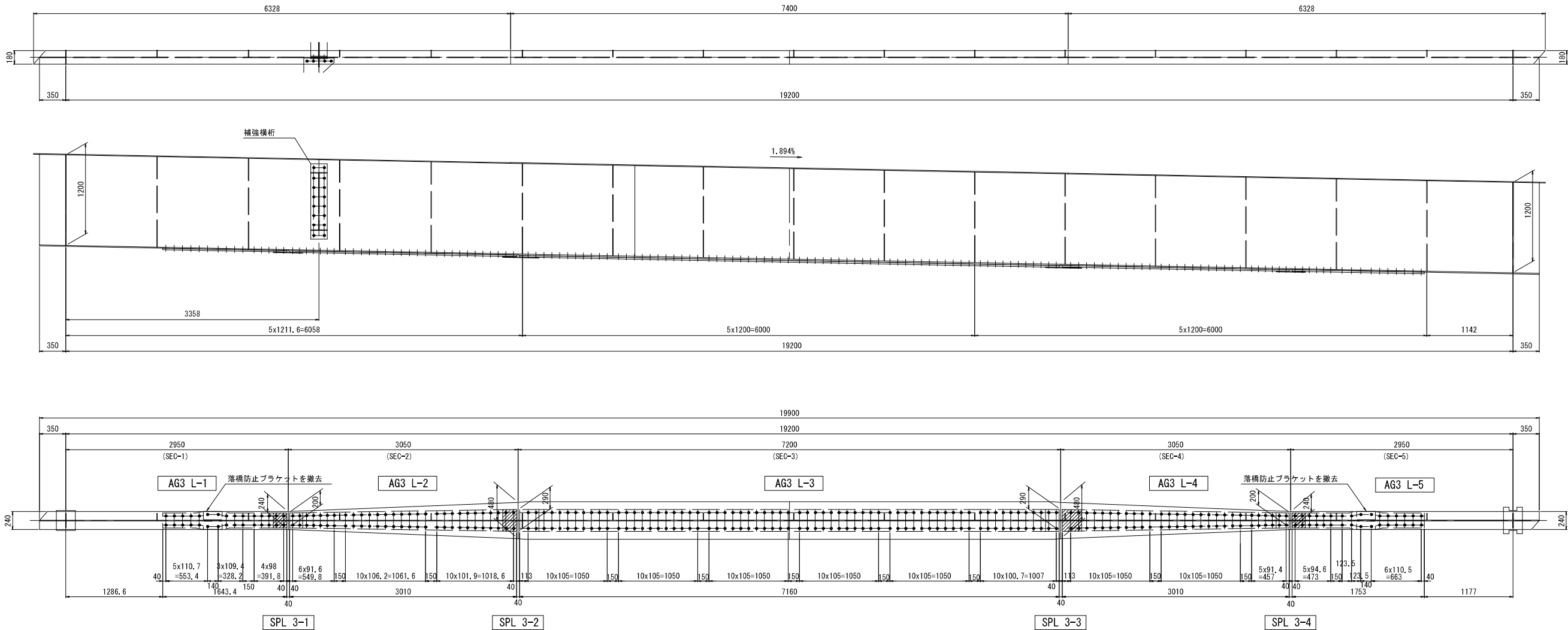
- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは3SRとする。
 - ◆印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。



路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その2）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	1 : 30	単位	mm
図号	全 45 葉中の内 8		
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その3） S=1:30
AG3



AG3 L-1

1組当たり(製作数: 1)
1-PL 240x 19x1644
26-TCB M22x70 (S10T)

AG3 L-2

1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x 19x3010
50-TCB M22x70 (S10T)

AG3 L-3

1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x22x7160
124-TCB M22x80 (S10T)

AG3 L-4

1組当たり(製作数: 1)
1-PL 290x22x3010
48-TCB M22x75 (S10T)

AG3 L-5

1組当たり(製作数: 1)
1-PL 240x 22x1753
28-TCB M22x75 (S10T)

SPL 3-1

1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 205x 9x390
1-FILL PL 200x1, 6x178
8-TCB M22x80 (S10T)

SPL 3-2

1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x480
1-FILL PL 290x6x182
8-TCB M22x85 (S10T)

SPL 3-3

1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 290x 9x479
1-FILL PL 290x3, 2x258
8-TCB M22x85 (S10T)

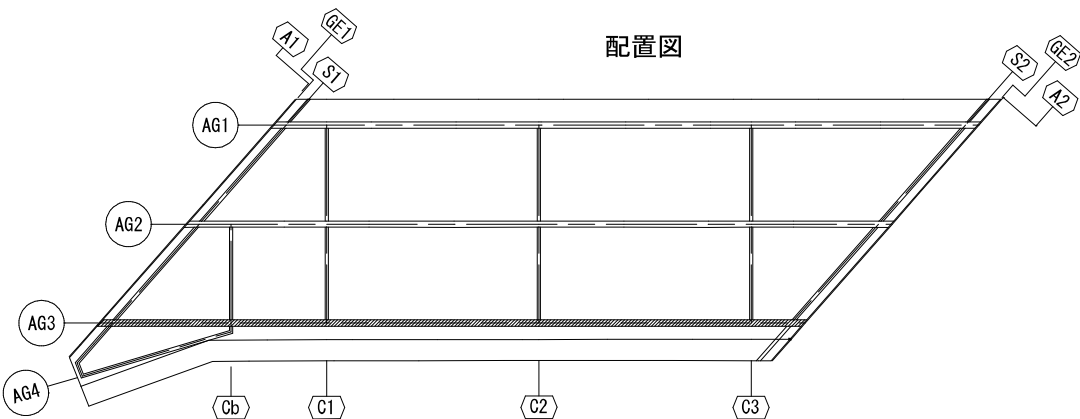
SPL 3-4

1組当たり(製作数: 1)
1-SPL PL 205x 9x386
1-FILL PL 200x1, 6x175
8-TCB M22x85 (S10T)

凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

注)

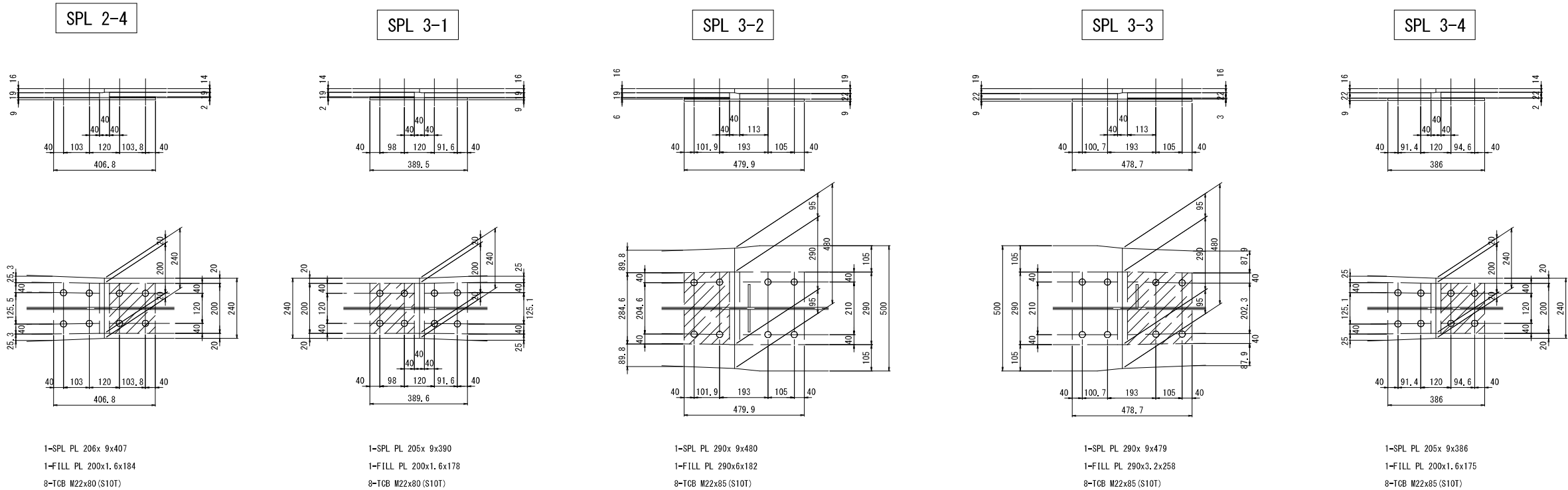
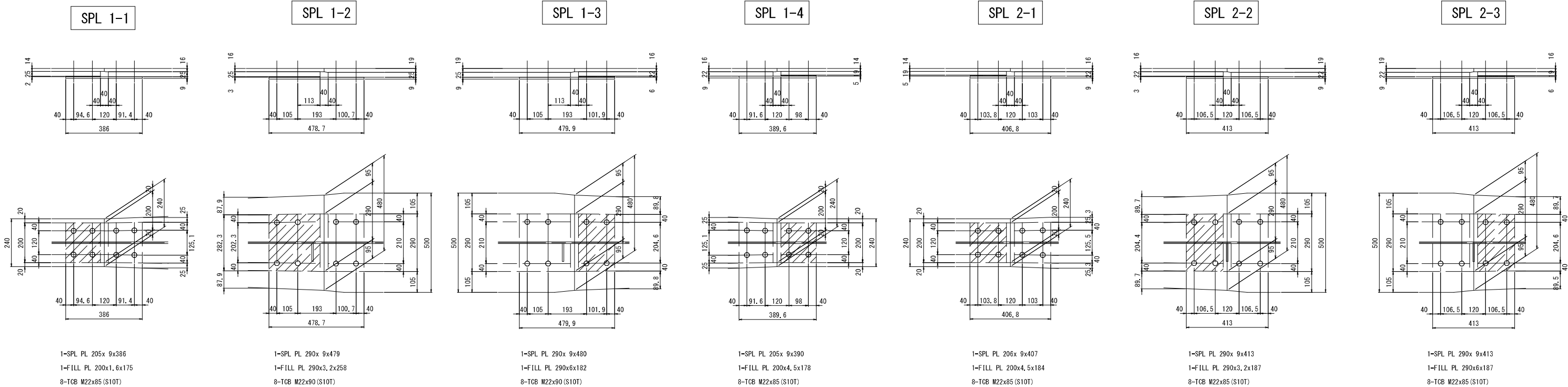
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカラーップは35Rとする。
- ⌀印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
- 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。



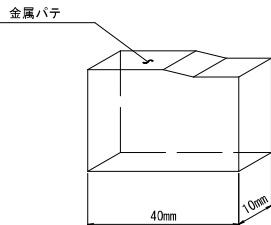
路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その3）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	1 : 3 0	単位	mm
図号	全 4 5 葉中の内 9		
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県		八頭県土整備事務所	

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その４） S=1:10
主桁補強共通詳細



断面変化点詳細 S=1:1



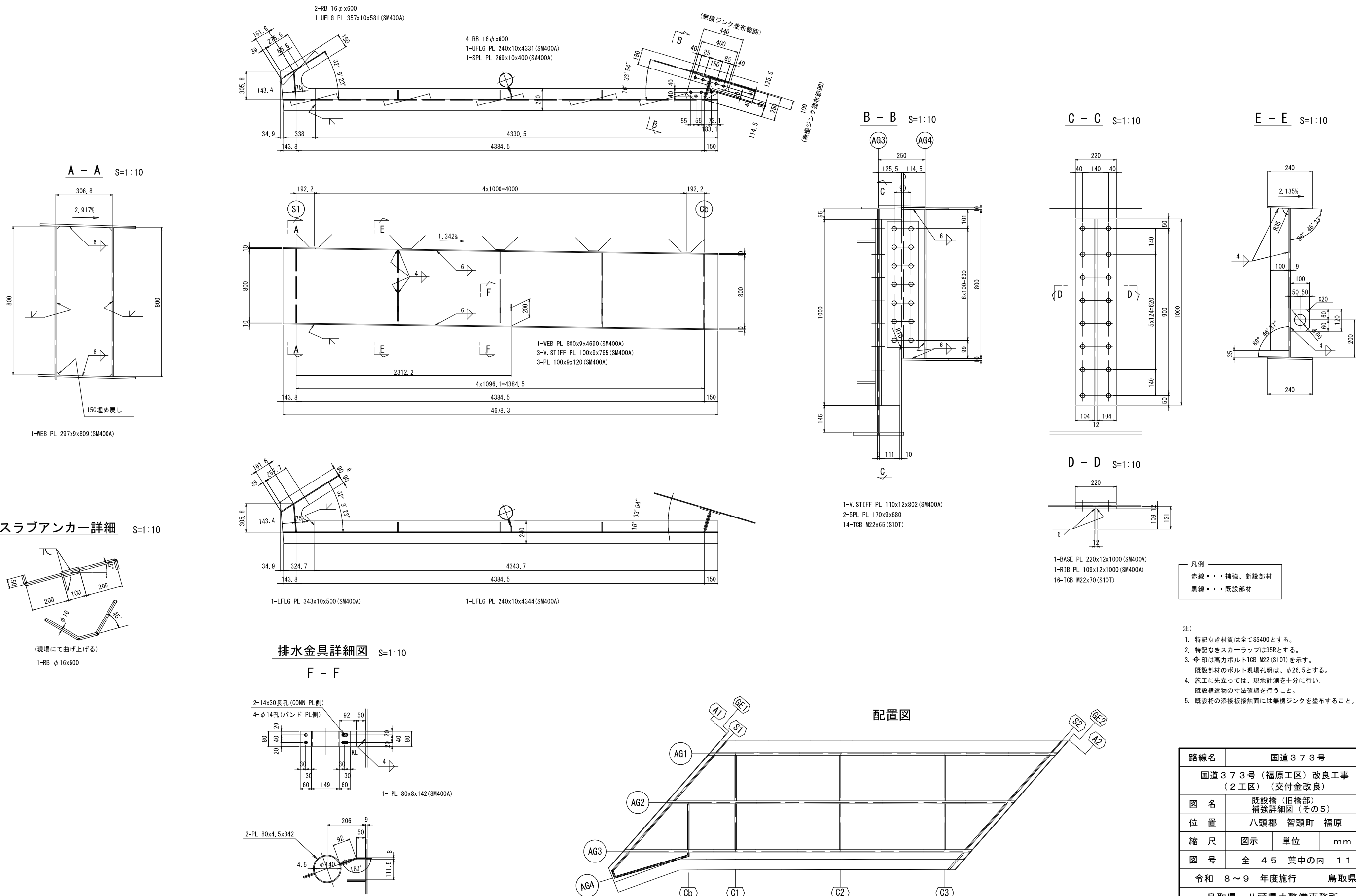
凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは35Rとする。
 - ◆印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分にに行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。

路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その４）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	１：１０	単位	mm
図号	全 ４５ 葉中の内 １０		
令和 ８～９ 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

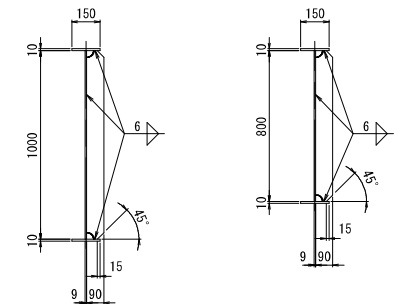
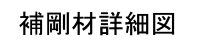
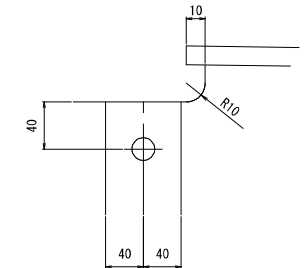
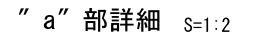
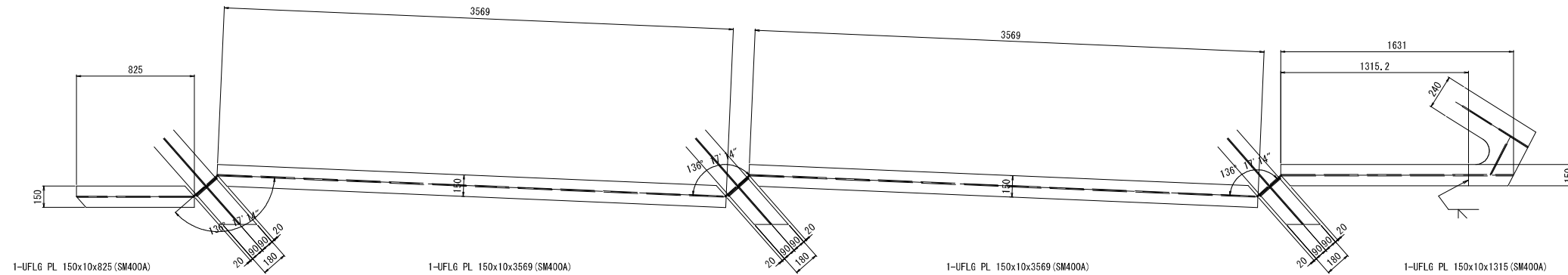
既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その5） S=1:20
拡幅部AG4桁詳細図



路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その5）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 45	葉中の内	1 1
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

①S1 ②S2補修後



凡例

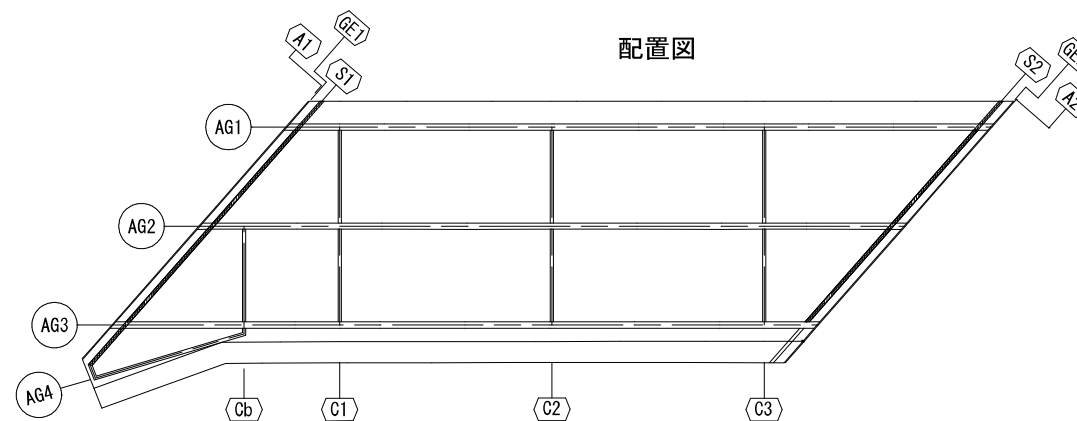
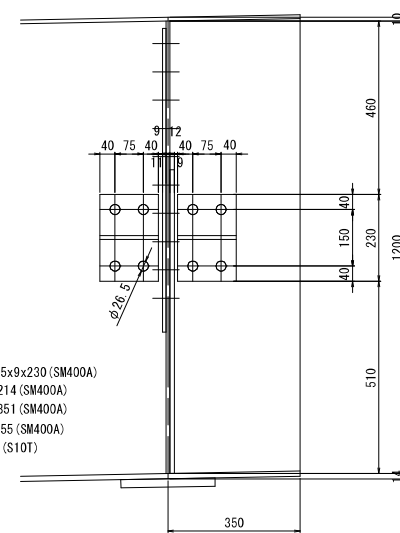
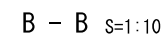
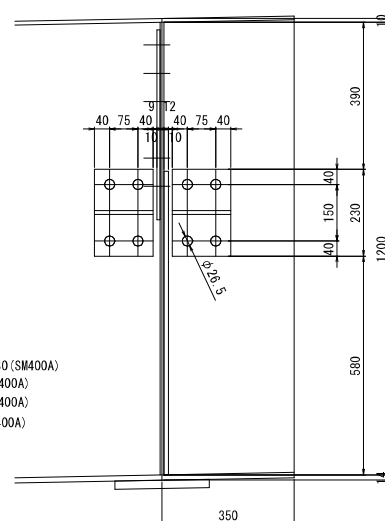
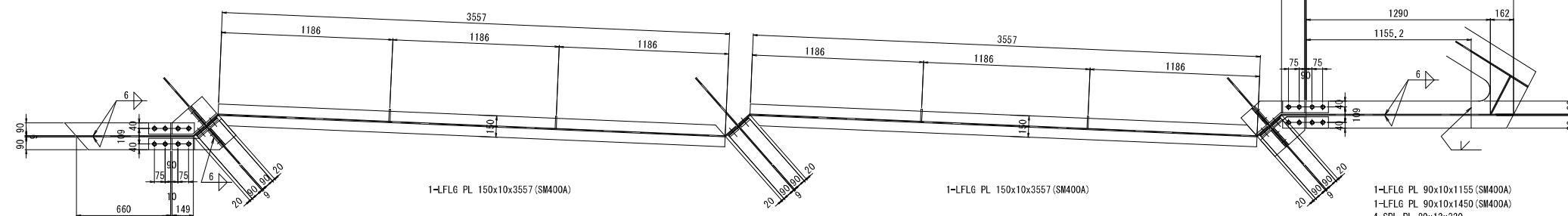
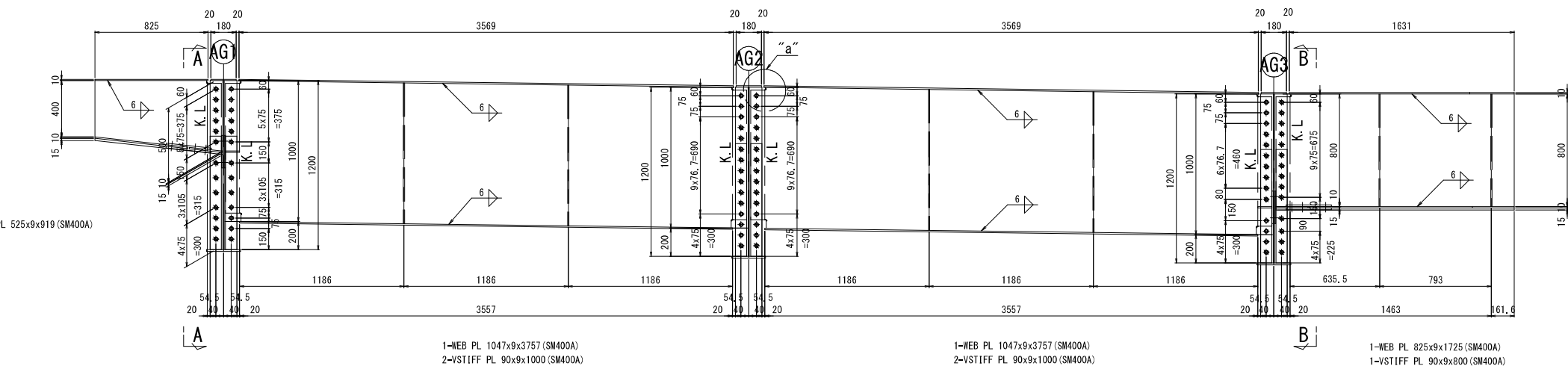
赤線	補強、新設部材
黒線	既設部材

(注)

1. 特記なき材質等は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーは全て3SRとする。
3. **印**は高力ボルトTGB M22 (S10T)を示す。

既設部材のボルト現場孔明け、φ26.5とする。

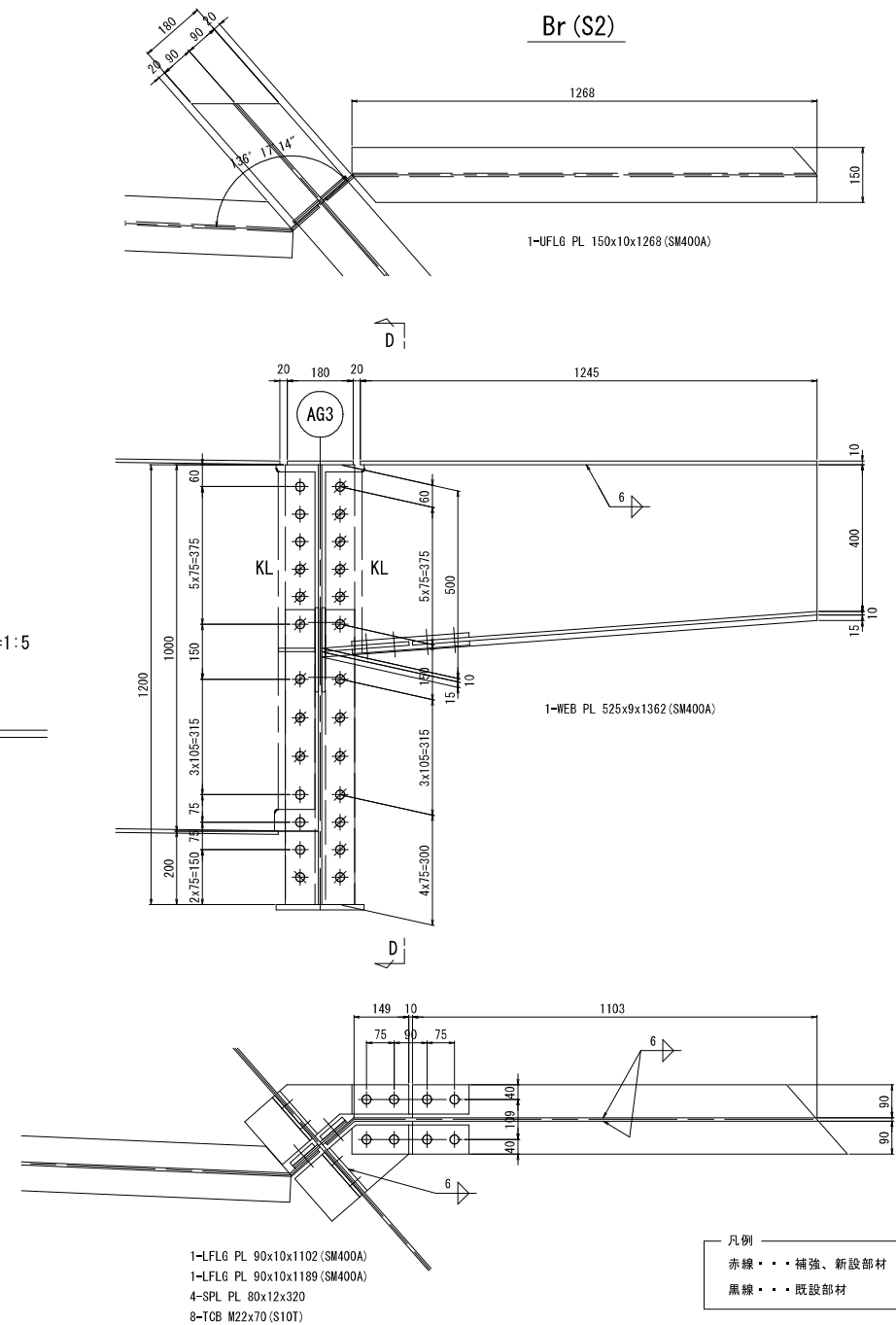
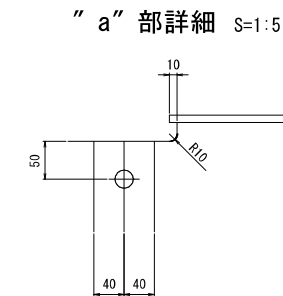
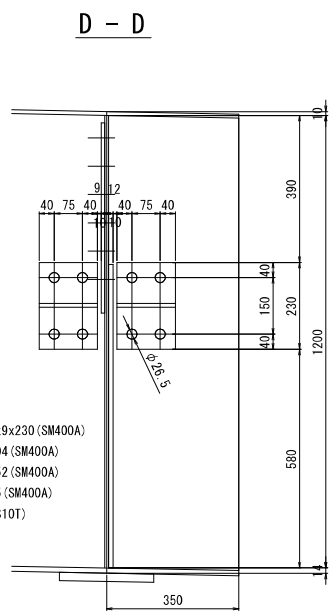
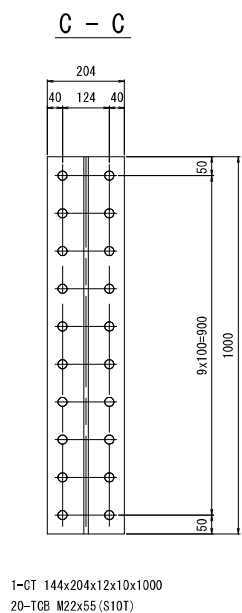
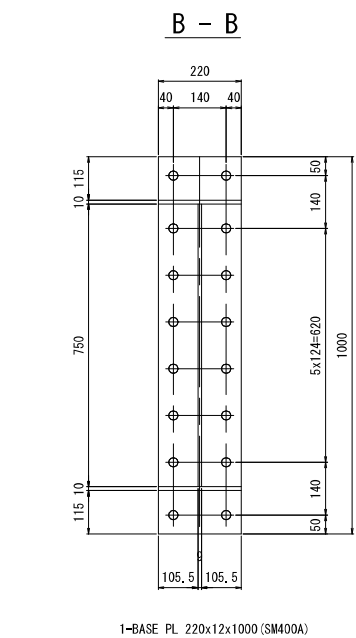
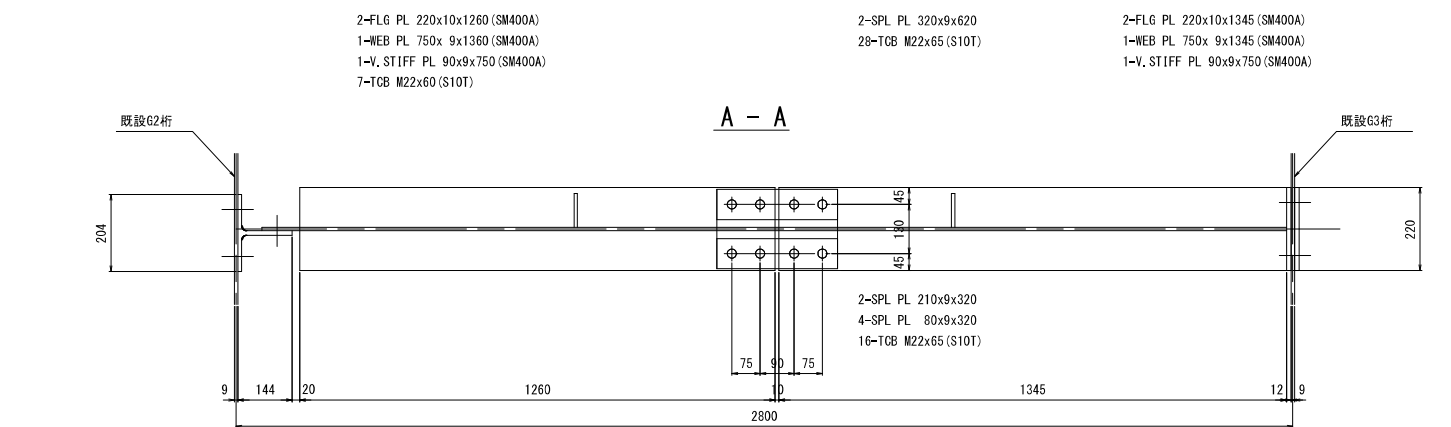
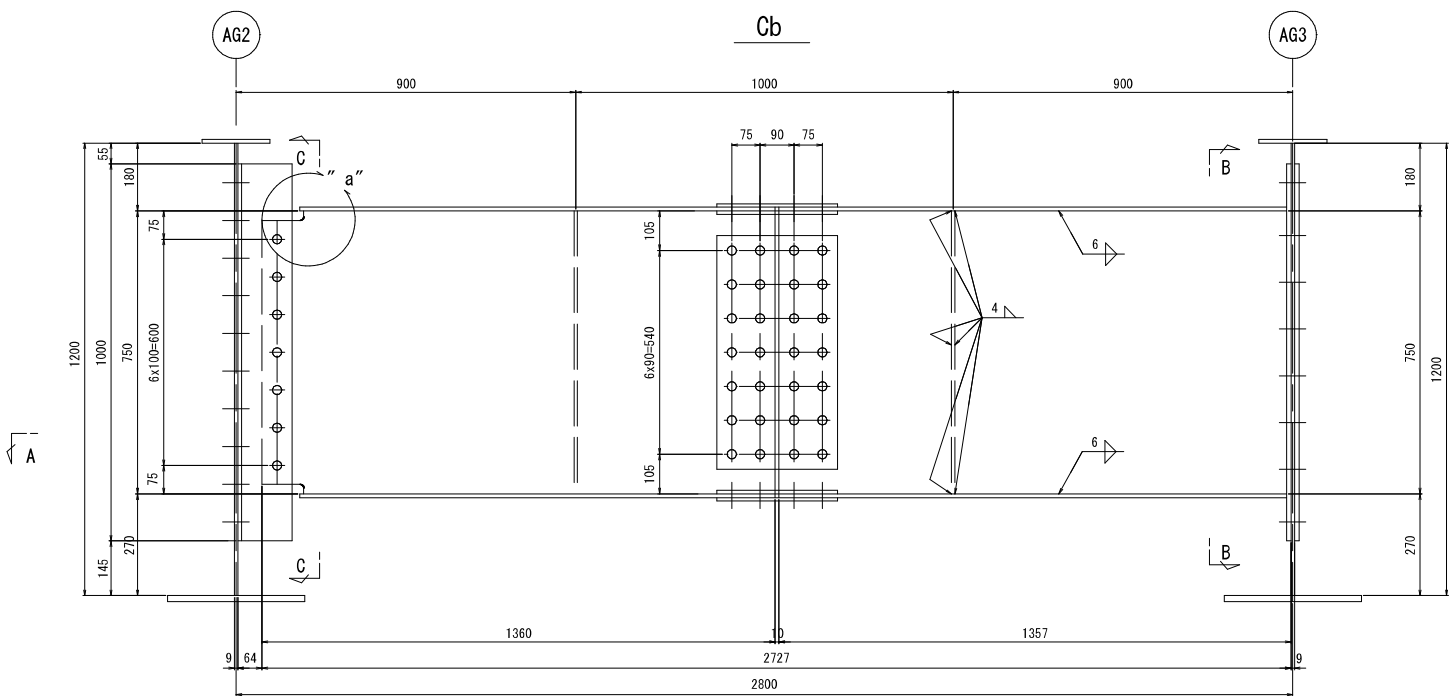
4. 施工に立上っては、現地地盤調査を十分にを行い、既設建造物の寸法確認を行うこと。
5. 支点上補剛材の孔明けボルト長に關しては、補強詳細図(その7)を参照の事。
6. 横桁上ランジと床版下面の間に隙間が生じた場合は、エポキシ樹脂等で充填すること。



路線名	国道３７３号		
国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）			
図 名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その６）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単位	mm
図 号	全 ４５ 葉中の内 １２		
令和 ８～９ 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

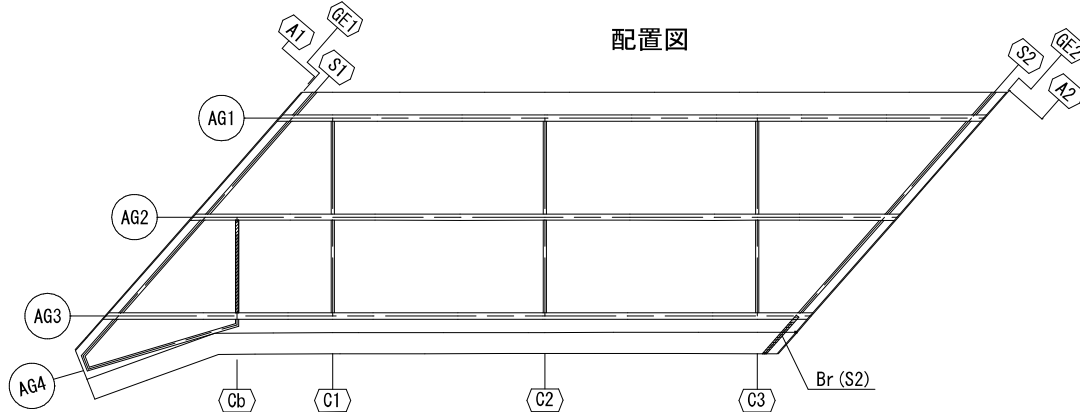
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その 7） S=1:10
拡幅部補強横桁詳細図



凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカラーップは35Rとする。
 - 印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。



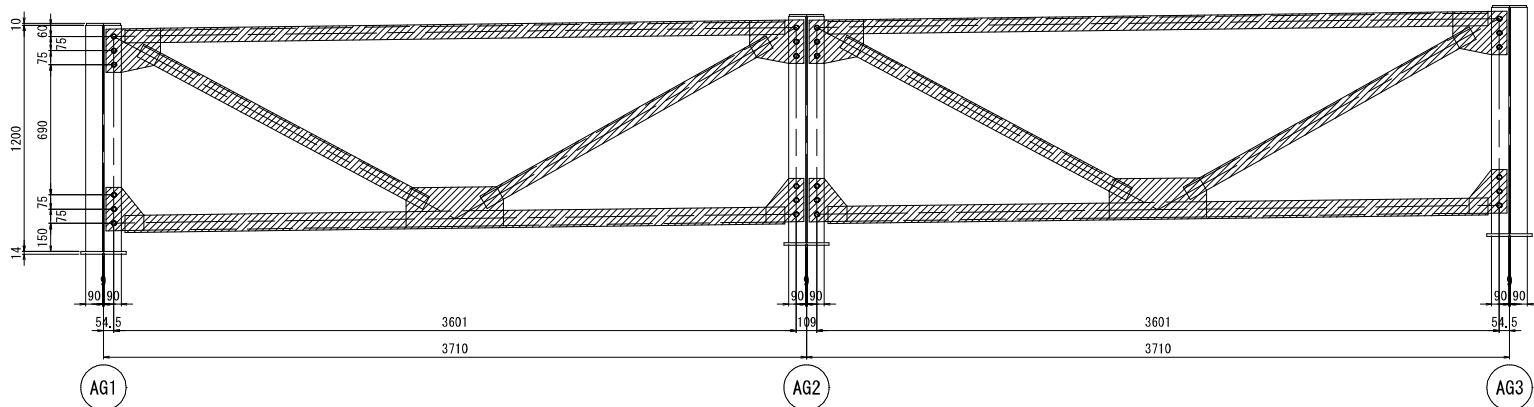
路線名	国道 373 号		
国道 373 号（福原工区）改良工事 （2 工区）（交付金改良）			
図 名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その 7）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単位	mm
図 号	全 45 葉中の内 13		
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その 8） S=1:20

既設端横桁撤去詳細図

(S1/S2)



撤去数量 組数：4組
1-L 90x90x10x3500
1-L 90x75x9x1748
1-L 90x75x9x1726
1-L 75x75x9x3500
2-PL 200x8x230 (SM400A)
1-PL 200x8x520 (SM400A)
2-PL 240x8x270 (SM400A)
12-TGB M22x55 (S10T)

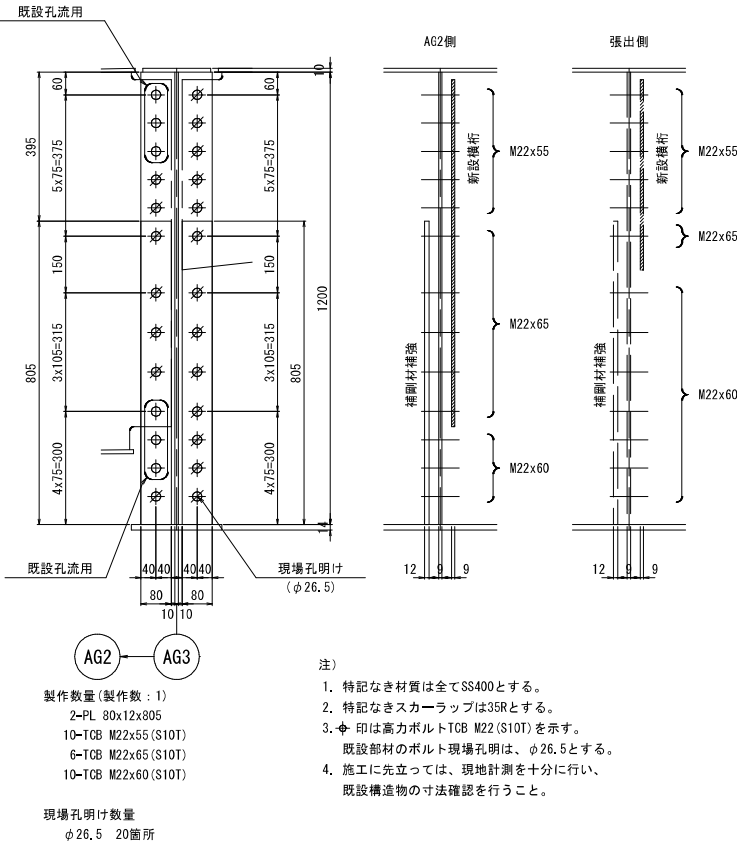
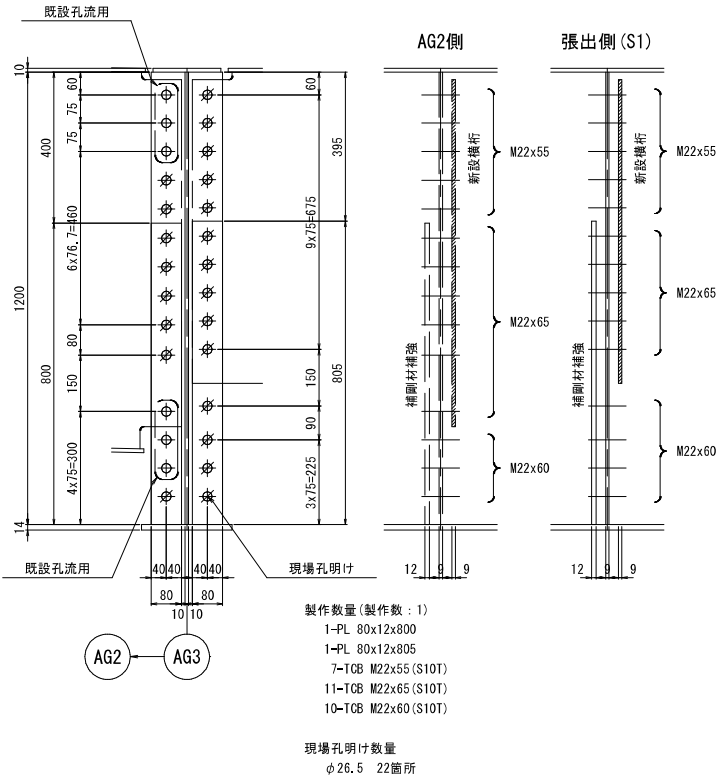
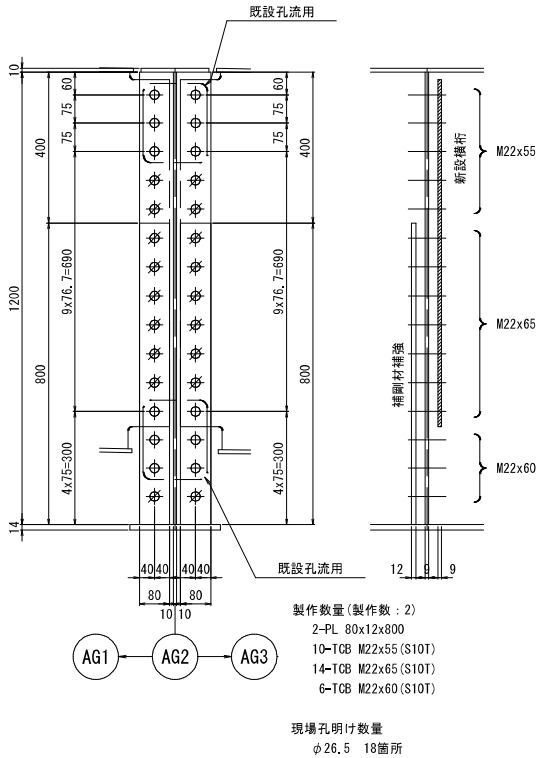
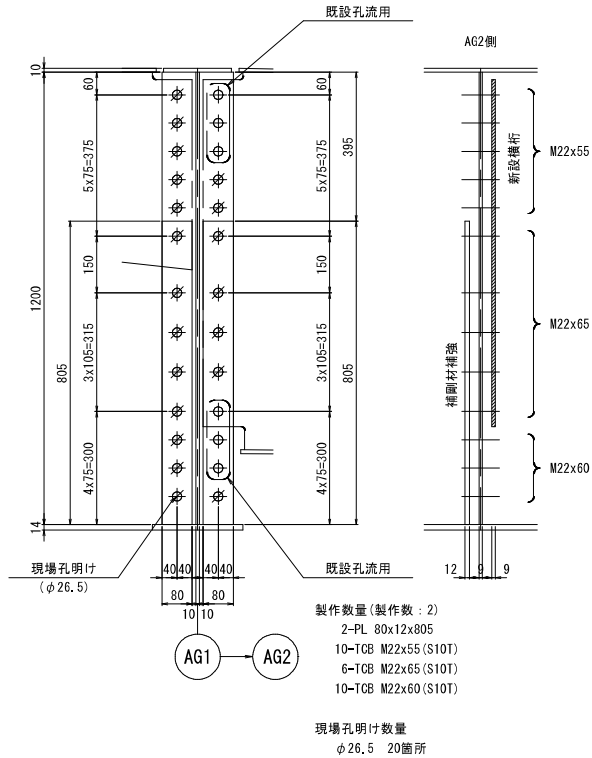
支点上補剛材補強詳細図 S=1:10

AG1桁 (S1/S2)

AG2桁 (S1/S2)

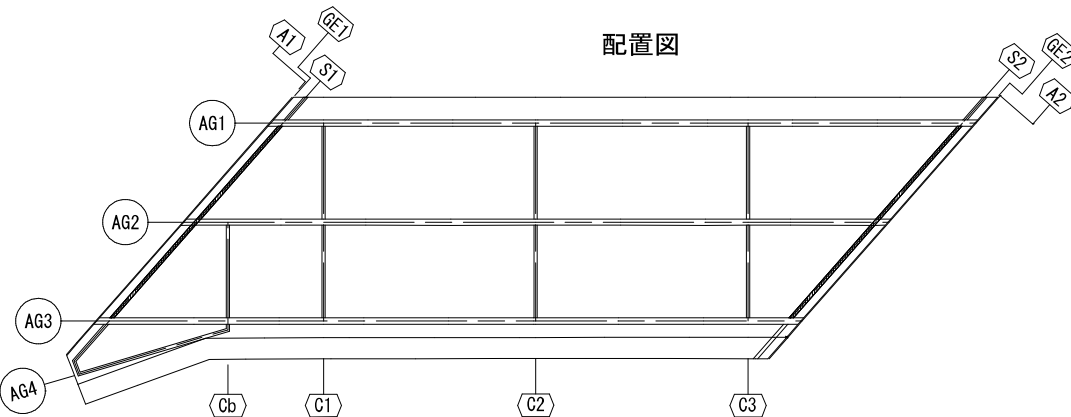
AG3桁 (S1)

AG3桁 (S2)



- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - ◆印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明けは、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行之、
既設構造物の寸法確認を行うこと。

配置図

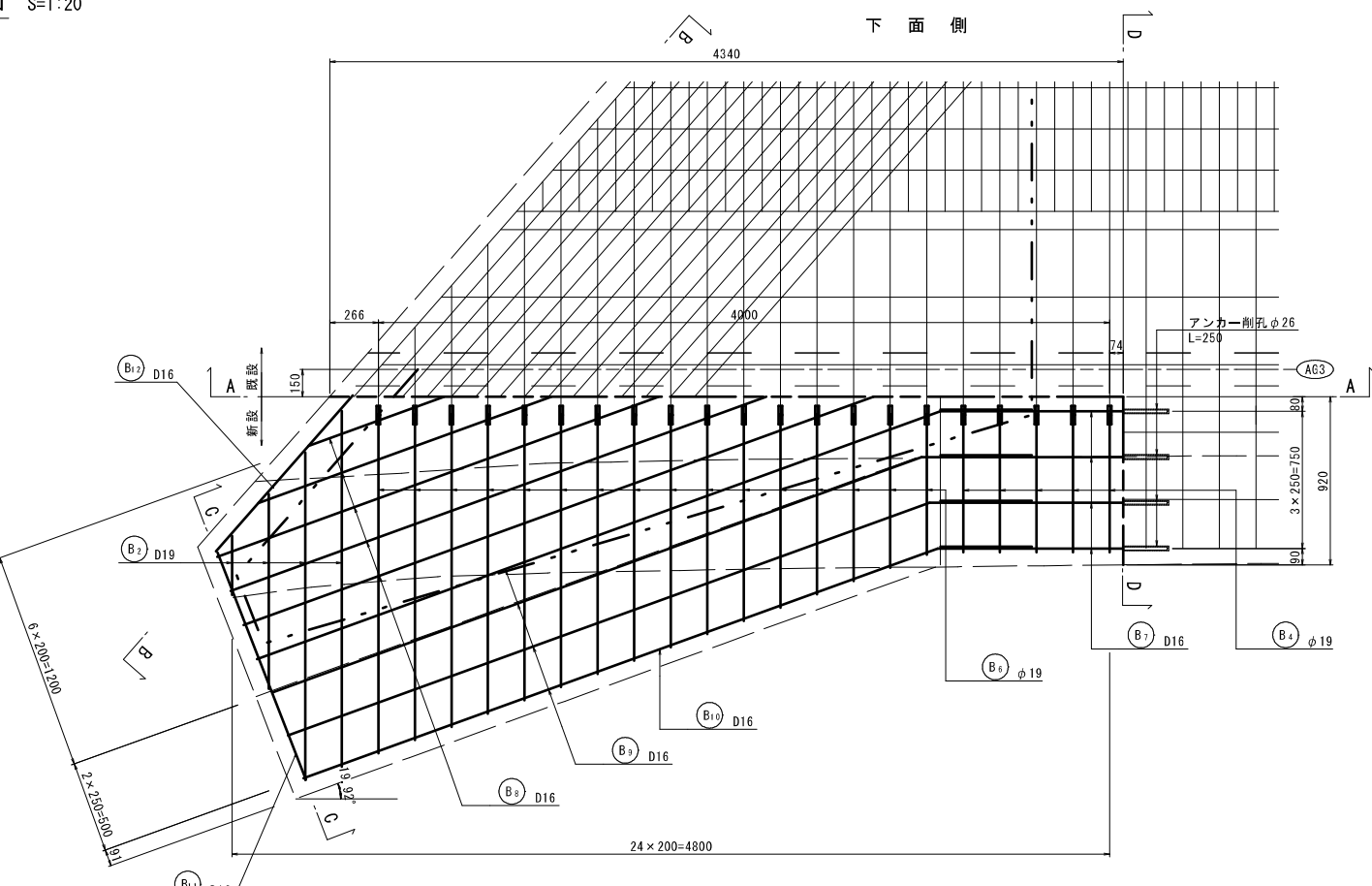
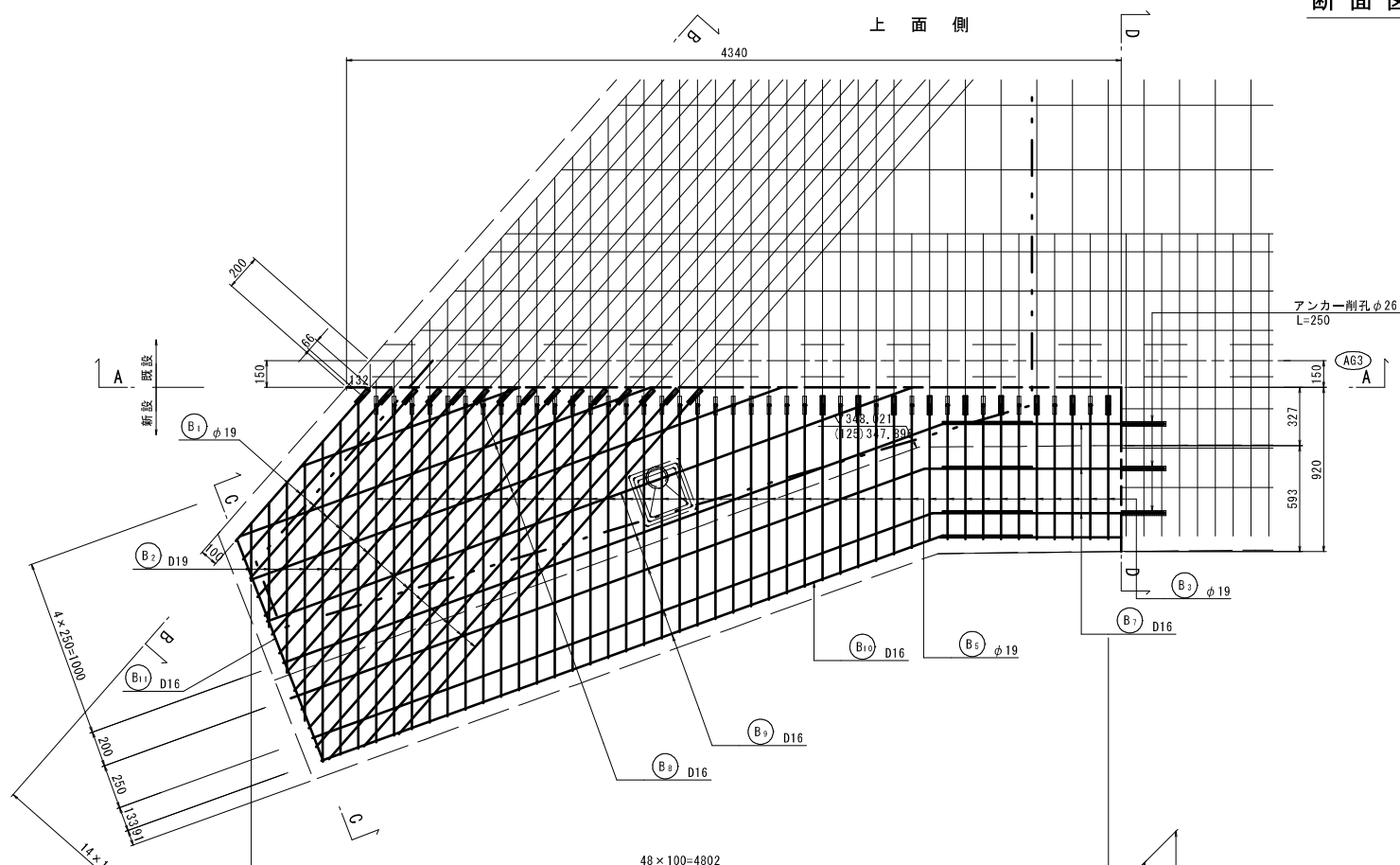


路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（旧橋部） 補強詳細図（その8）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 45	葉中の内	14
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

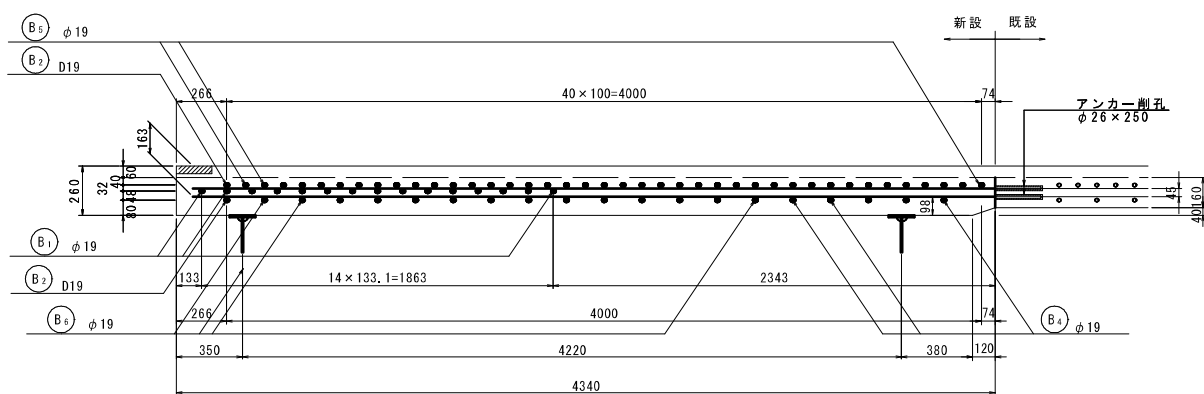
上流側拡幅部床版配筋図(その1)

断面図 S=1:20



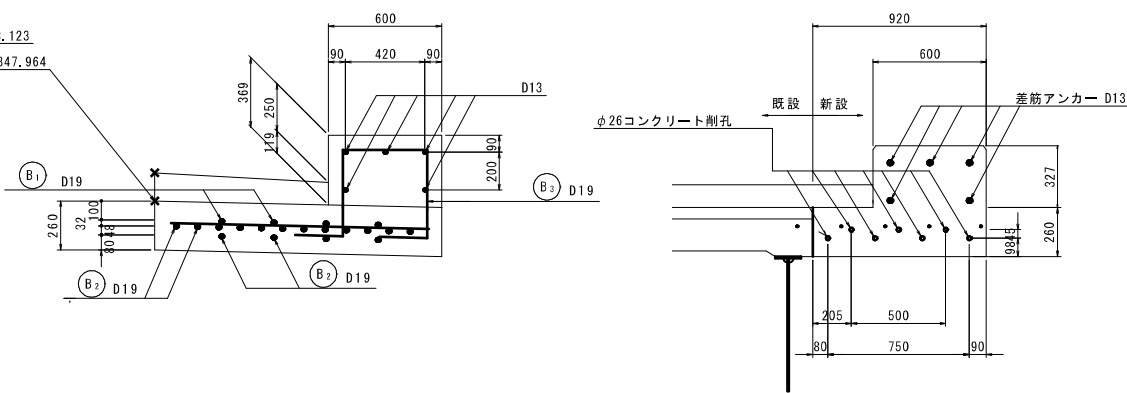
断面図 S=1:20

A - A



C - C

D - D



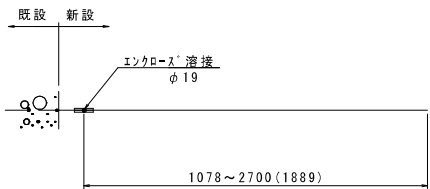
- 注) 1. エンクローズ溶接を行う鉄筋は事前に施工試験を行い、強度を確認すること
2. 事前に隣接する鉄筋との離隔を確認し、エンクローズ溶接が困難な場合は、溶接位置を調節すること
3. 既設鉄筋を利用するため、床版はつり時は十分留意すること。

路線名	国道373号		
	国道373号(福原工区)改良工事(2工区)(交付金改良)		
図名	上流側拡幅部床版詳細図(その1)		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45 葉中の内 15		
令和 8~9 年度施行	鳥取県		
	鳥取県 八頭県土整備事務所		

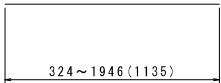
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

上流側拡幅部床版配筋図(その2)

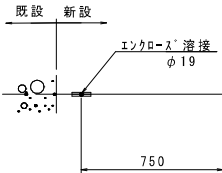
S=1:20



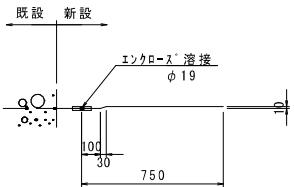
B1 15 - φ19×1890(平均長)



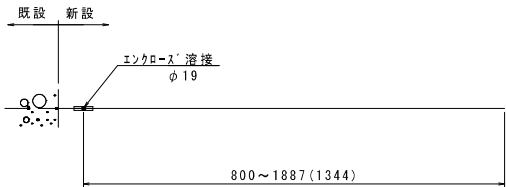
B2 16 - D19×1140(平均長)



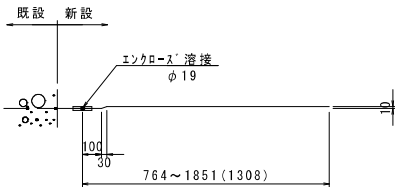
B3 11 - φ19×750



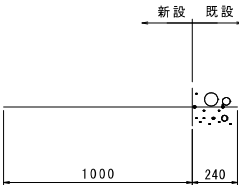
B4 5 - φ19×750



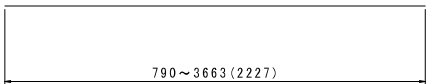
B5 31 - φ19×1350(平均長)



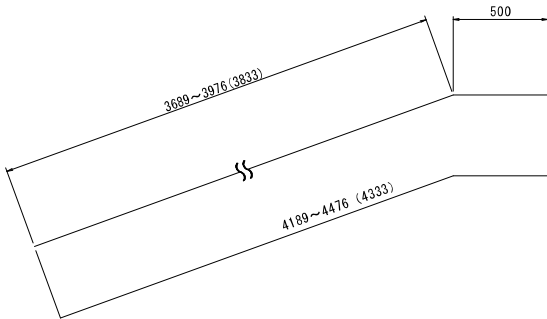
B6 16 - φ19×1310(平均長)



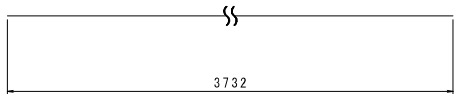
B7 7 - D16×1240



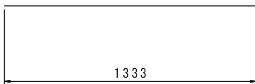
B8 8 - D16×2230(平均長)



B9 9 - D16×4340(平均長)



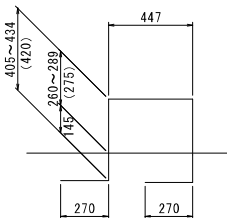
B10 2 - D16×3740



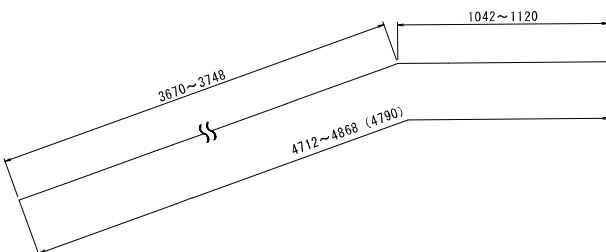
B11 2 - D16×1340



B12 1 - D16×1140



B13 21 - D13×1830(平均長)

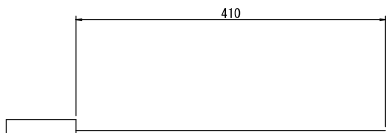
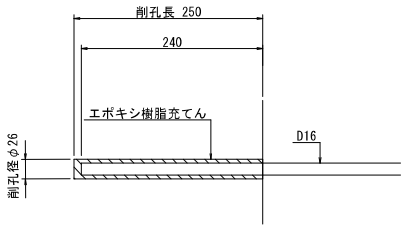


B14 5 - D13×4790(平均長)

材 料 表

記 号	径	単位重量 (kg/m)	長 さ (mm)	本 数 (本)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
床版鉄筋重量(異形棒鋼SD345、丸鋼SR235)							
B1	φ19	2.23	1890	15	4.21	63	(平均長)
B2	D19	2.25	1140	16	2.57	41	(平均長)
B3	φ19	2.23	750	11	1.67	18	
B4	φ19	2.23	750	5	1.67	8	
B5	φ19	2.23	1350	31	3.01	93	(平均長)
B6	φ19	2.23	1310	16	2.92	47	(平均長)
B7	D16	1.56	1240	7	1.93	14	
B8	D16	1.56	2230	8	3.48	28	(平均長)
B9	D16	1.56	4340	9	6.77	61	(平均長)
B10	D16	1.56	3740	2	5.83	12	
B11	D16	1.56	1340	2	2.09	4	
B12	D16	1.56	1140	1	1.78	2	
G1	D13	0.995	1830	21	1.82	38	(平均長)
G2	D13	0.995	4790	5	4.77	24	(平均長)
合 計						453 Kg	
差筋アンカー							
①	D13	0.995	410	5	0.41	2	(床版側)
合 計						2 Kg	
鉄筋重量(SD345)							
D 19						41 Kg	
D 16						121 Kg	
D 13						62 Kg	
合 計						224 Kg	
鉄筋重量(SR235)							
φ 19						229 Kg	
合 計						229 Kg	
エンクローズ溶接							
φ 19 + φ 19						83箇所	
コンクリート削孔							
φ 26 L=250mm						7箇所	
コンクリート体積							
						2.89 m3	
型枠面積						13.84 m2	

アンカー削孔詳細図 S=1:5



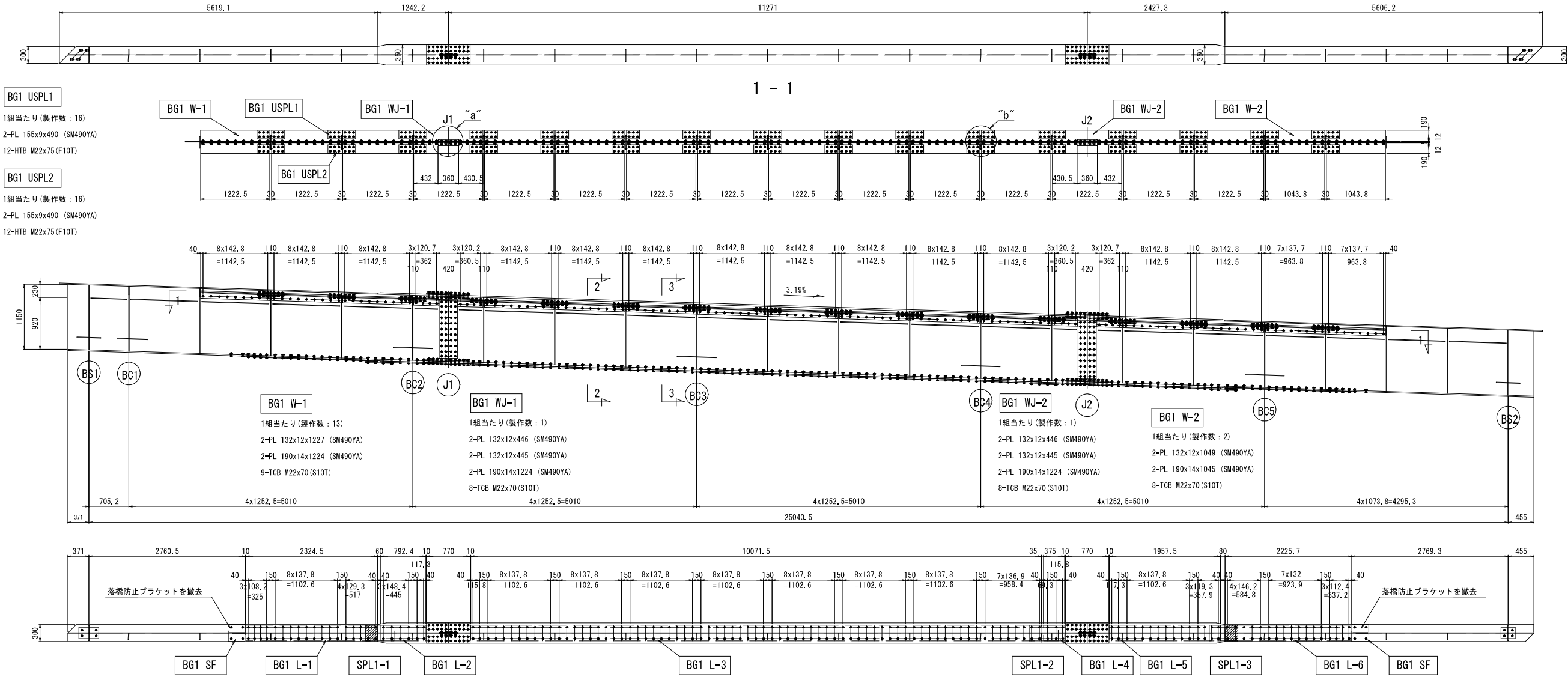
差し筋アンカー D13 (SD345)

路線名	国道373号		
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）			
図 名	上流側張出版詳細図（その2）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 45 葉中の内 16		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その１） S=1:40

BG1



BG1 L-1

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x14x2326 (SM490YA)

32-TCB M22x70 (S10T)

BG1 L-6

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x14x2227 (SM490YA)

30-TCB M22x70 (S10T)

BG1 L-2

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x22x793 (SM490YB)

8-TCB M22x85 (S10T)

SPL1-1

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x16x498 (SM490YA)

1-FILL 280x17x209

8-TCB M22x105 (S10T)

BG1 L-3

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x22x10077 (SM490YB)

142-TCB M22x85 (S10T)

SPL1-2

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x16x511 (SM490YA)

8-TCB M22x105 (S10T)

BG1 L-4

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x19x375 (SM490YB)

2-TCB M22x90 (S10T)

SPL1-3

1組当たり(製作数: 1)

1-PL 280x16x506 (SM490YA)

1-FILL 280x18x226

8-TCB M22x105 (S10T)

BG1 L-5

1組当たり(製作数: 1)

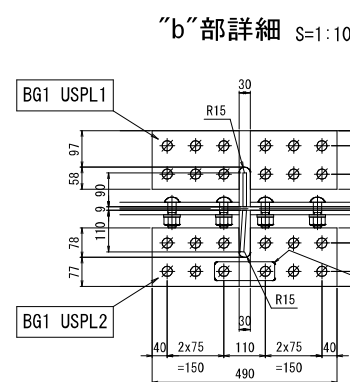
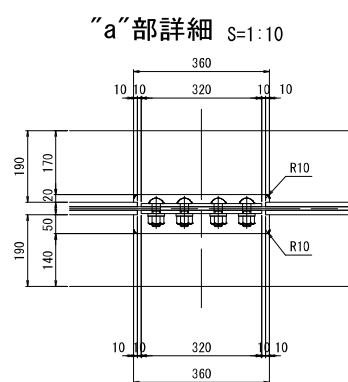
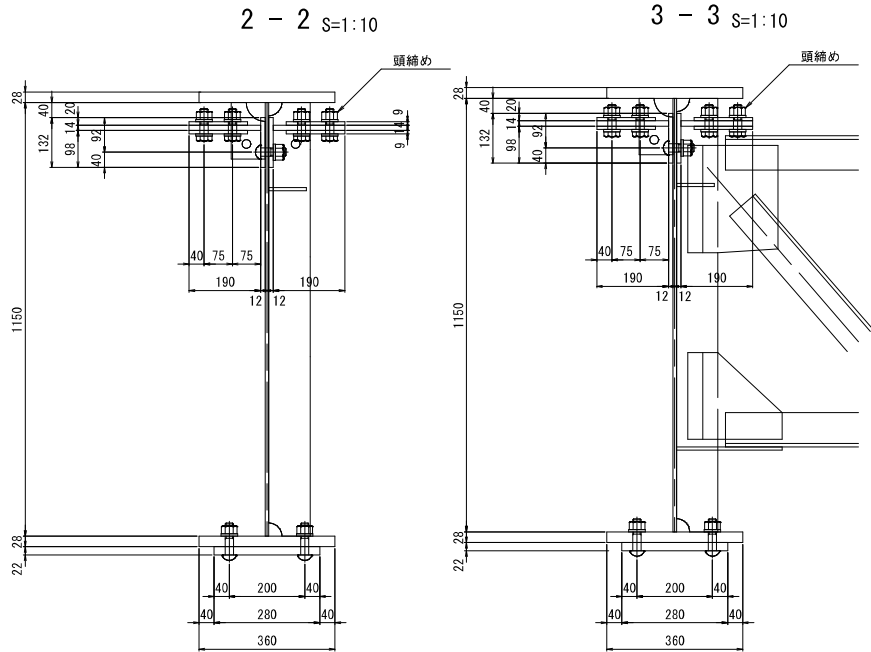
1-PL 280x19x1959 (SM490YB)

26-TCB M22x90 (S10T)

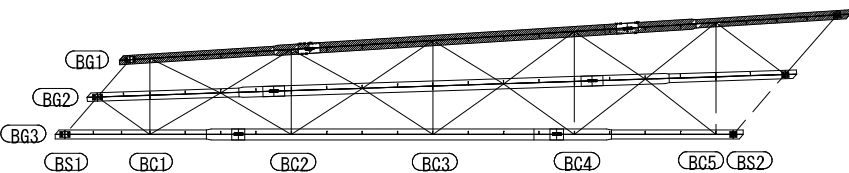
BG1 SF

1組当たり(製作数: 2)

4-TCB M22x55 (S10T)



配置図



凡例

赤線・・・補強、新設部材

黒線・・・既設部材

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは35Rとする。
 - 印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
 - 既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、既設構造物の寸法確認を行うこと。

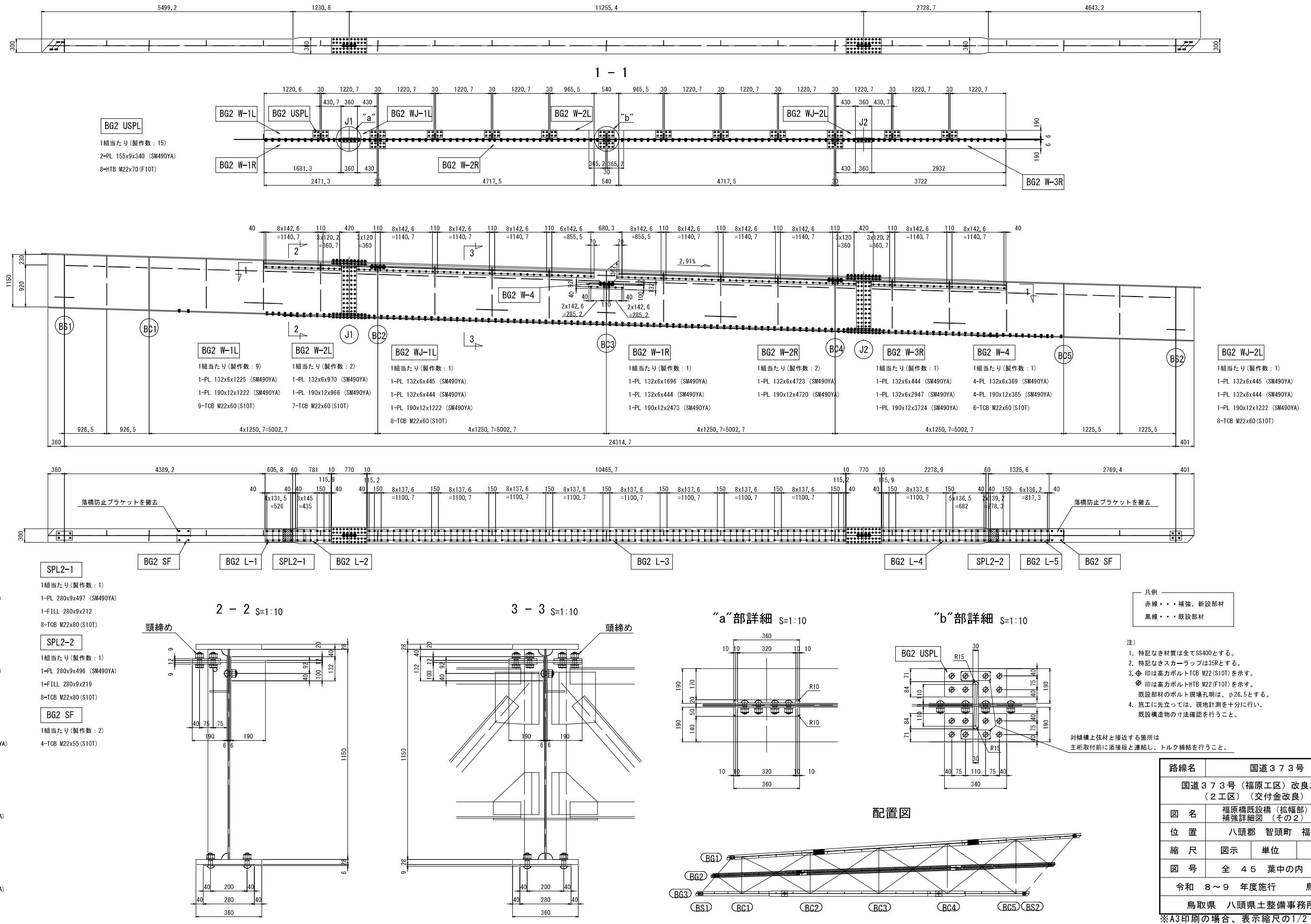
対横構上弦材と接近する箇所は
主桁取付前に添接板と連結し、トルク締結を行うこと。

路線名	国道373号		
	国道373号(福原工区)改良工事 (2工区)(交付金改良)		
図名	福原橋既設橋(拡幅部) 補強詳細図(その1)		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 45	葉中の内	17
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

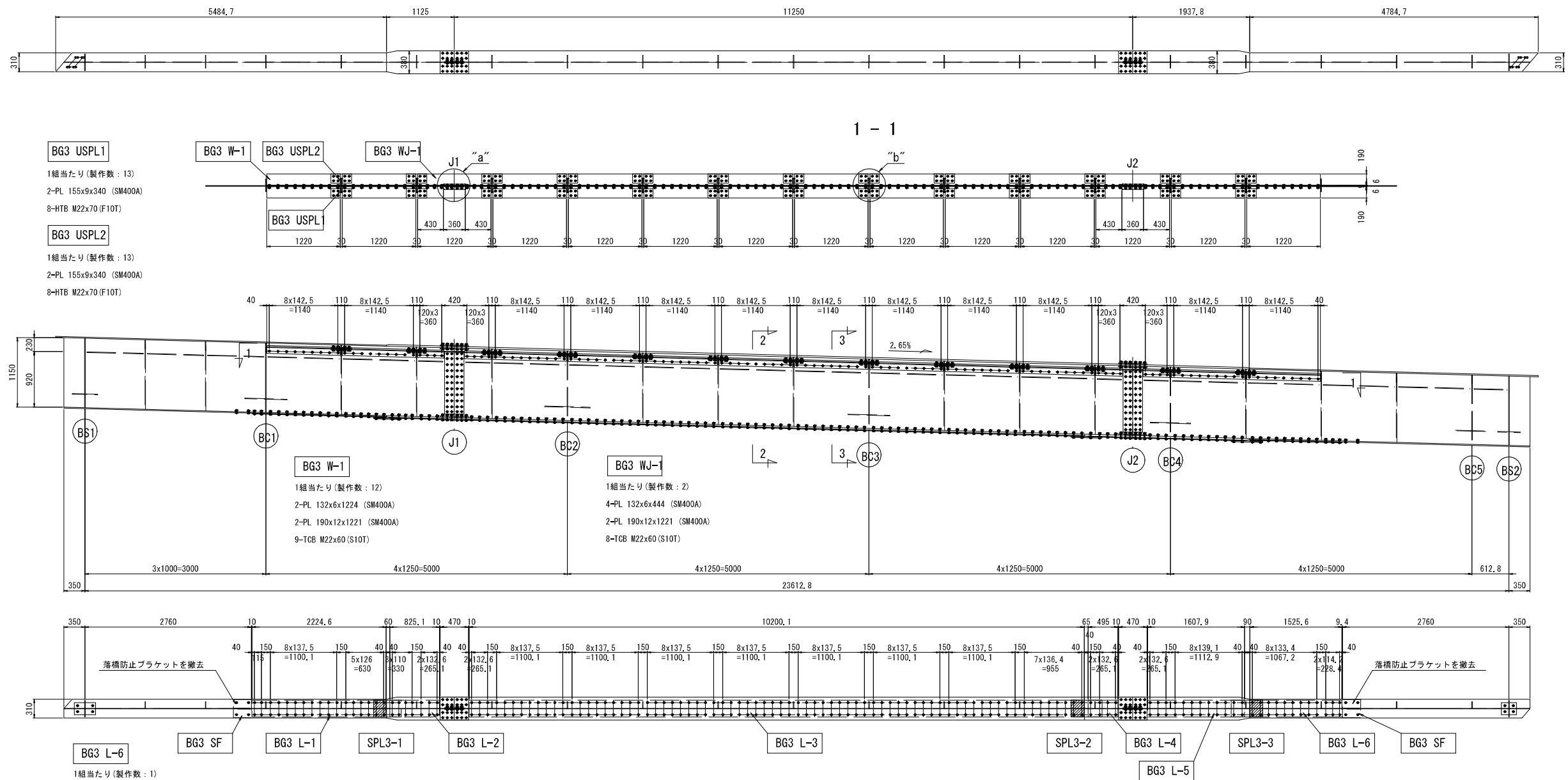
既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その２） S=1:40

BG2



既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その３） S=1:40

BG3



BG3 L-1

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x2225
30-TCB M22x70(S10T)

BG3 L-2

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x825
10-TCB M22x75(S10T)

BG3 L-3

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x10204
144-TCB M22x75 (S10T)

BG3 L-4

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x495
4-TCB M22x80(S10T)

BG3 L-5

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x1608
20-TCB M22x80(S10T)

BG3 L-6

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x12x1526
20-TCB M22x70(S10T)

SPL3-1

1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x16x456
1-FILL 280x9x206
8-TCB M22x95(S10T)

SPL3-2

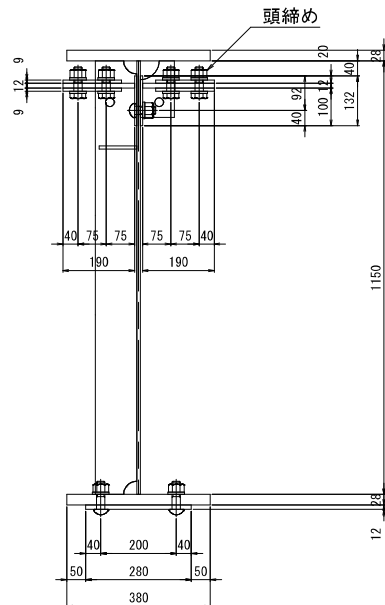
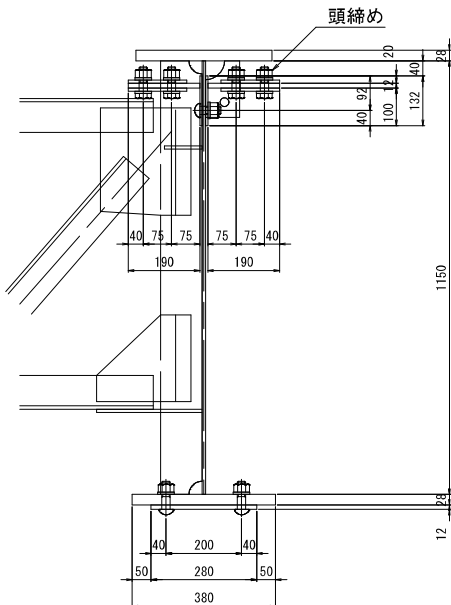
1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x16x512
1-FILL 280x3.2x217
8-TCB M22x95(S10T)

SPL3-3

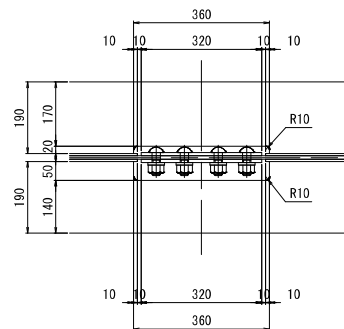
1組当たり(製作数:1)
1-PL 280x16x523
1-FILL 280x13x214
8-TCB M22x95(S10T)

BG3 SF

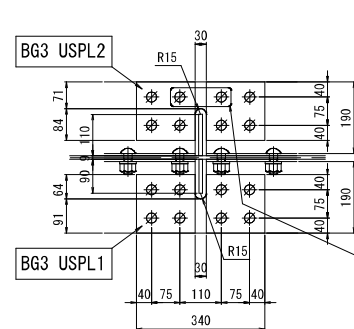
1組当たり(製作数:2)
4-TCB M22x55(S10T)

$$2 - 2_{S=1:10}$$

$$3 - 3_{S=1:10}$$


"a"部詳細 S=1:10



“b”部詳細 S=1:10



凡例

赤線 . . . 補強、新設部材

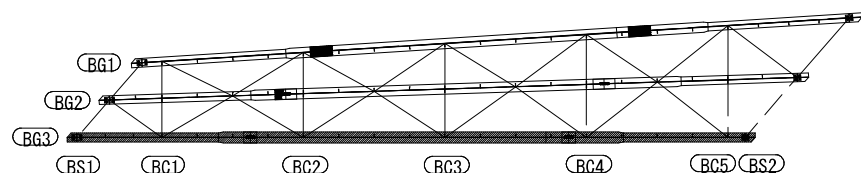
黒線 . . . 既設部材

注)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 印は高力ボルトTCB M22 (S10T)を示す。
印は高力ボルトHTB M22 (F10T)を示す。
4. 既設部材のボルト現場孔明は、 $\phi 26.5$ とする。
5. 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、既設構造物の寸法確認を行うこと。

対傾構上弦材と接近する箇所は
主桁取付前に添接板と連結し、トルク締結を行うこと。

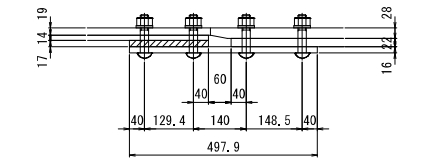
配置図



路線名	国道３７３号		
国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）			
図名	福原橋既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その３）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 ４５ 葉中の内 １９		
令和 ８～９ 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

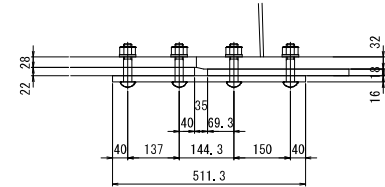
既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その4） S=1:10
主桁補強共通詳細

SPL1-1



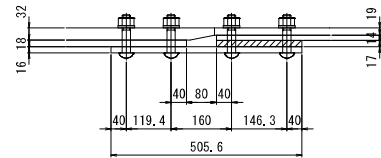
1-PL 280x16x498 (SM490YA)
1-FILL 280x17x209
8-TCB M22x105 (S10T)

SPL1-2



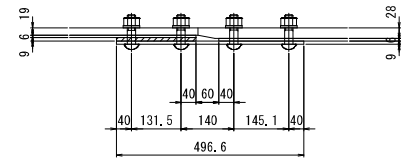
1-PL 280x16x511 (SM490YA)
8-TCB M22x105 (S10T)

SPL1-3



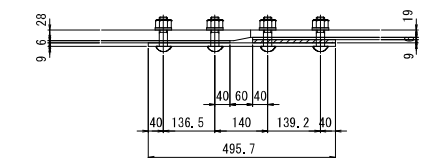
1-PL 280x16x506 (SM490YA)
1-FILL 280x18x226
8-TCB M22x105 (S10T)

SPL2-1



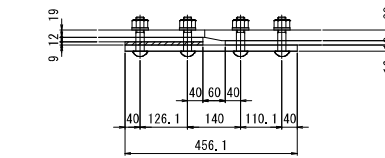
1-PL 280x9x497 (SM490YA)
1-FILL 280x9x212
8-TCB M22x80 (S10T)

SPL2-2



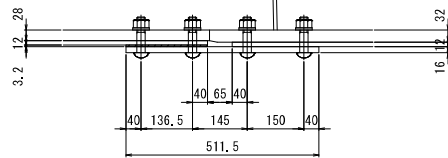
1-PL 280x9x496 (SM490YA)
1-FILL 280x9x219
8-TCB M22x80 (S10T)

SPL3-1



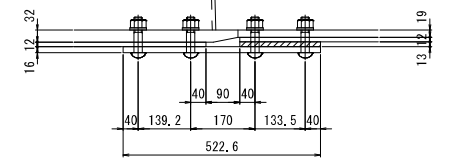
1-PL 280x16x456
1-FILL 280x9x206
8-TCB M22x95 (S10T)

SPL3-2



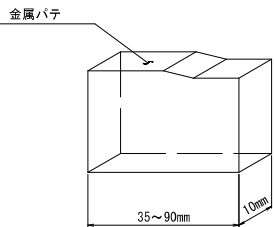
1-PL 280x16x512
1-FILL 280x3, 2x217
8-TCB M22x95 (S10T)

SPL3-3



1-PL 280x16x523
1-FILL 280x13x214
8-TCB M22x95 (S10T)

断面変化点詳細 S=1:1



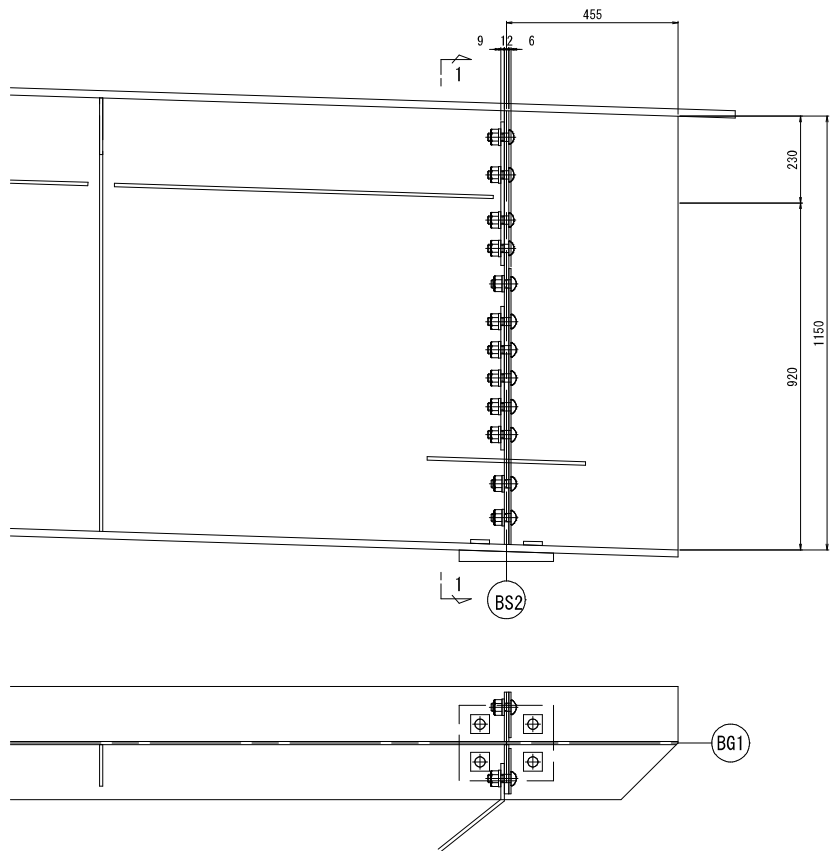
凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーップは35Rとする。
 - 印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明は、φ26.5とする。
 - 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。
 - デーパー部の隙間は金属バテで穴埋めすること

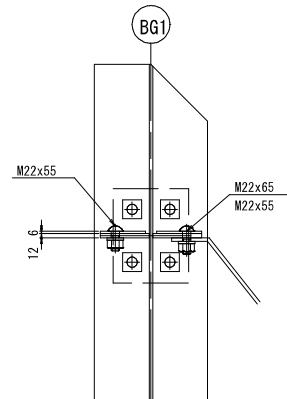
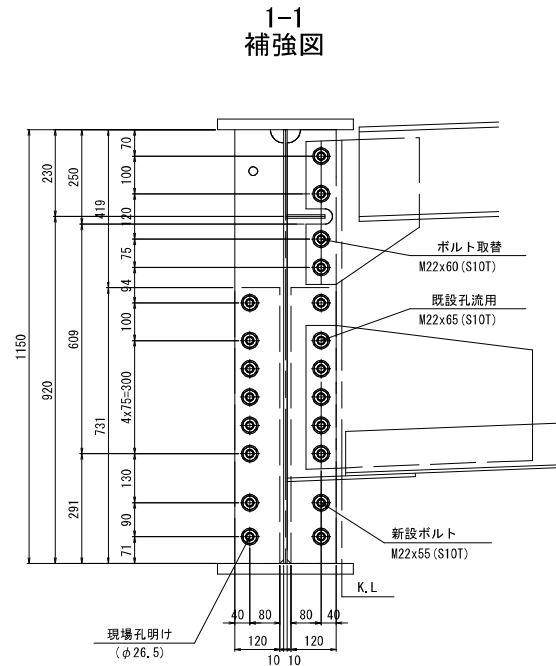
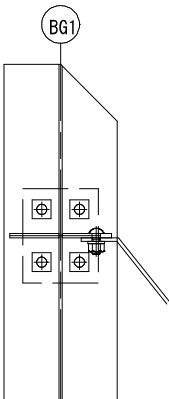
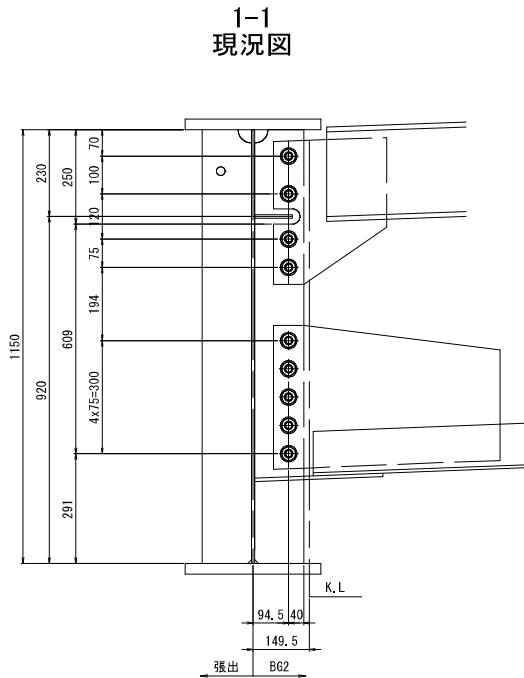
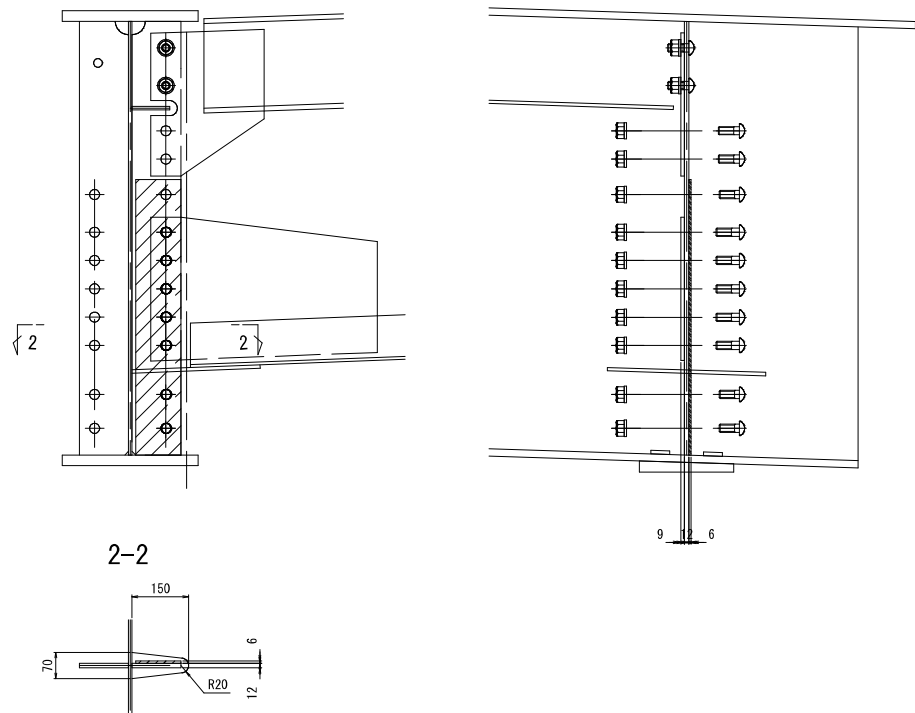
路線名	国道373号		
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）			
図 名	福原橋既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その4）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単位	mm
図 号	全 45 葉中の内 20		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その5） S=1:10
支点上補剛材詳細図



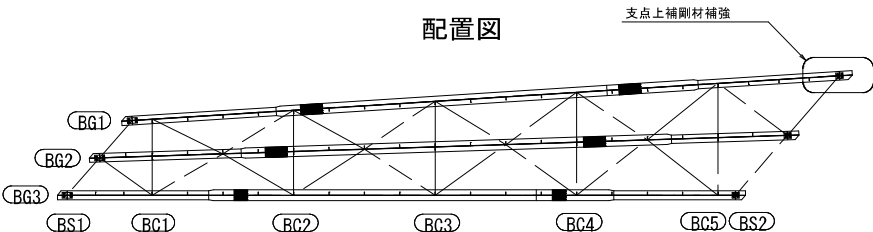
施工要領図



製作数量
2-PL 120x6x731
11-TCB M22x55 (S10T)
5-TCB M22x65 (S10T)
2-TCB M22x60 (S10T)
現場孔明け数量
φ26.5 11箇所

凡例
赤線・・・補強、新設部材
黒線・・・既設部材

注)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. ●印は高力ボルトTCB M22 (S10T) を示す。
既設部材のボルト現場孔明けは、φ26.5とする。
4. 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。

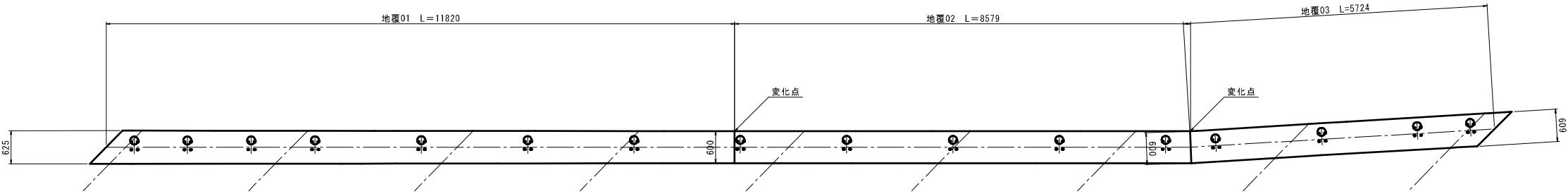


路線名	国道 373 号		
国道 373 号（福原工区）改良工事 （2 工区）（交付金改良）			
図 名	福原橋既設橋（拡幅部） 補強詳細図（その 5）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単位	mm
図 号	全 45 葉中の内 21		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

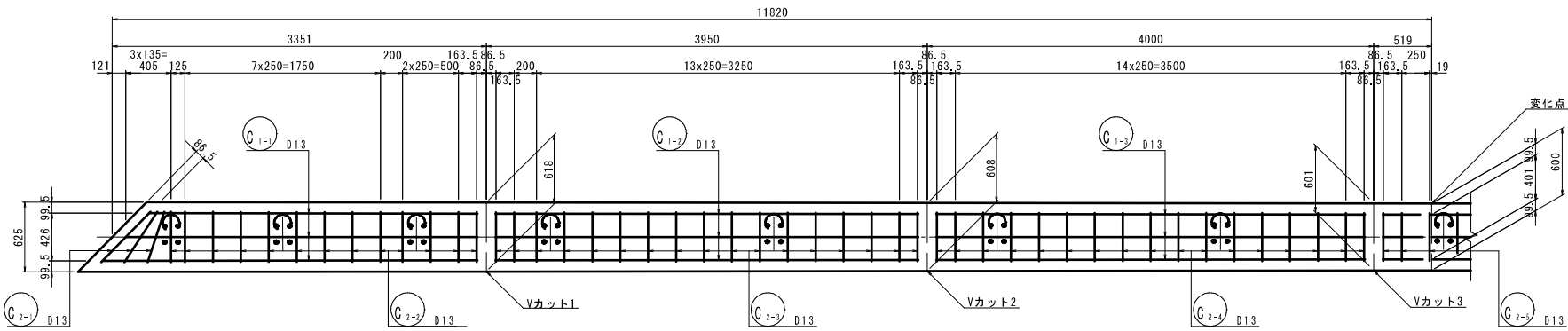
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（拡幅部）地覆詳細図（その１）

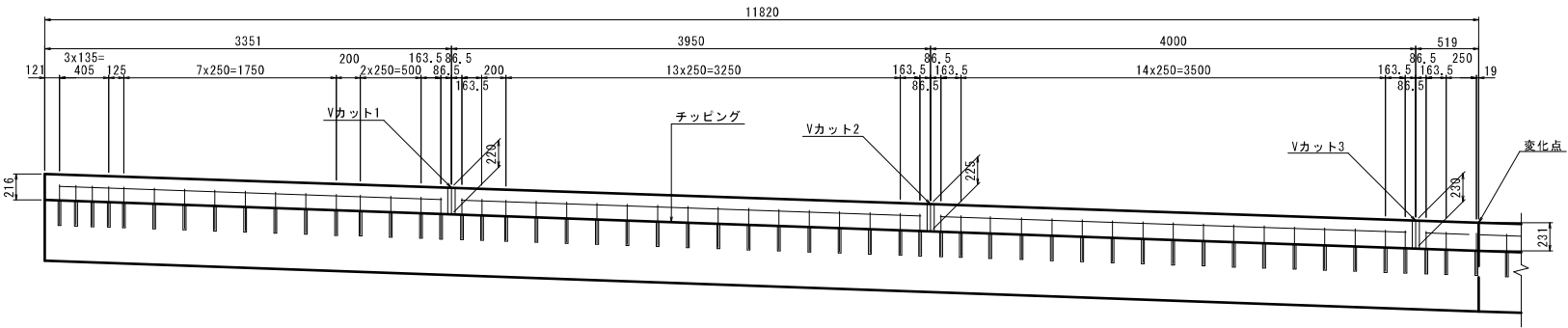
全体平面図 S=1:50



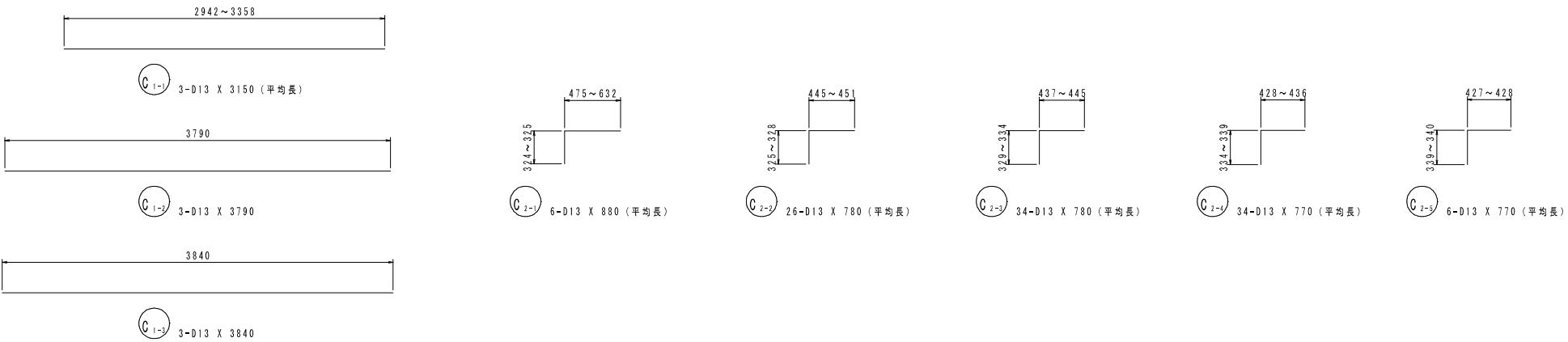
地覆01 平面図 S=1:30



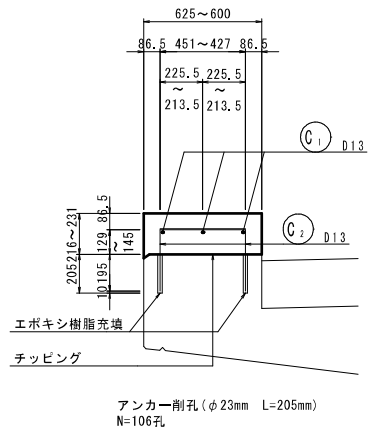
地覆01 側面図 S=1:30



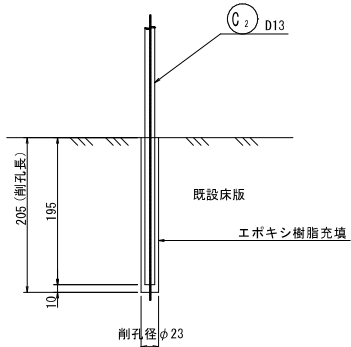
鉄筋加工図 S=1:30



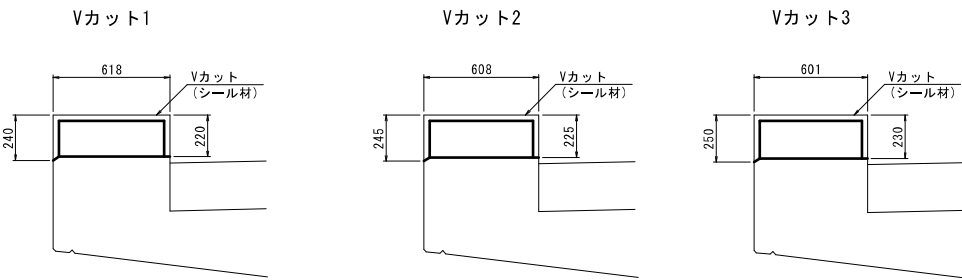
断面図 S=1:20



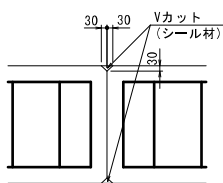
定着部詳細図(D13) S=1:5



Vカット部断面図 S=1:20



Vカット部平面図 S=1:20

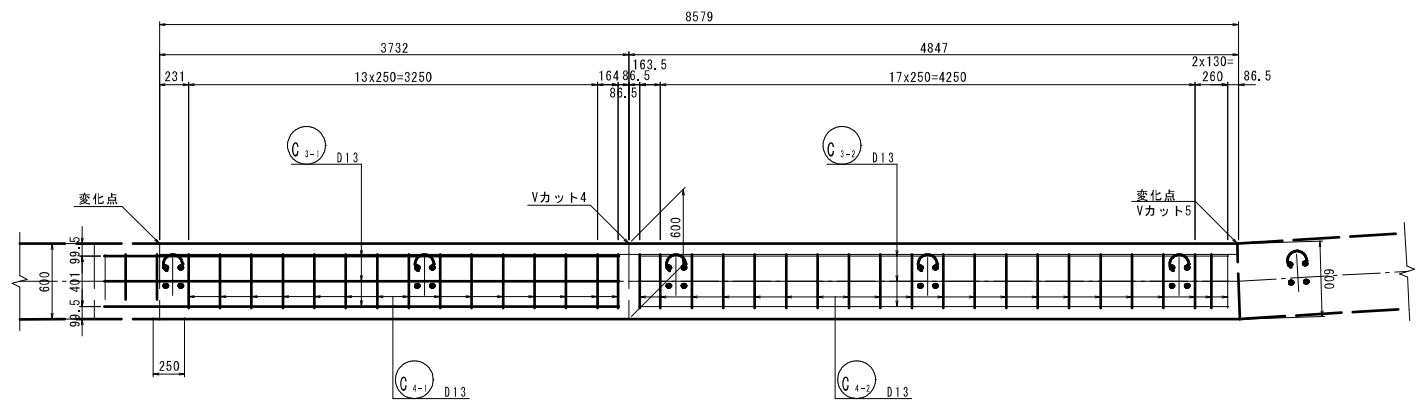


路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事（2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（拡幅部）地覆詳細図（その1）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	22
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

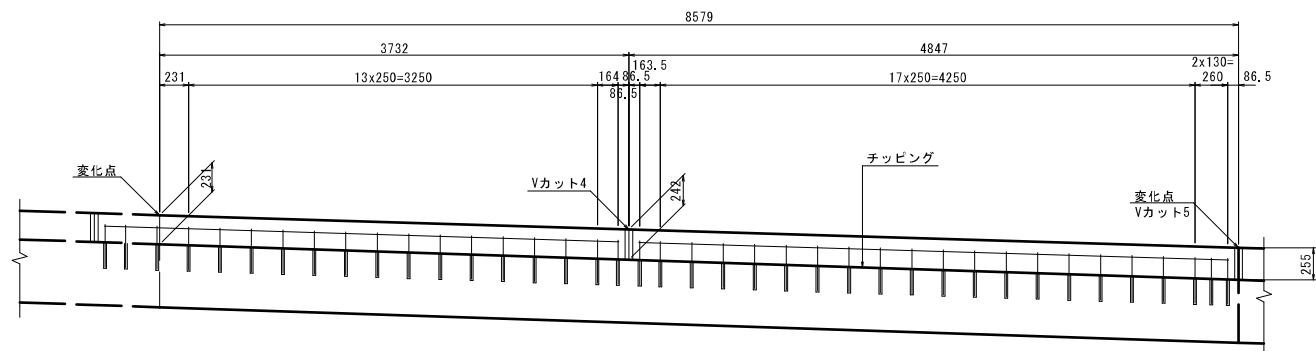
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（拡幅部）地覆詳細図（その２）

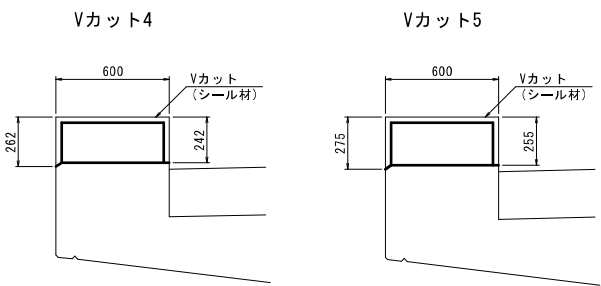
地覆02 平面図 S=1:30



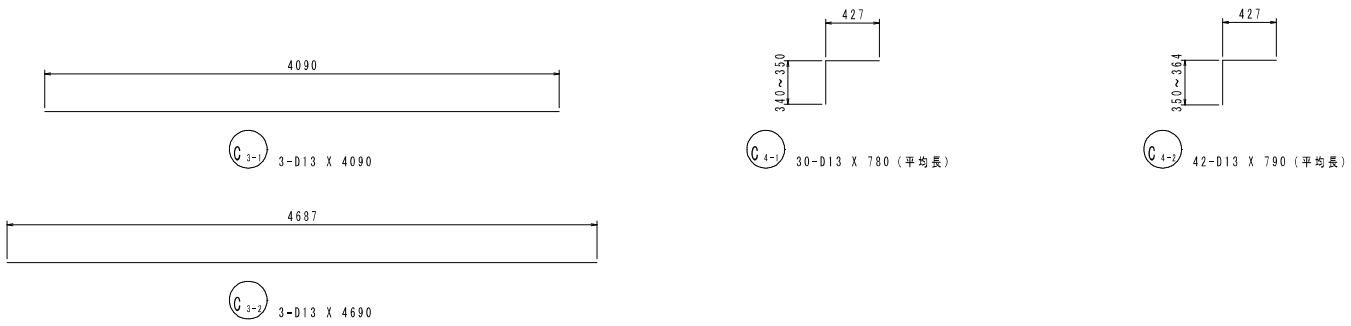
地覆02 側面図 S=1:30



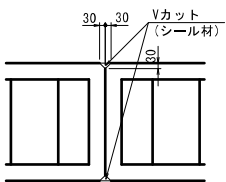
Vカット部断面図 S=1:20



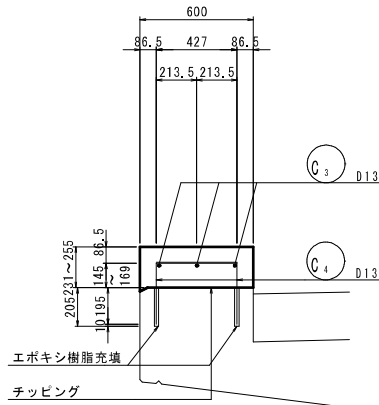
鉄筋加工図 S=1:30



Vカット部平面図 S=1:20

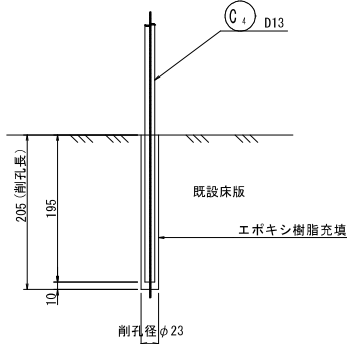


断面図 S=1:20



アンカー削孔 (φ23mm L=205mm)
N=72孔

定着部詳細図 (D13) S=1:5

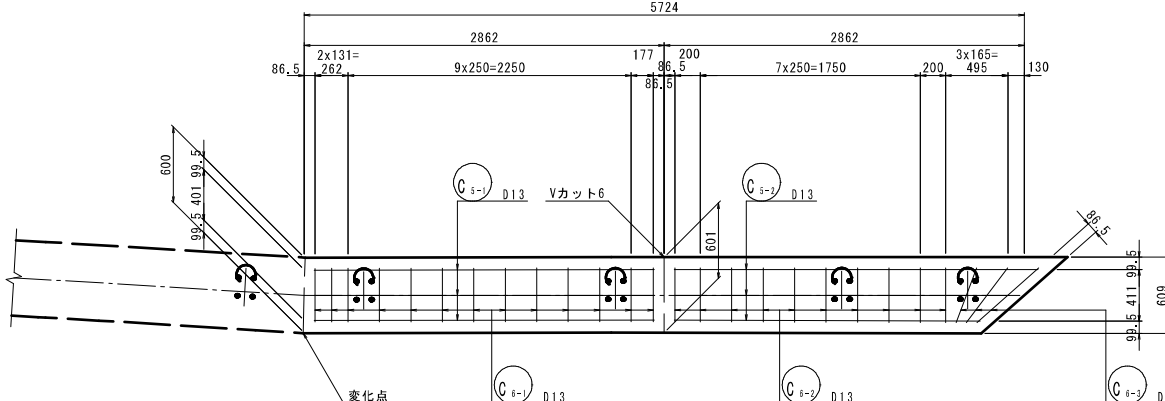


路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	既設橋（拡幅部） 地覆詳細図（その2）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	23
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

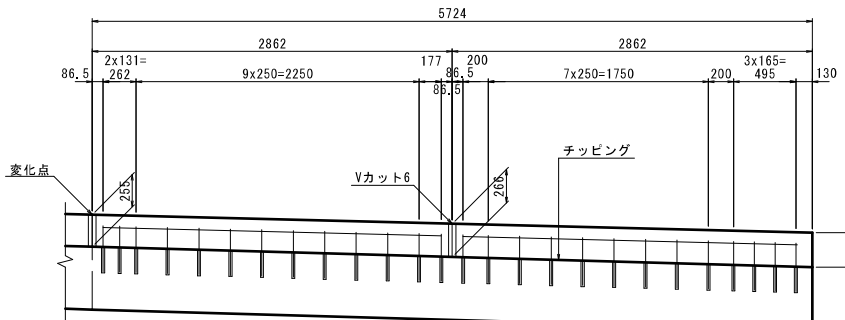
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

既設橋（拡幅部）地覆詳細図（その３）

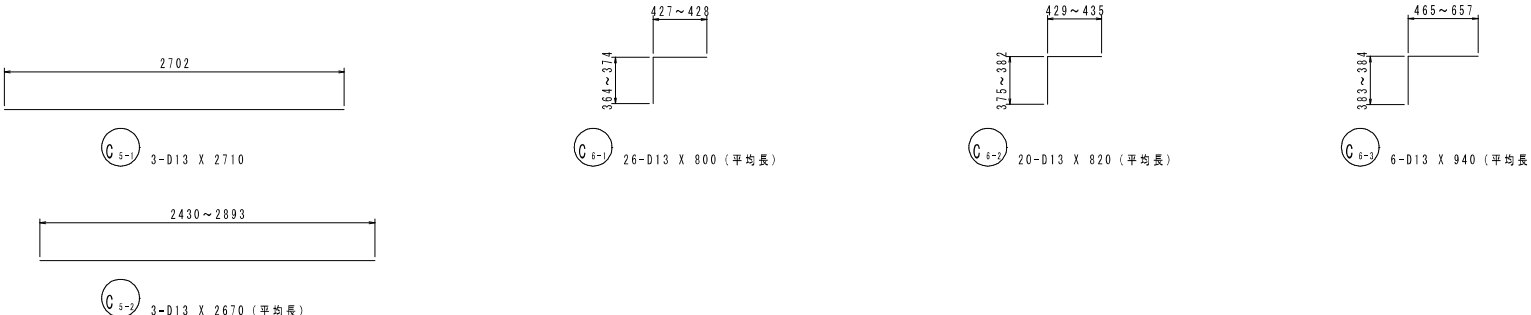
地覆03 平面图 S=1:3



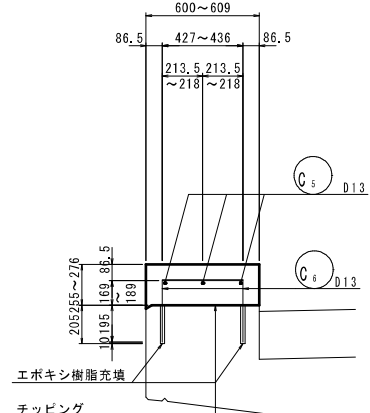
地覆03 側面図 S=1:30



鉄筋加工図 S=1:3

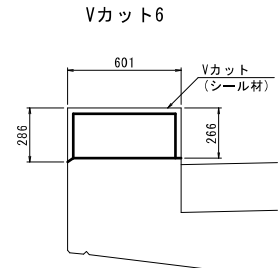


断面図 S=1:20

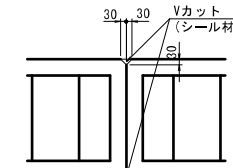


アンカ一削孔 (φ 23mm L=205mm)
N=52孔

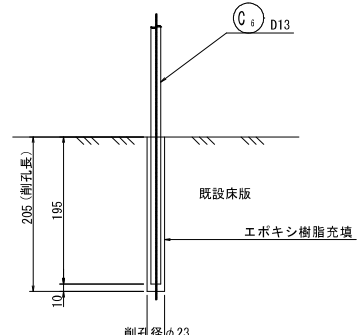
Vカット部断面図 $S=1:20$



Vカット部平面図 $S=1.20$



定着部詳細図 (D13) S=1:5



鉄筋質量表

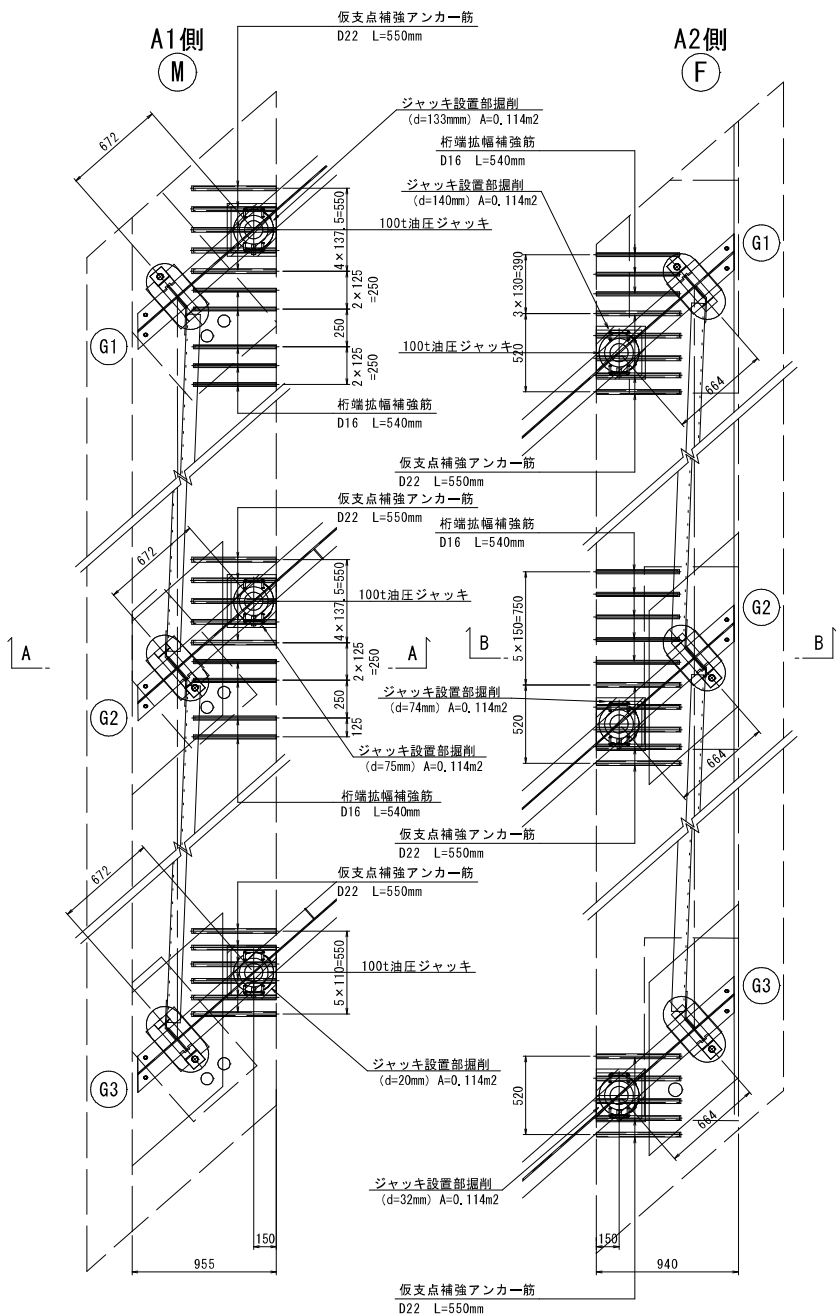
記 号	径	長 さ	本 数	単 位	質 量	一本当り質量	質 量	換 要
C 1-1	D13	3150	3	0.995	3.13	9	—————	(平均長)
C 1-2	D13	3790	3	0.995	3.77	11	—————	
C 1-3	D13	3840	3	0.995	3.82	11	—————	
C 2-1	D13	880	6	0.995	0.876	5	┌	(平均長)
C 2-2	D13	780	26	0.995	0.776	20	┌	(平均長)
C 2-3	D13	780	34	0.995	0.776	26	┌	(平均長)
C 2-4	D13	770	34	0.995	0.766	26	┌	(平均長)
C 2-5	D13	770	6	0.995	0.766	5	┌	(平均長)
C 3-1	D13	4090	3	0.995	4.07	12	—————	
C 3-2	D13	4690	3	0.995	4.67	14	—————	
C 4-1	D13	780	30	0.995	0.776	23	┌	(平均長)
C 4-2	D13	790	42	0.995	0.786	33	┌	(平均長)
C 5-1	D13	2710	3	0.995	2.70	8	—————	
C 5-2	D13	2670	3	0.995	2.66	8	—————	(平均長)
C 6-1	D13	800	26	0.995	0.796	21	┌	(平均長)
C 6-2	D13	820	20	0.995	0.816	16	┌	(平均長)
C 6-3	D13	940	6	0.995	0.935	6	┌	(平均長)
254								

路線名	国道373号		
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）			
図名	既設橋（橘福部） 地覆詳細図（その3）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45 葉中の内 24		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭郡土整備事務所			

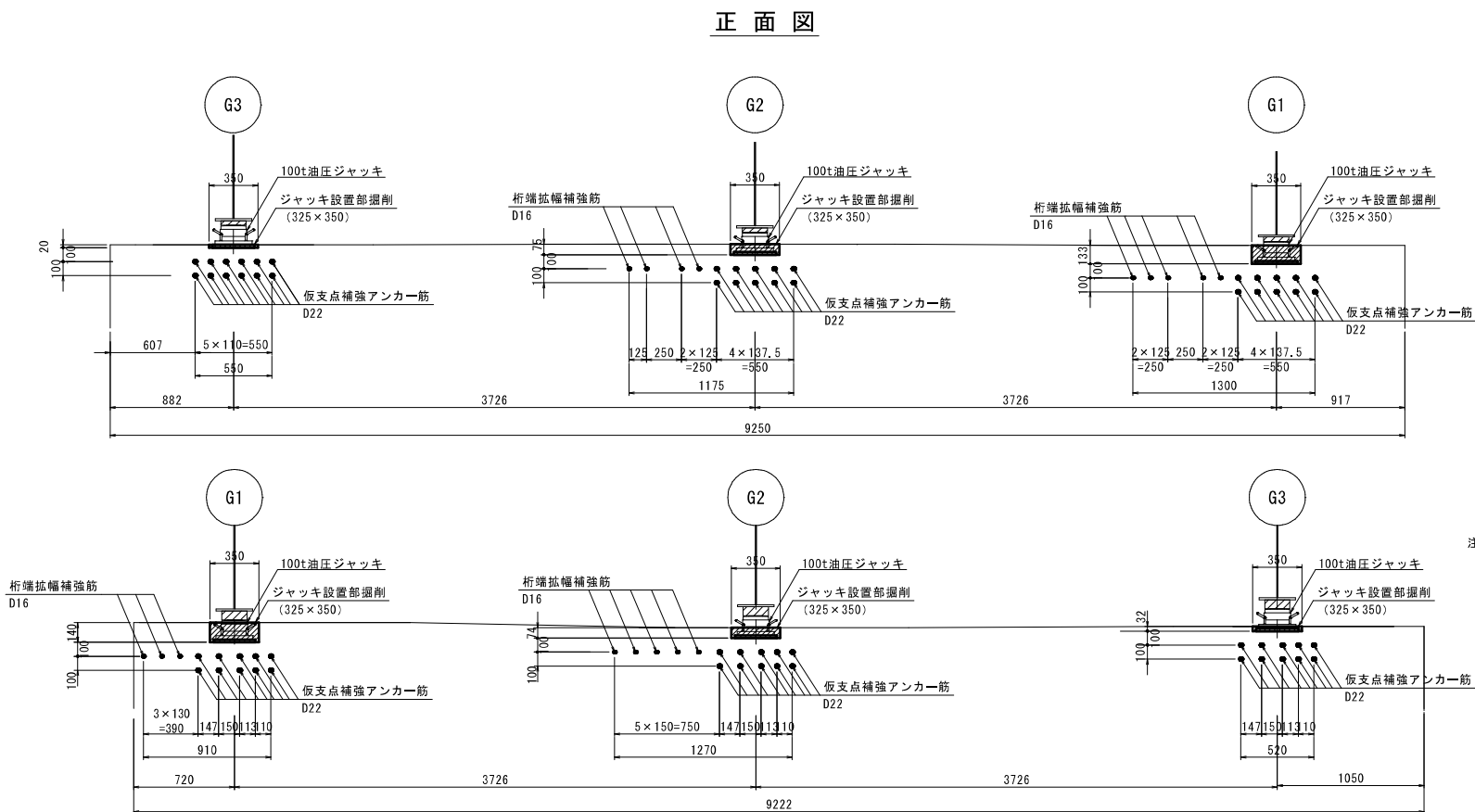
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支取替え詳細図（その1）
既設橋（旧橋部）ジャッキアップ詳細図

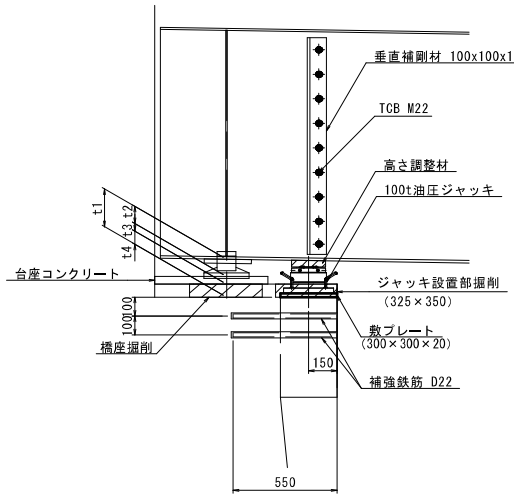
平面図 S=1:25



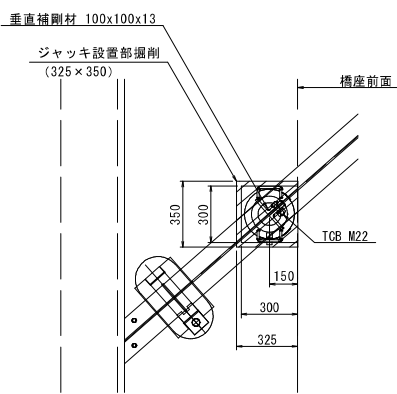
仮支点部、補強アンカー詳細図 S=1:25



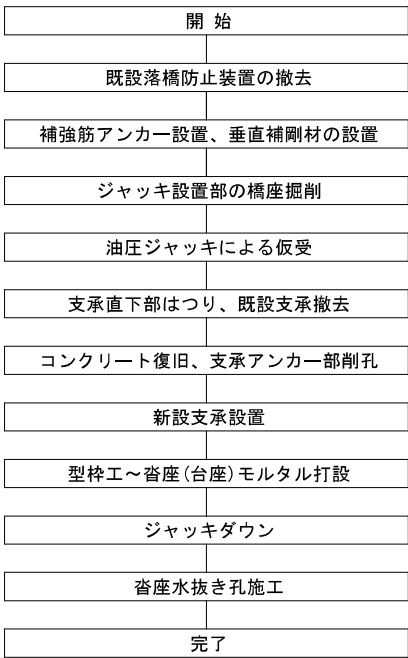
側面図 S=1:20



平面図 S=1:20

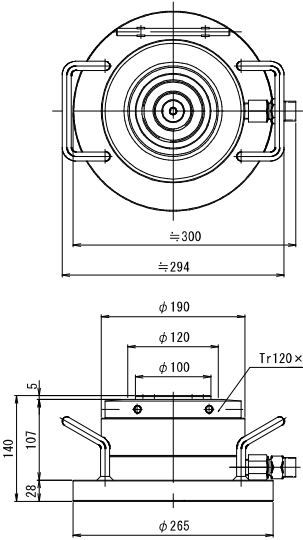


施工手順

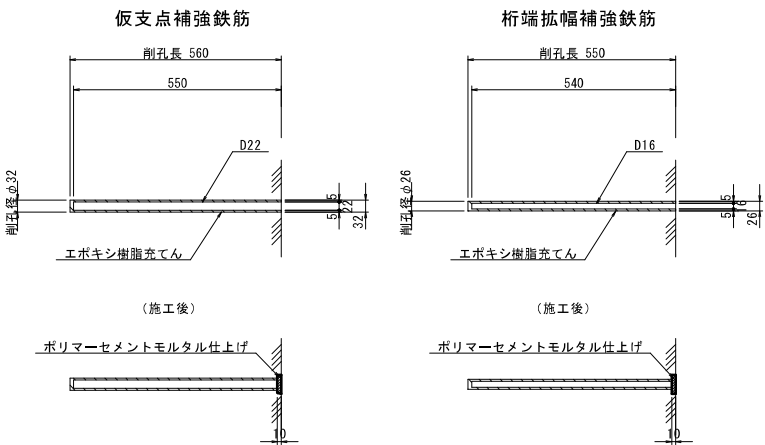


- 注) 1. 施工に先立ち、必ず現地実測の上工事を実施すること。
特に支取替え高さは、各支取替え毎に実測を行い、設置高さを確認すること。
2. 既設鉄筋は切断することの無いよう非破壊検査やハツリ等の適切な事前処置を講ずること。
3. 補剛材取付け面は素地調整を行った上、設置のこと。
4. 補剛材は取付け後、桁と同様に塗装を行うこと。
5. アンカー削孔は事前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋位置を把握した上で実施し、既設鉄筋や支取替えアンカー、補強筋等が相互に干渉しないように、必要に応じて位置調整を行うこと。
6. ジャッキや支取替え時の橋座掘削により、橋座掘削の主筋と干渉する可能性があるため、はつり量が大きなG1、G2桁部に対して、用心補強筋 (D16) を配置している。橋座掘削鉄筋の状況 (干渉有無、鉄筋径等) により、補強筋の設置有無、補強筋径・ピッチ等の調整を行うこと。

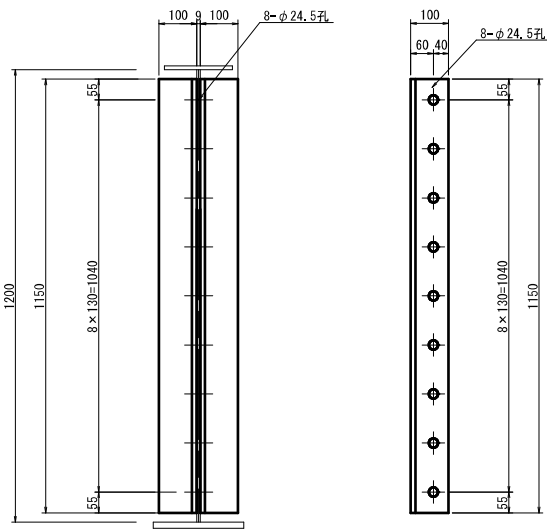
油圧ジャッキ詳細図 S=1:5
(1000kN油圧ジャッキ)



補強筋削孔詳細図 S=1:10



垂直補剛材詳細図 S=1:10



1か所あたり
1-L 100×100×13×1150 (SS400)
9-T, C, B M22×70 (S10T)

寸法表 (mm)		t1	t2	t3	t4
A1側	G1	209	76	-	133
	G2	209	94	40	75
	G3	209	96	93	20
A2側	G1	224	84	-	140
	G2	224	102	48	74
	G3	224	112	80	32

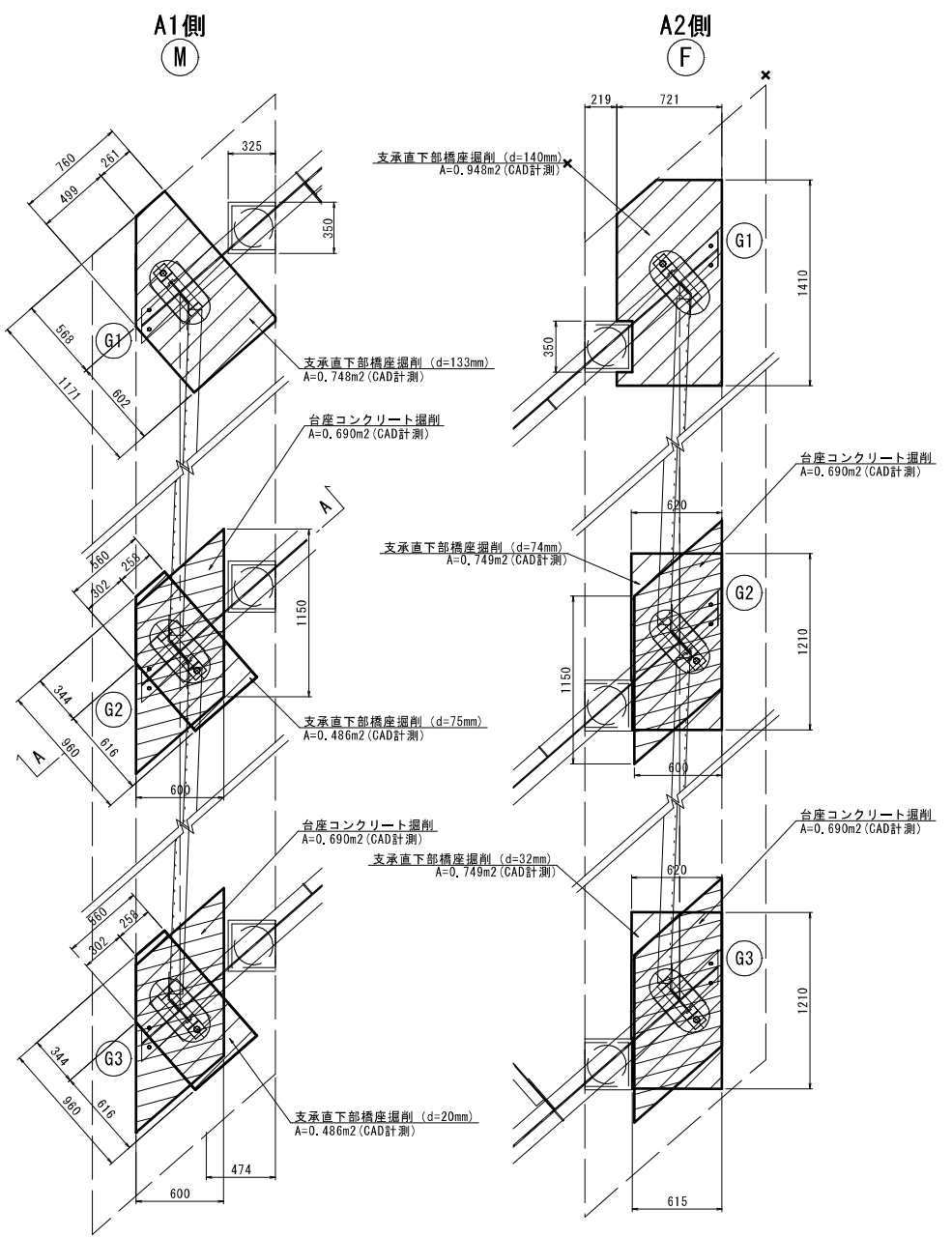
路線名	国道373号		
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）			
図名	支取替え詳細図（その1）		
位置	八頭郡智頭町福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全45葉中の内25		
令和8～9年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

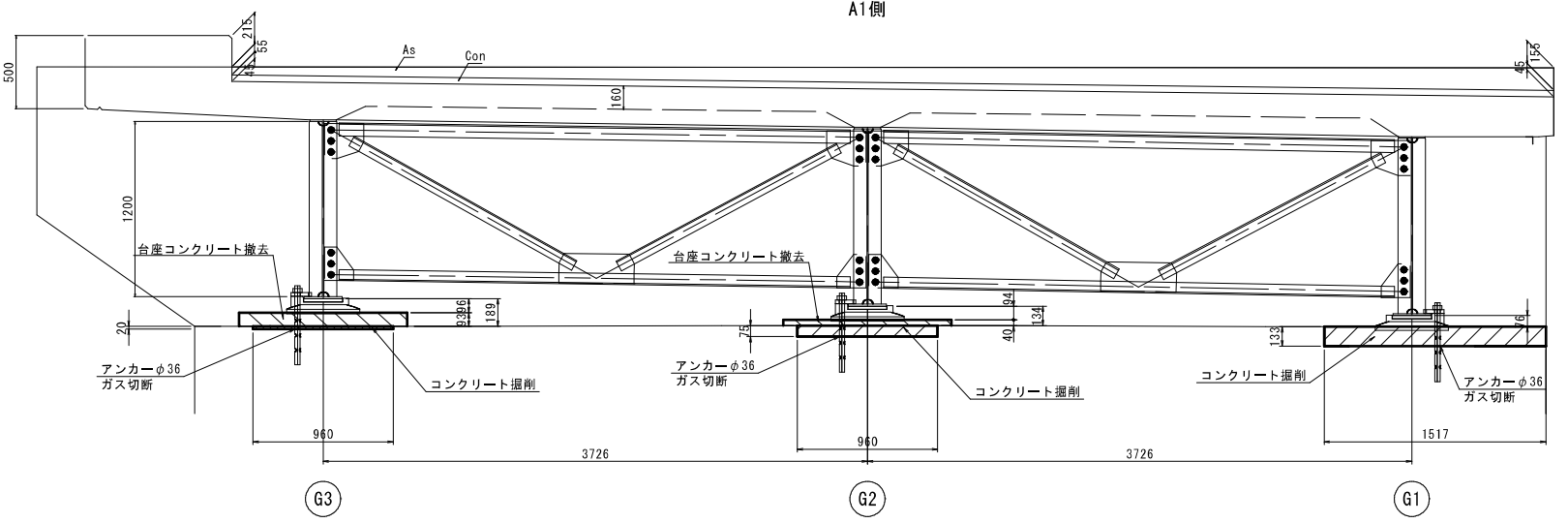
支存取替詳細図（その2）
既設橋（旧橋部）旧支承撤去詳細図

補修工の凡例	
補修工項目	補修工の表示
台座コンクリート掘削	
橋座掘削	

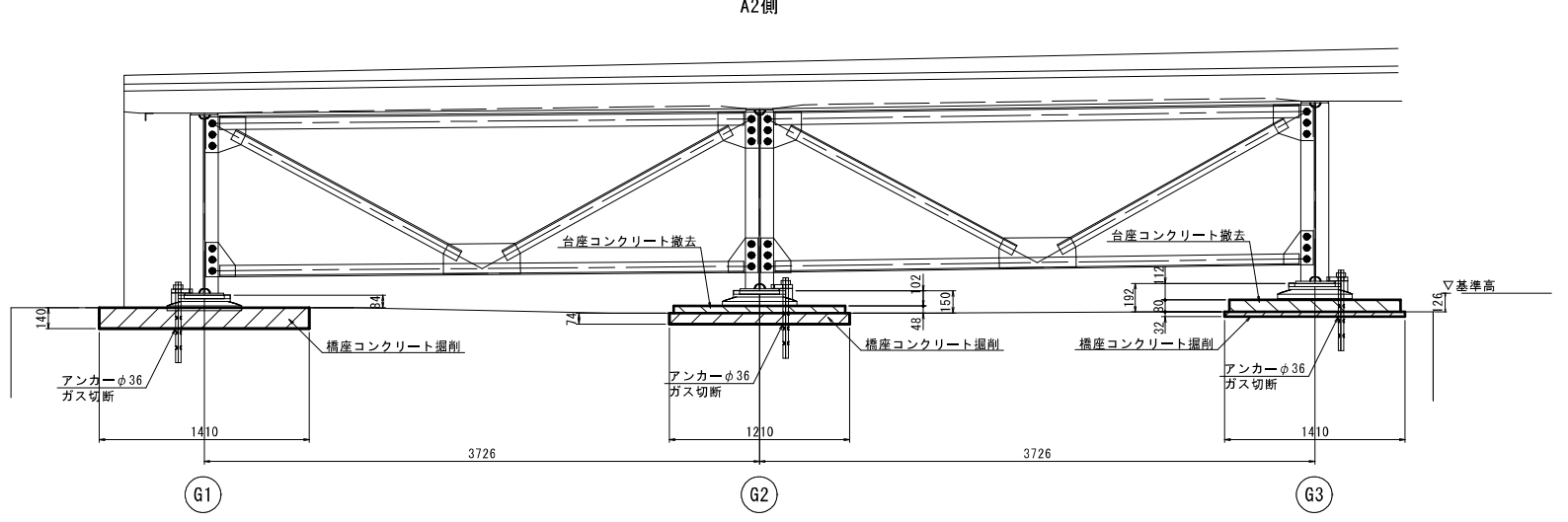
平面図 S=1:25



断面図 S=1:25



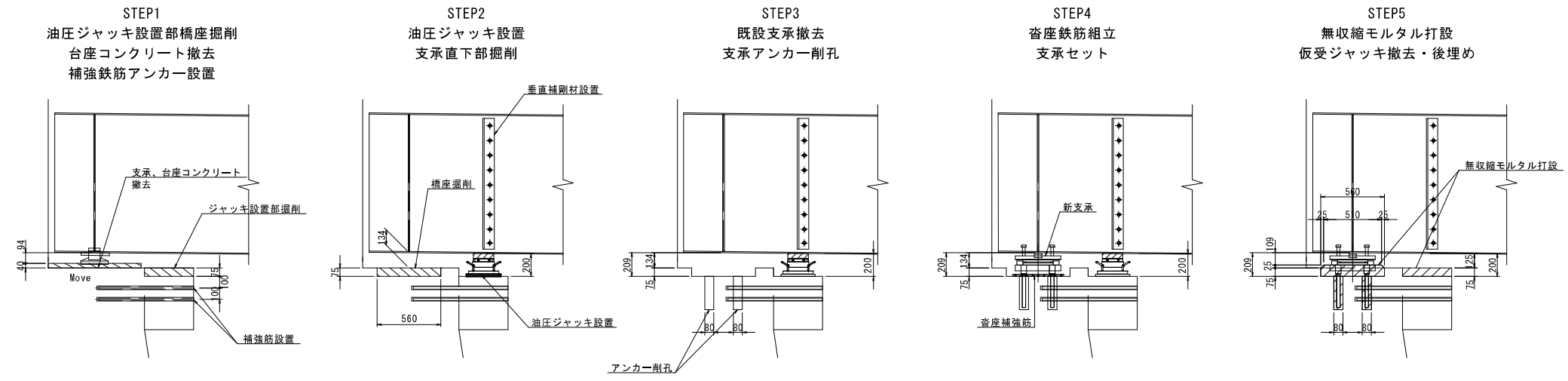
断面図 S=1:25



注）各座モルタル掘削部及びジャッキ設置掘削部は新設支承設置後に流束に向けて排水勾配が付くようにすること。

支存取替手順図 S=1:25

A-A断面



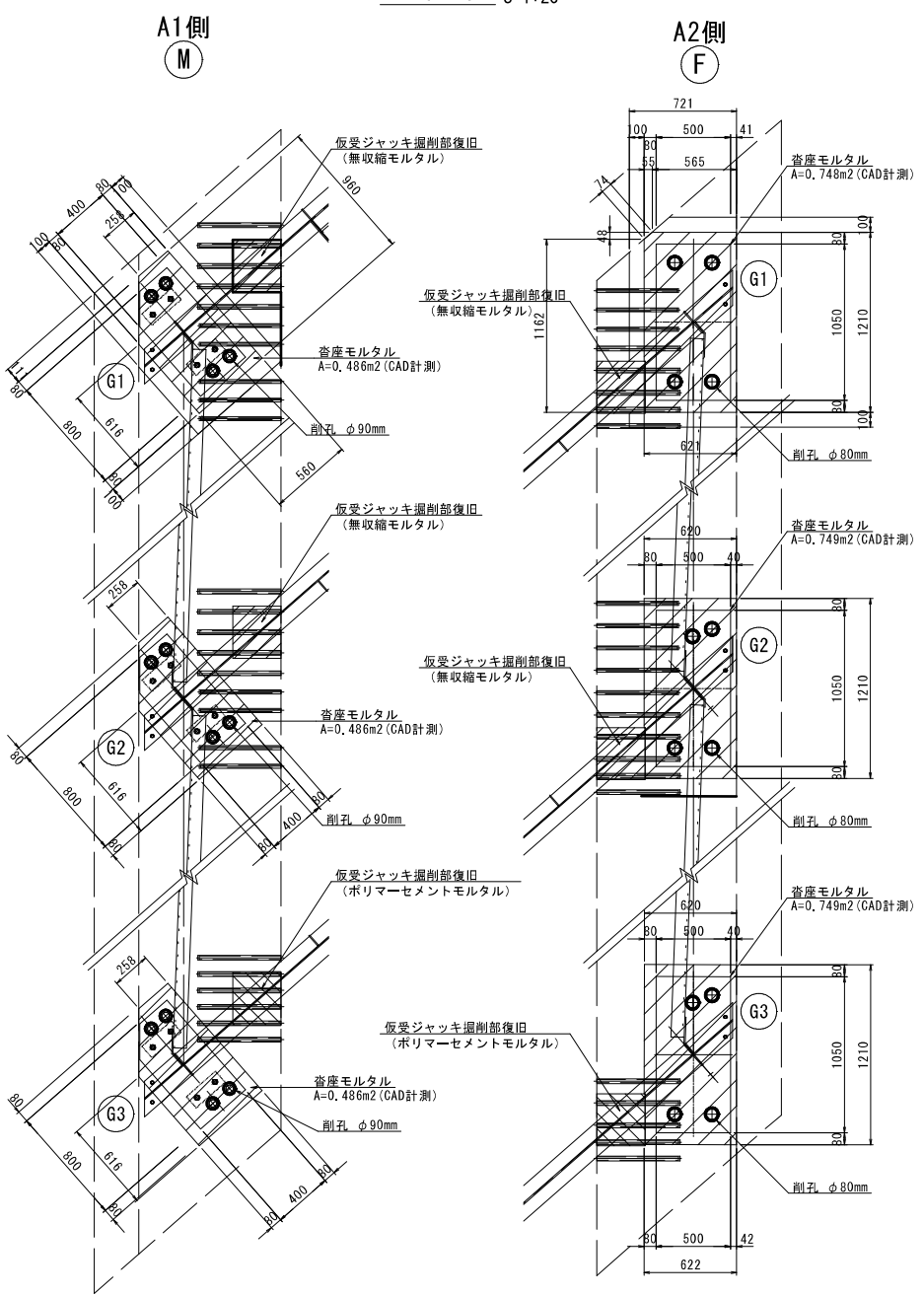
路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事（2工区）（交付金改良）		
図名	支存取替詳細図（その2）		
位置	八頭郡智頭町福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45 葉の内 26		
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

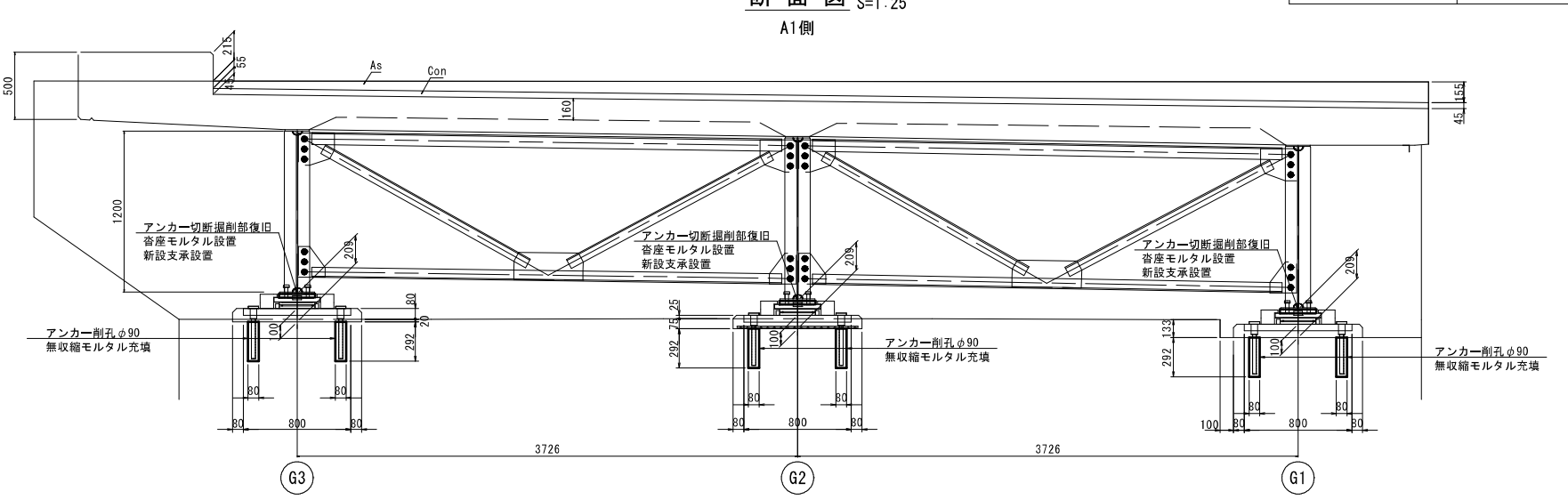
支存取替え詳細図（その3）
既設橋（旧橋部）新支承設置詳細図

補修工の凡例	
補修工項目	補修工の表示
宥座モルタル	
無収縮モルタル充填	

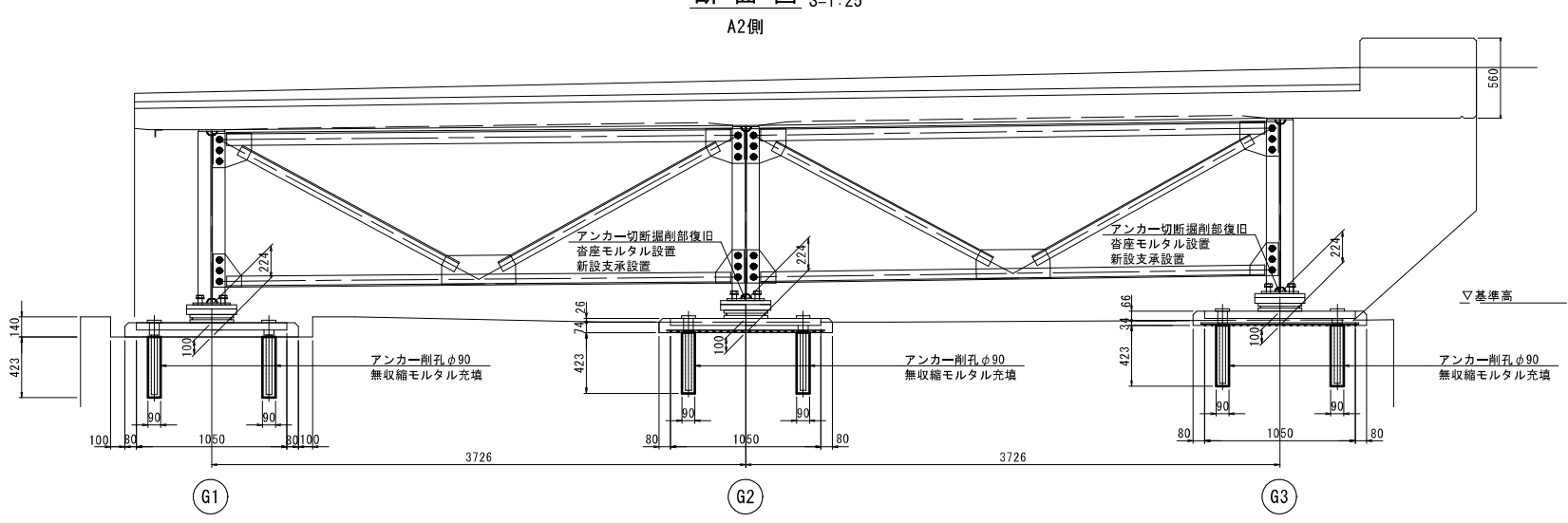
平面図 S=1:25



断面図 S=1:25

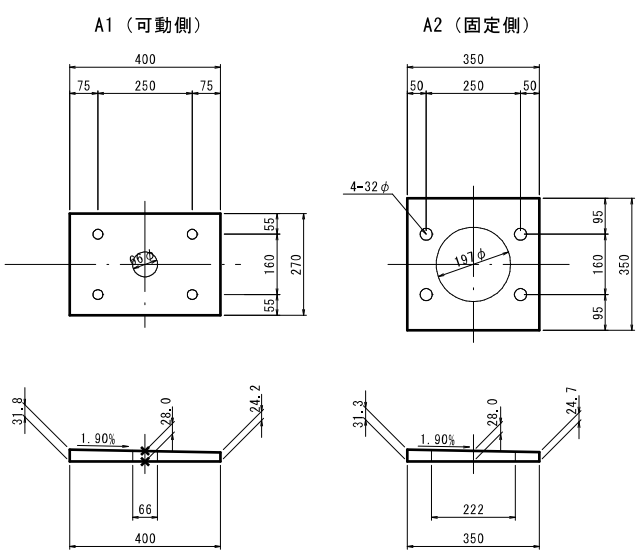


断面図 S=1:25

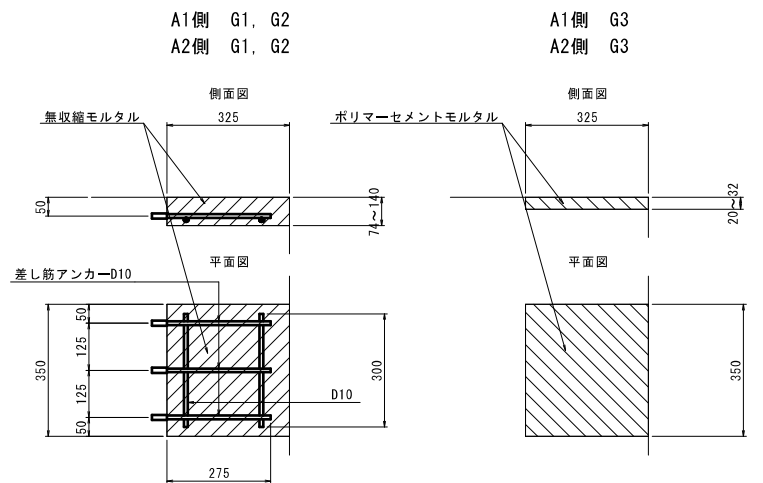


ソールプレート詳細図 S=1:10

アンカー削孔詳細図 S=1:10



仮受ジャッキ掘削部復旧詳細図 S=1:10



- 注) 1. 施工に先立ち、必ず現地実測の上工事を実施すること。
特に支保高さは、各支点毎に実計測を行い、設置高さを確認すること。
2. 既設鉄筋は切断することの無いよう非破壊検査やハツリ等の適切な事前処置を講じること。
3. アンカー削孔は事前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋位置を把握した上で実施し、既設鉄筋や支承アンカー、補強筋等が相互に干渉しないように、必要に応じて位置調整を行うこと。

路線名	国道373号
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）	
図名	支存取替え詳細図（その3）
位置	八頭郡智頭町福原
縮尺	図示
単位	m
図号	全 45 葉中の内 27
令和 8～9 年度施行 鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所	

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

差し筋アンカー L=275mm N=12本
鉄筋 SD295 D10 L=300mm N=8本

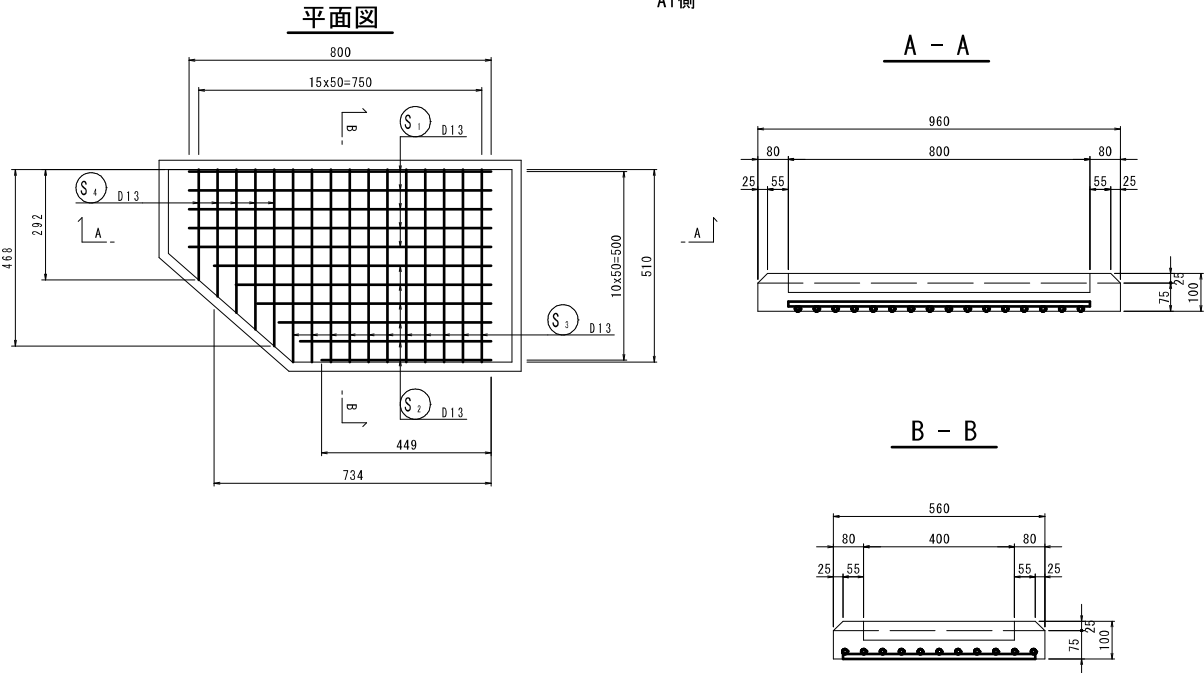
※A1側の宥座モルタル、A1、A2側の支承は橋軸方向の断面を示す。

- 注) 1. 材質はSM490Aとする。
2. 溶融亜鉛めっきJIS H 8641 HDZT77とする。

支承取替え詳細図（その４）
 （旧橋部）

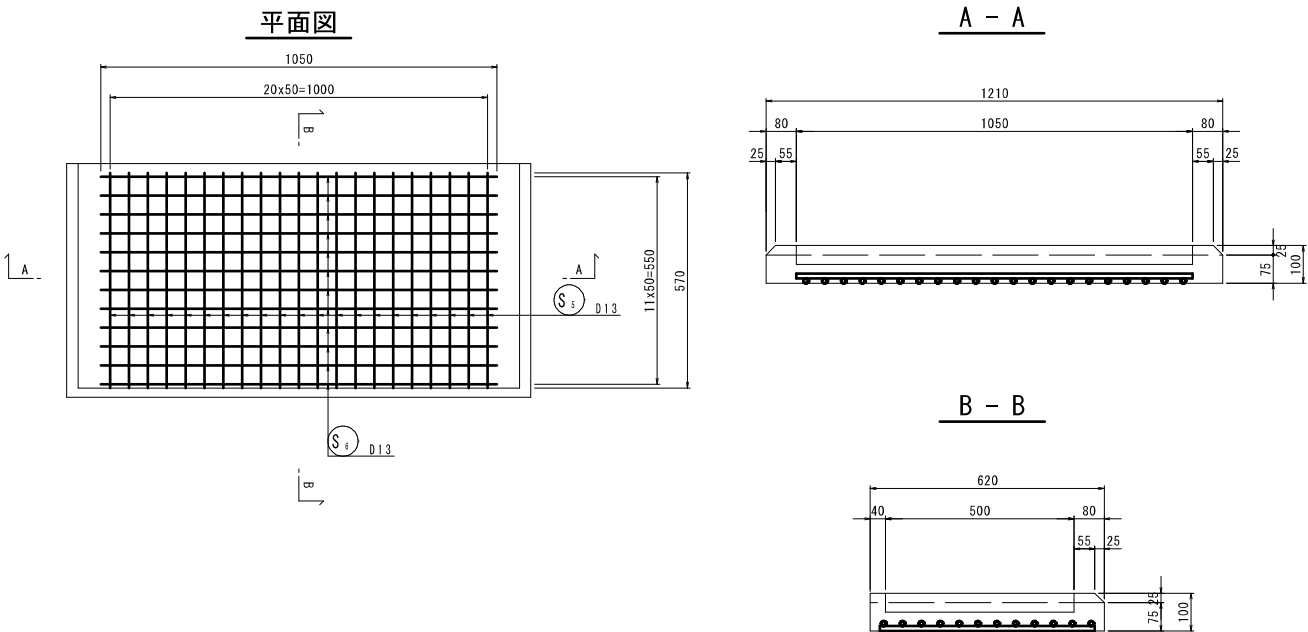
沓座補強筋詳細図

A1側

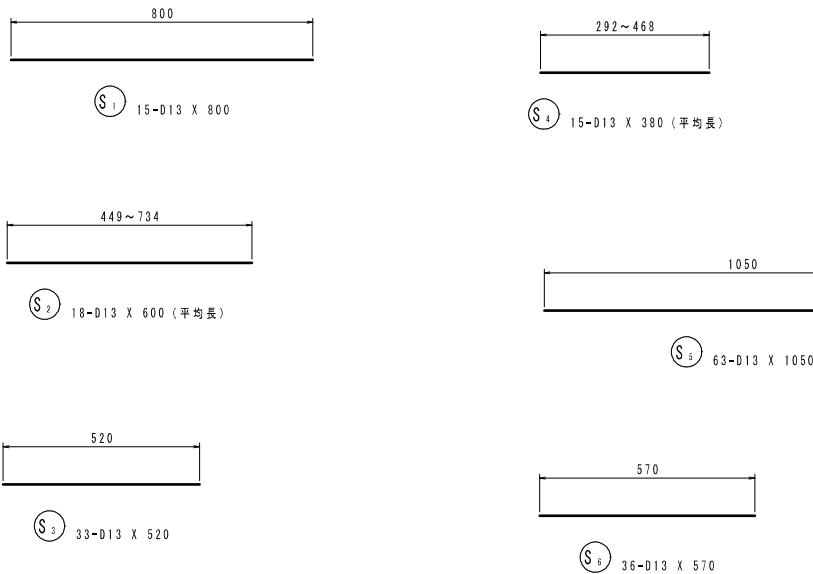


沓座補強筋詳細図

A2側



鉄筋加工図



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S ₁	D13	800	15	0.995	0.796	12	――
S ₂	D13	600	18	0.995	0.597	11	―― (平均長)
S ₃	D13	520	33	0.995	0.517	17	――
S ₄	D13	380	15	0.995	0.378	6	―― (平均長)
S ₅	D13	1050	63	0.995	1.045	66	――
S ₆	D13	570	36	0.995	0.567	20	――
132							
合 計 D13				132 kg			
総質量				132 kg			

路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図 名	支承取替え詳細図（その４）		
位 置	八 頭 郡 智 頭 町 福 原		
縮 尺	1：10	単 位	m
図 号	全 45 葉中の内 28		
	令和 8～9 年度施行 鳥取県		
	鳥取県 八頭県土整備事務所		

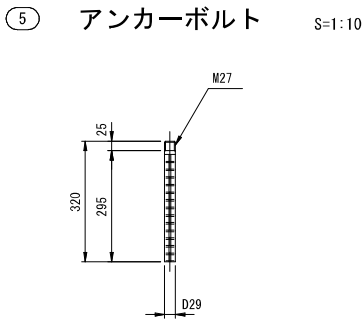
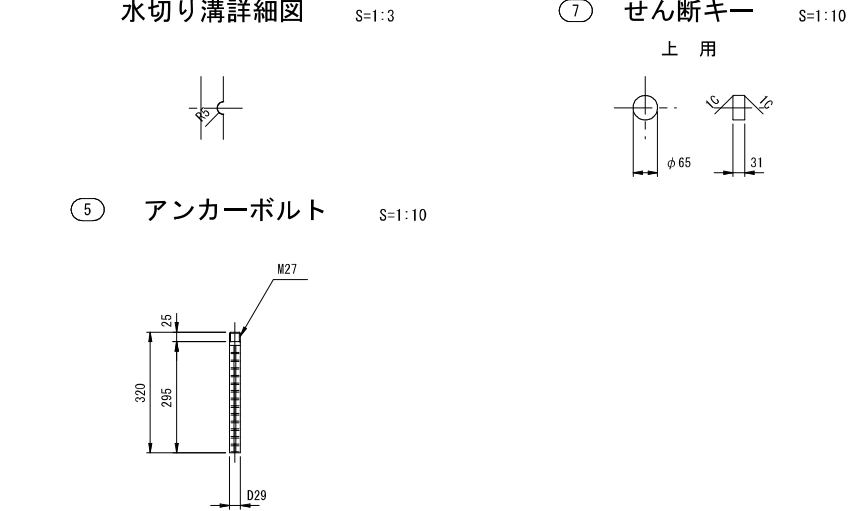
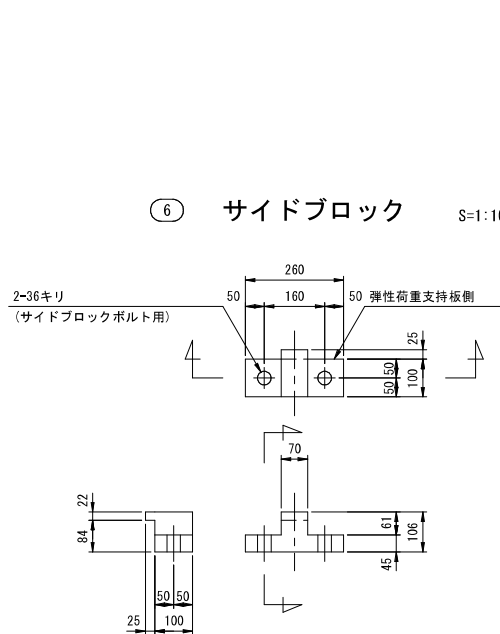
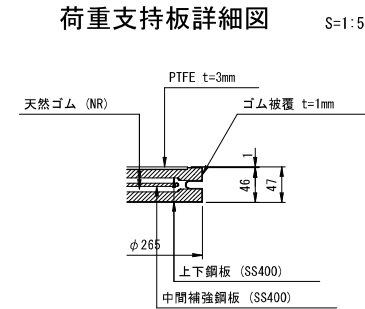
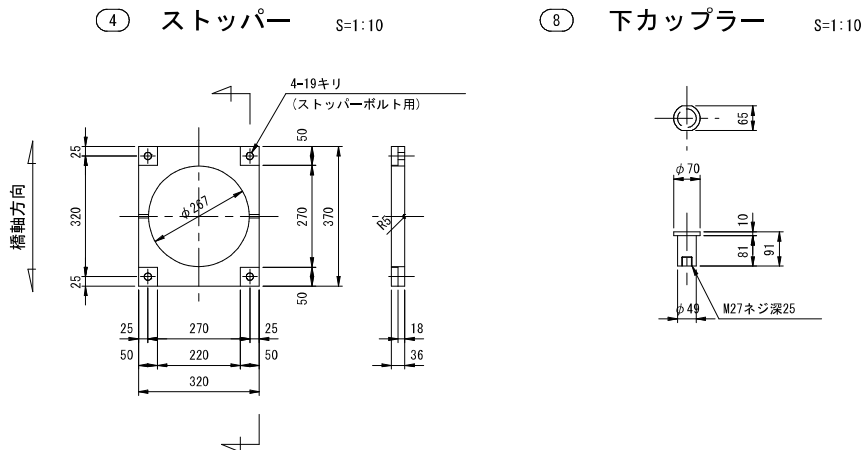
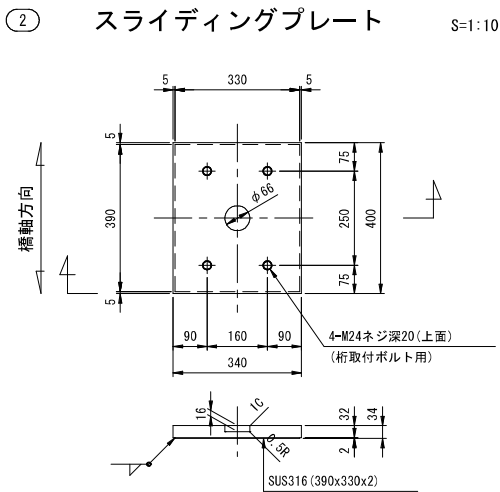
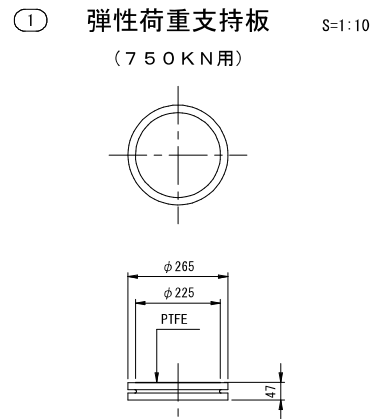
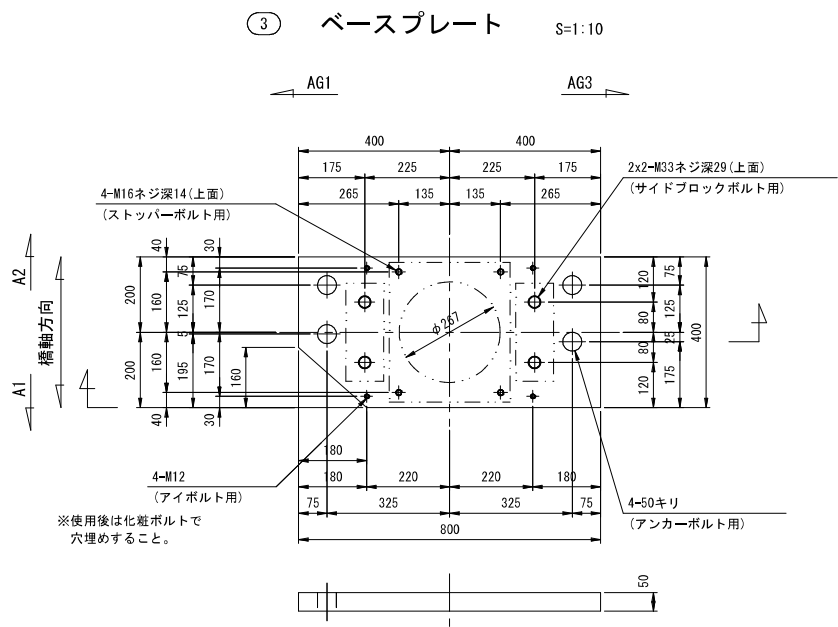
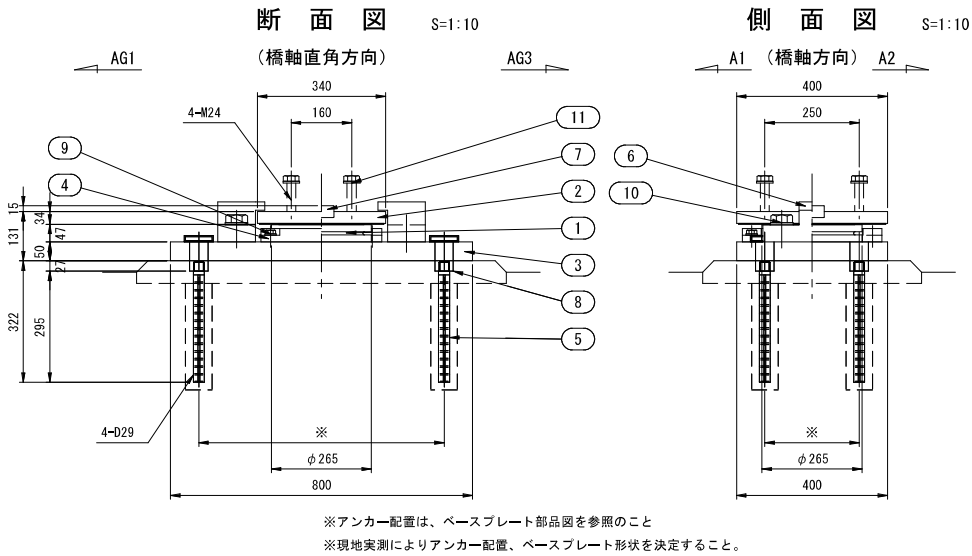
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支取替え詳細図（その５）

既設橋（旧橋部）支承詳細図

A1

可動ゴム支承装置（弾性荷重支持板）



設計条件

反 力 (kN)		A1
最大 反 力		Rmax 700
最大 反 力 （ 回 転 照 査 用 ）		Rmax2 630
死 荷 重 反 力		RD 350
照 査 荷 重		R1L 175
最大 水 平 力	橋 軸 方 向	RHeq1 70
	橋 軸 直 角 方 向	RHeq2 312
	サイドブロック	RHeq3 312
上 向 きの 地 震 力		Ru -105
変 位 量 (mm)		
照 査 荷 重 時 の 変 位 量		δcL 0.486
回 転 変 位 量		δr 0.667
水 平 変 位 量	常 時 ・ 橋 軸 方 向	$\Delta L1$ 22
	地 震 時 ・ 橋 軸 方 向	$\Delta Le1$ -
	地 震 時 ・ 橋 軸 直 角 方 向	$\Delta Le2$ -
性 能		
ゴムの種類及び呼び		材料-G NR-610
圧縮ばね定数 (kN/mm)		Kv 360
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS -
	変 位 量 (mm)	UB -

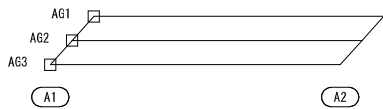
材料表 (1組当り)

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	14.0	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	35.6	
③	ベースプレート	SM490A	1	115.9	
④	ストッパー	SM490A or SCW480N	1	16.1	
5	アンカーボルト	SD345	4	6.5	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	24.3	
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	0.8	上 用
⑧	下カップラー	S45CN	4	5.2	
⑨	ストッパーボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.3	
⑩	サイドブロックボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	3.6	
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.9	
12	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
13	アイボルト	SS400	-	-	M12
⑬	化粧ボルト、ワッシャー	強度区分 4.8	4	-	M12x20 (細径)
合計				224.4	(kg)

- ※1 道路橋支承便覧(H16)準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※9 スライディングプレートのSUS溶接部は高濃度亜鉛未塗装とする。
※10 部番、9、10、11のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。

- ⑨ ストッパーボルト、ワッシャー M16 x 35 強度区分 8.8
⑩ サイドブロックボルト、ワッシャー M33 x 80 強度区分 8.8
⑪ 桁取付ボルト、ワッシャー M24 x L 強度区分 8.8

位置図



路線名	国道373号
国 道 3 7 3 号 (福 原 工 区) 改 良 工 事 (2 工 区) (交 付 金 改 良)	
図 名	支取替え詳細図(その5)
位 置	八 頭 郡 智 頭 町 福 原
縮 尺	図 示 単 位 m
図 号	全 4 5 葉 中 の 内 2 9
令 和 8 ~ 9 年 度 施 行	鳥 取 県
鳥 取 県 八 頭 県 土 整 備 事 務 所	

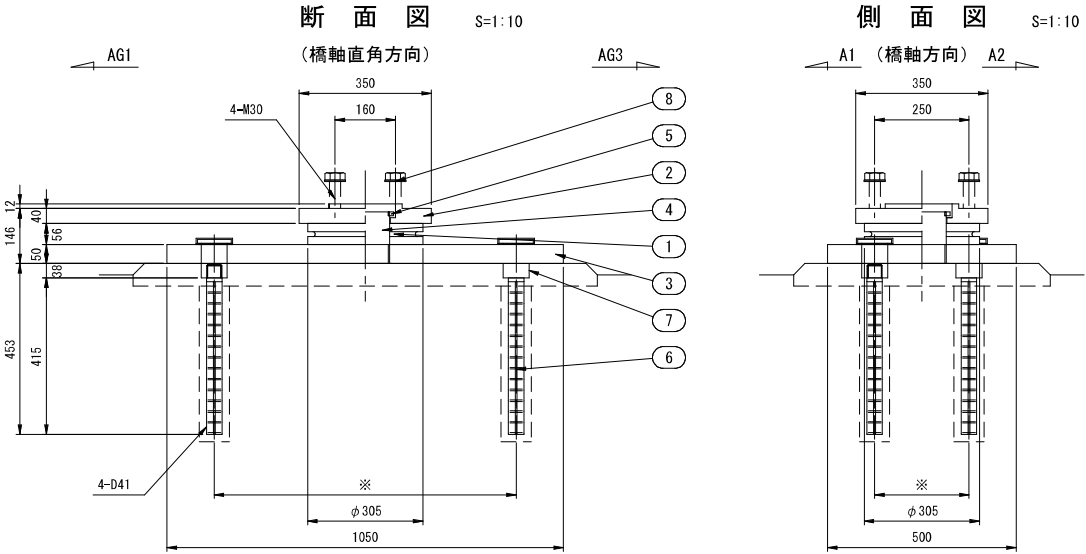
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支存取替え詳細図（その6）

既設橋（旧橋部）支承詳細図

A2

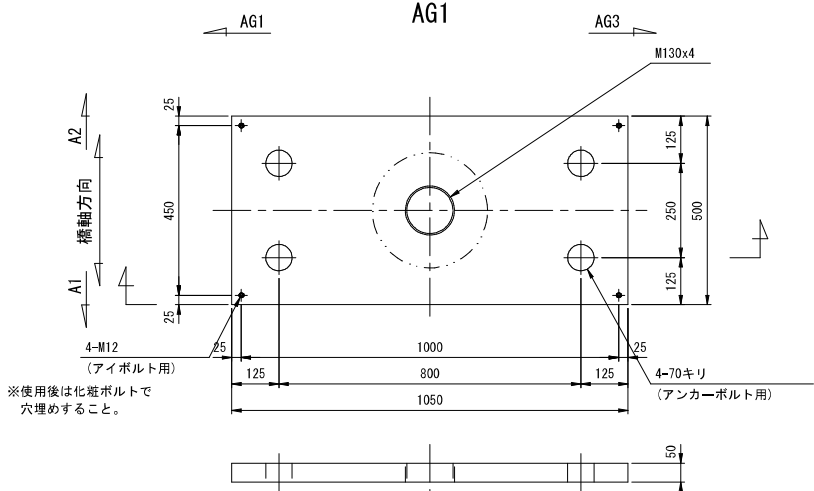
側面図 S=1:10



※アンカー配置は、ベースプレート部品図を参照のこと
※現地実測によりアンカー配置、ベースプレート形状を決定すること。

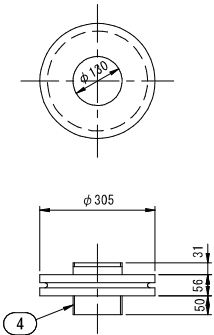
固定ゴム支承装置（弾性荷重支持板）

③ ベースプレート S=1:10

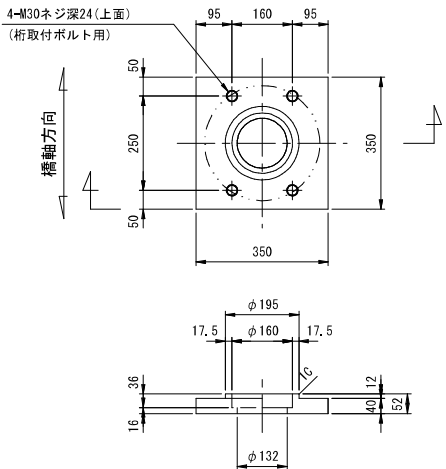


※使用後は化粧ボルトで穴埋めすること。

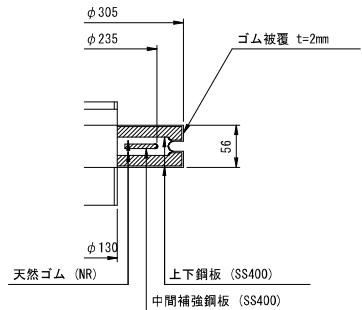
① 弾性荷重支持板 S=1:10



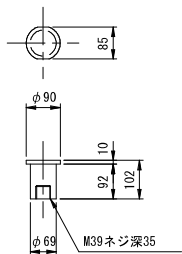
② 上 咨 S=1:10



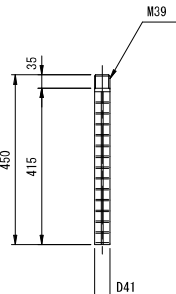
荷重支持板詳細図 S=1:5



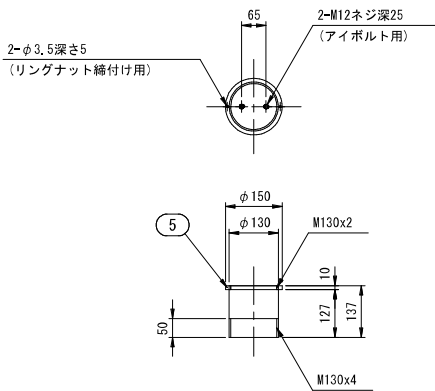
⑦ 下カップラー S=1:10



⑥ アンカーボルト S=1:10



④ シンボウ



設 計 条 件

反 力 (kN)		A2
最大 反 力	Rmax	670
最大 反 力 (回転照査用)	Rmax2	620
死 荷 重 反 力	RD	320
照 査 荷 重	R1L	175
最大 水平 力	橋 軸 方 向	RHeq1
	橋 軸 直 角 方 向	RHeq2
上 向 きの 地 震 力	Ru	-96
変 位 量 (mm)		
照 査 荷 重 時 の 変 位 量	δ cL	0.875
回 転 変 位 量	δ r	0.783
水 平 変 位 量	常 時 ・ 橋 軸 方 向	Δ L1
	地 震 時 ・ 橋 軸 方 向	Δ Le1
	地 震 時 ・ 橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2
性 能		
ゴ ム の 種 類 及 び 呼 び	材 料 -G	NR-G10
圧 縮 ば ね 定 数 (kN/mm)	Kv	200
試 験 変 位 量	せん断ひずみ (%)	γ S
	変 位 量 (mm)	UB

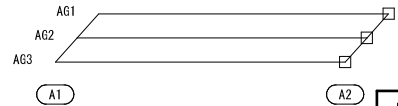
材 料 表 (1組当たり)

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400	1	17.2	
②	上 咨	SM490A	1	33.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	194.9	
④	シンボウ	S45CN	1	14.3	
⑤	リングナット	S45CN	1	0.4	
6	アンカーボルト	SD345	4	18.9	
⑦	下カップラー	S45CN	4	10.9	
⑧	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	3.3	
9	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
10	アイボルト	SS400	-	-	M12
⑪	化粧ボルト、ワッシャー	強度区分 4.8	4	-	M12x20 (経径)
合計				293.5 (kg)	

※1 道路橋支承便覧(H16)準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※9 シンボウ、リングナットはめっき後ねじ加工のこと。
※10 部番、8のボルトはBBCAP（シリコーン）を施すこと。

⑧ 桁取付ボルト、ワッシャー M30 x L 強度区分 8.8

位 置 図

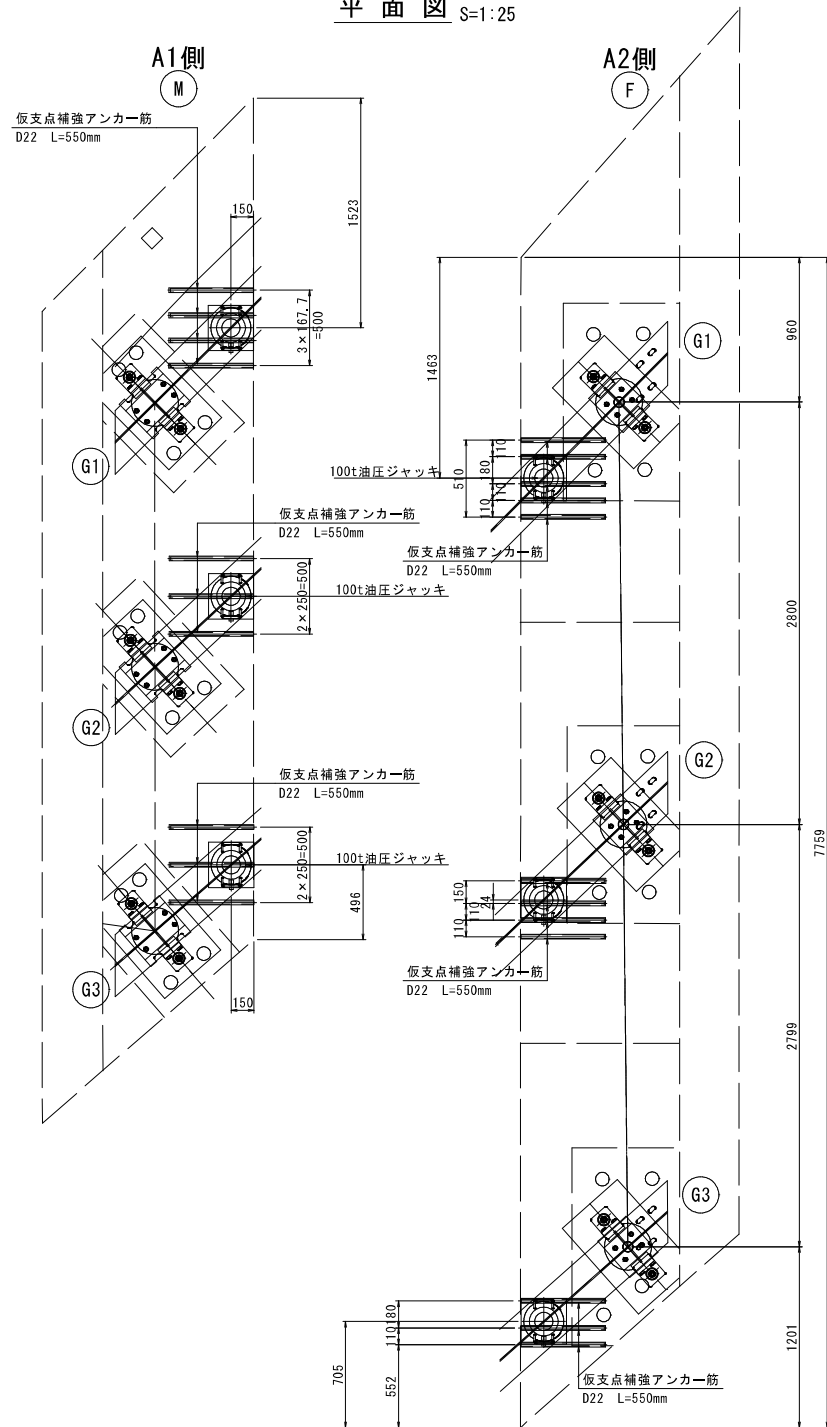


路線名	国道373号
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）	
図 名	支存取替え詳細図（その6）
位 置	八頭郡智頭町福原
縮 尺	図示 単 位 m
図 号	全 45 葉中の内 30
令和 8～9 年度施行	鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所	

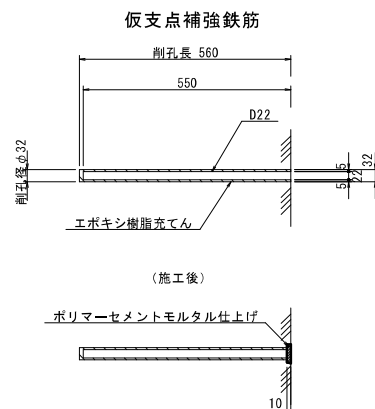
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支取替え詳細図（その7）
既設橋（拡幅部）ジャッキアップ詳細図

平面图 S=1:25



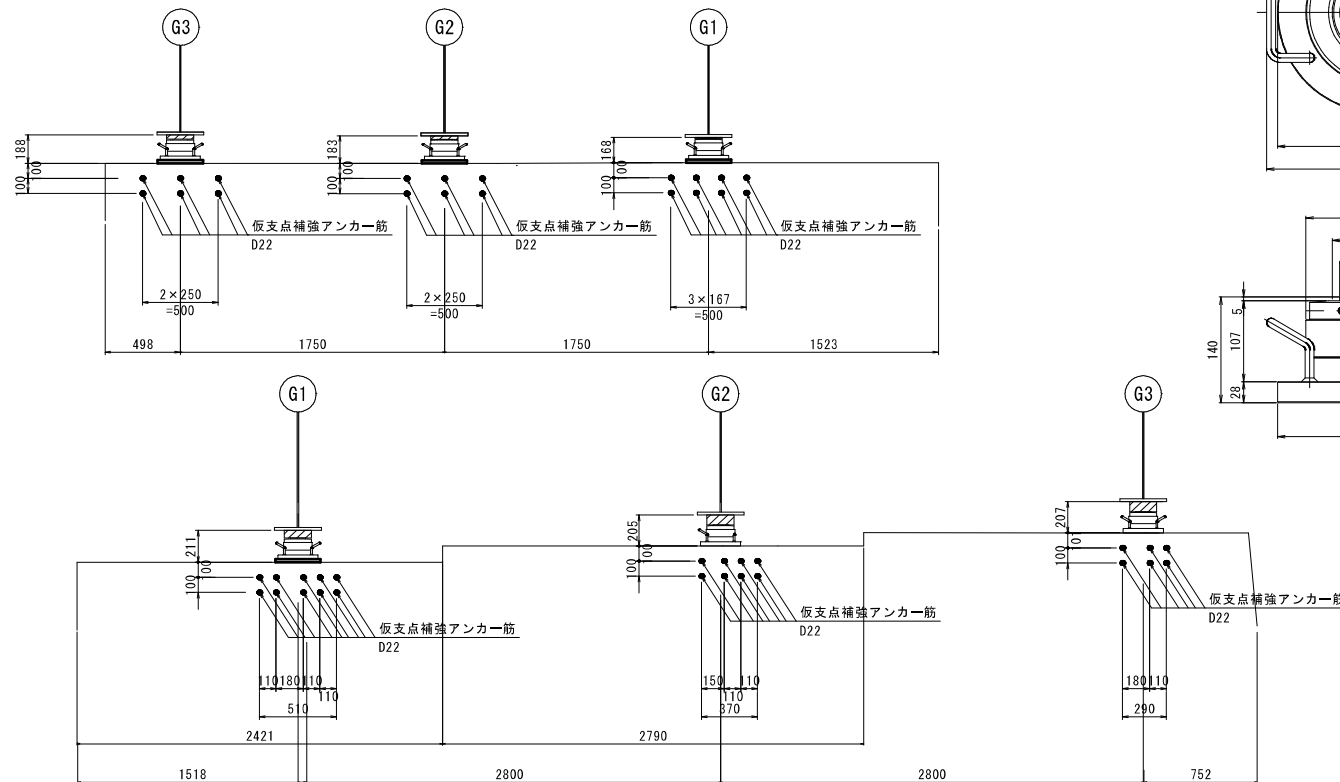
補強筋削孔詳細図 S=1:10



仮支点部、補強アンカ一詳細図

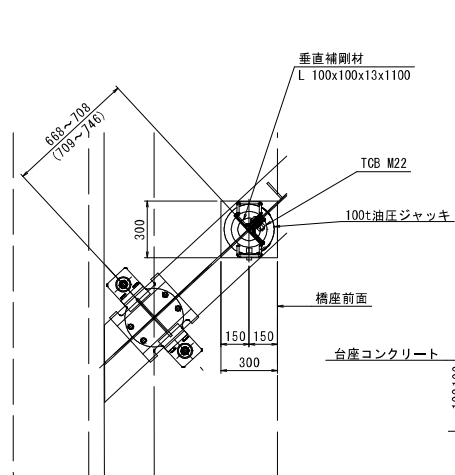
S=1:25

正 面 図



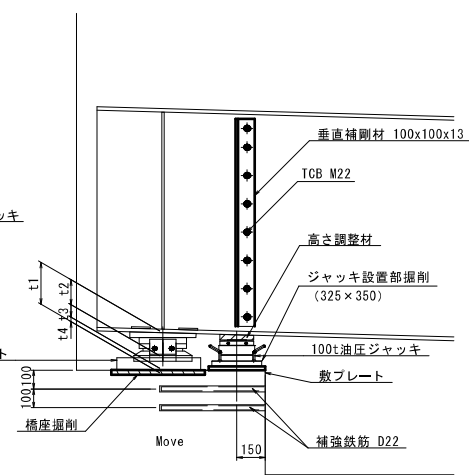
垂直補剛材配置図 S=1:20

平面図

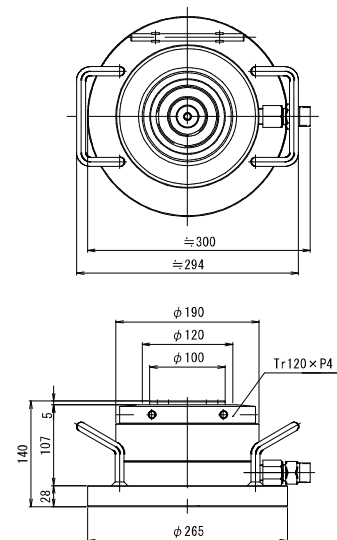


○内寸法はA2側を示す

側面図



油圧ジャッキ詳細図 S=1:5
(1000kN油圧ジャッキ)

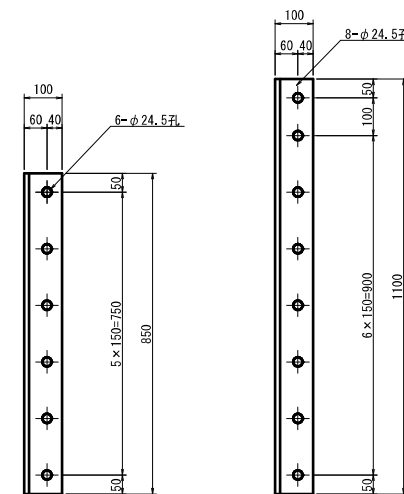


施工手順

開 始
既設落橋防止装置の撤去
補強筋アンカー設置、垂直補剛材の設置
油圧ジャッキによる仮受
橋座掘削、既設支承撤去
支承アンカー一部削孔
新設支承設置
沓座モルタル打設
仮受ジャッキ撤去
沓座モルタル欠損部分仕上げ
完了

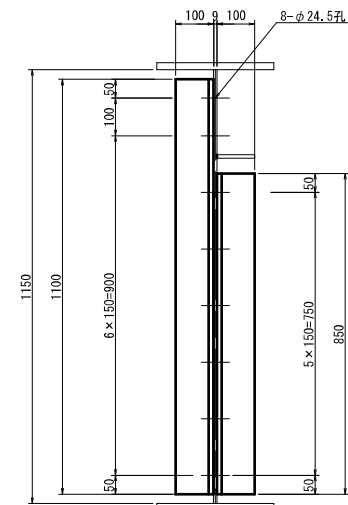
1. 施工に先立ち必ず現地調査の上工事を実施すること。
2. 特に支保高では、各支保高に実測計を付け、設置高さを確認すること。
3. 仮設筋材は切斷することの無いよう破壊検査やハツリ等の適切な事前処置を講ずること。
4. 補剛材は取付け面は素地調整を行った上、設置のこと。
5. 補剛材は取付け後、桁と同様に塗装を行うこと。
6. アンカー開孔は事前に鉄筋探査を行い、仮設筋材位置を把握した上で実施し、仮設筋材や支保アンカー、補剛筋等が相互に干渉しないよう、必要に応じて位置調整を行うこと。

垂直補剛材詳細図 S=1:10



1か所あたり
 1-L 100×100×13×1100 (SS400)
 1-L 100×100×13×850 (SS400)
 6-T. C. B M22×70 (S10T)
 2-T. C. B M22×60 (S10T)

断面図

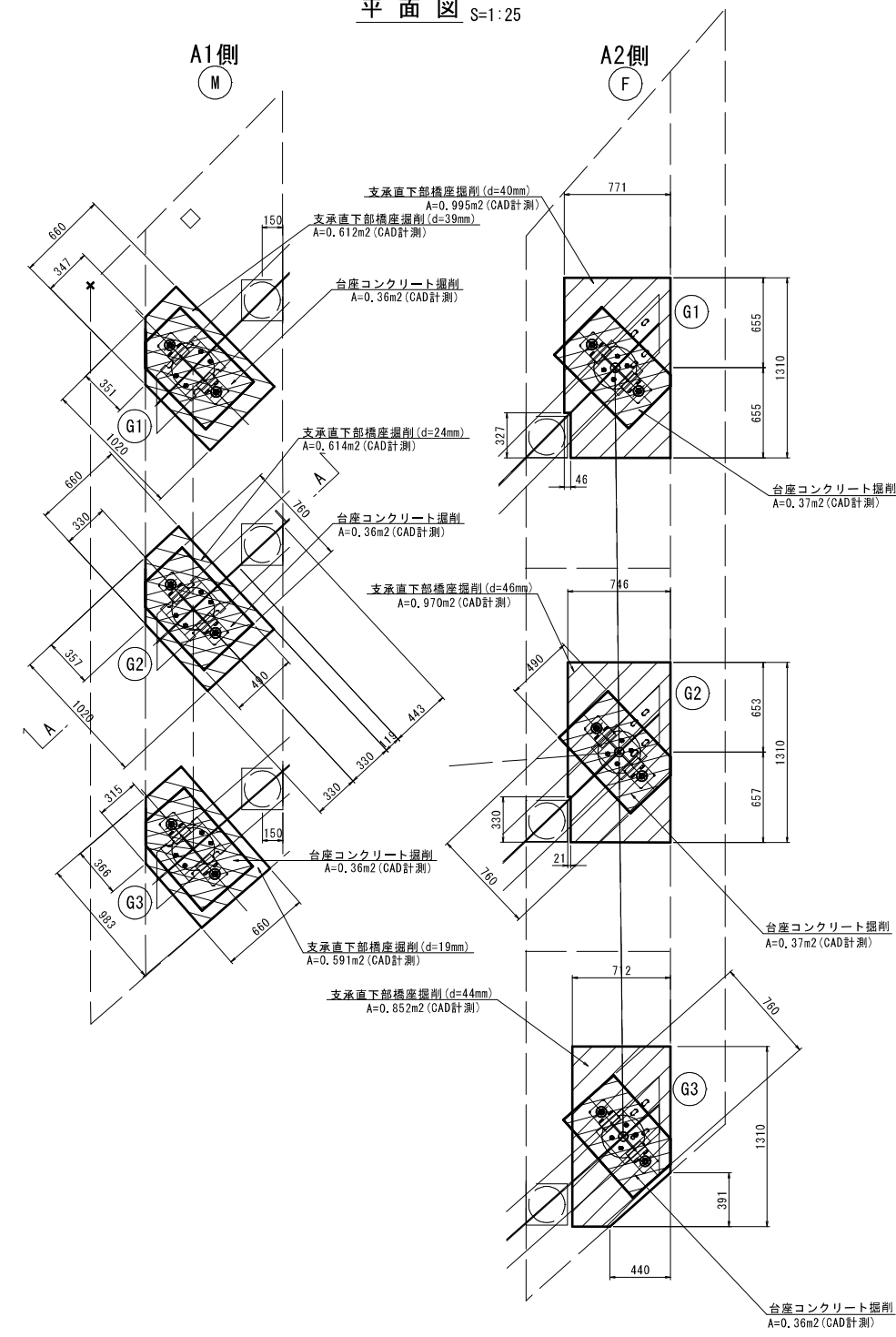


		t1	t2	t3	t4
A1側	G1	222	136	67	19
	G2	222	133	65	24
	G3	222	133	50	39
A2側	G1	234	135	59	40
	G2	234	131	57	46
	G3	234	131	59	44

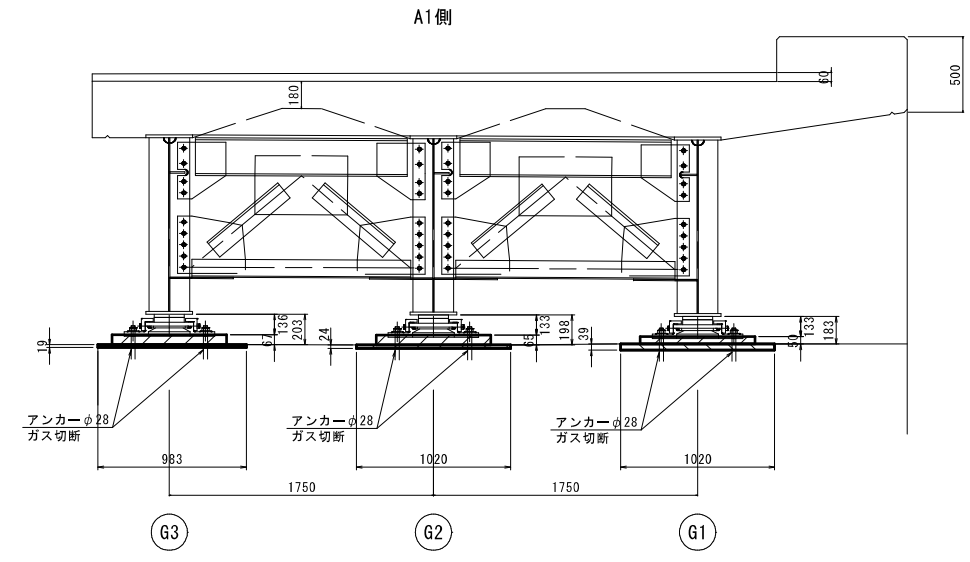
支存取替詳細図（その8）
既設橋（拡幅部）旧支承撤去詳細図

補修工の凡例	
補修工項目	補修工の表示
台座コンクリート掘削	
沓座モルタル設置部掘削	

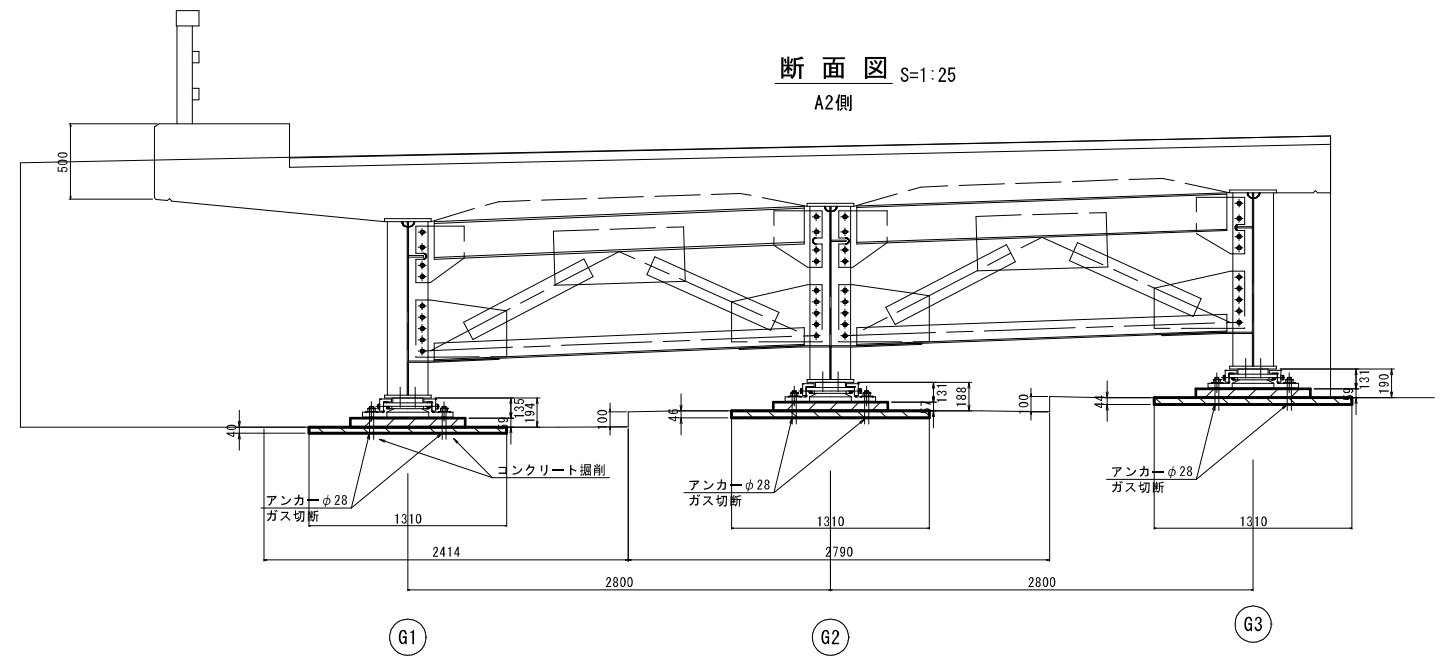
平面図 S=1:25



断面図 S=1:25



断面図 S=1:25

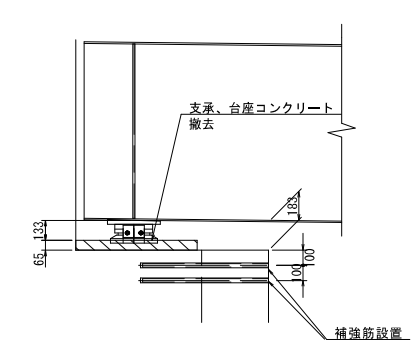


注）沓座モルタル掘削部は新設支保設置後に流束に向けて排水勾配が付くように研ること。

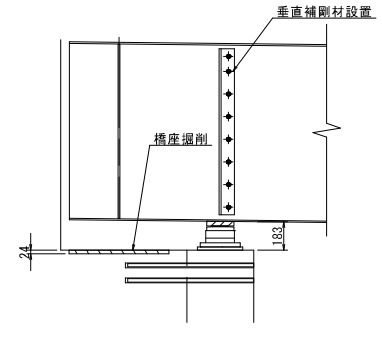
支存取替手順図 S=1:25

A-A断面

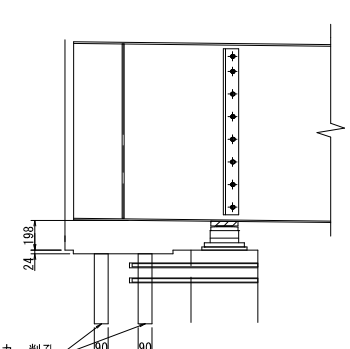
STEP1
台座コンクリート撤去
補強鉄筋アンカー設置



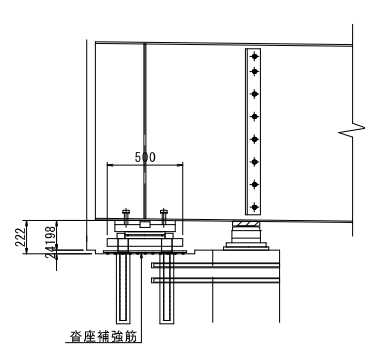
STEP2
油圧ジャッキ設置
支保直下部掘削



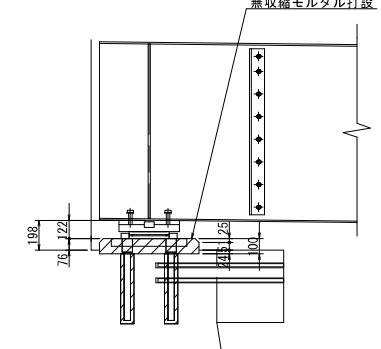
STEP3
既設支保撤去
支保アンカー削孔



STEP4
沓座鉄筋組立
支保セット



STEP5
無収縮モルタル打設
仮受ジャッキ撤去



※A1側の掘削、A1、A2側の支保は橋軸方向の断面を示す。

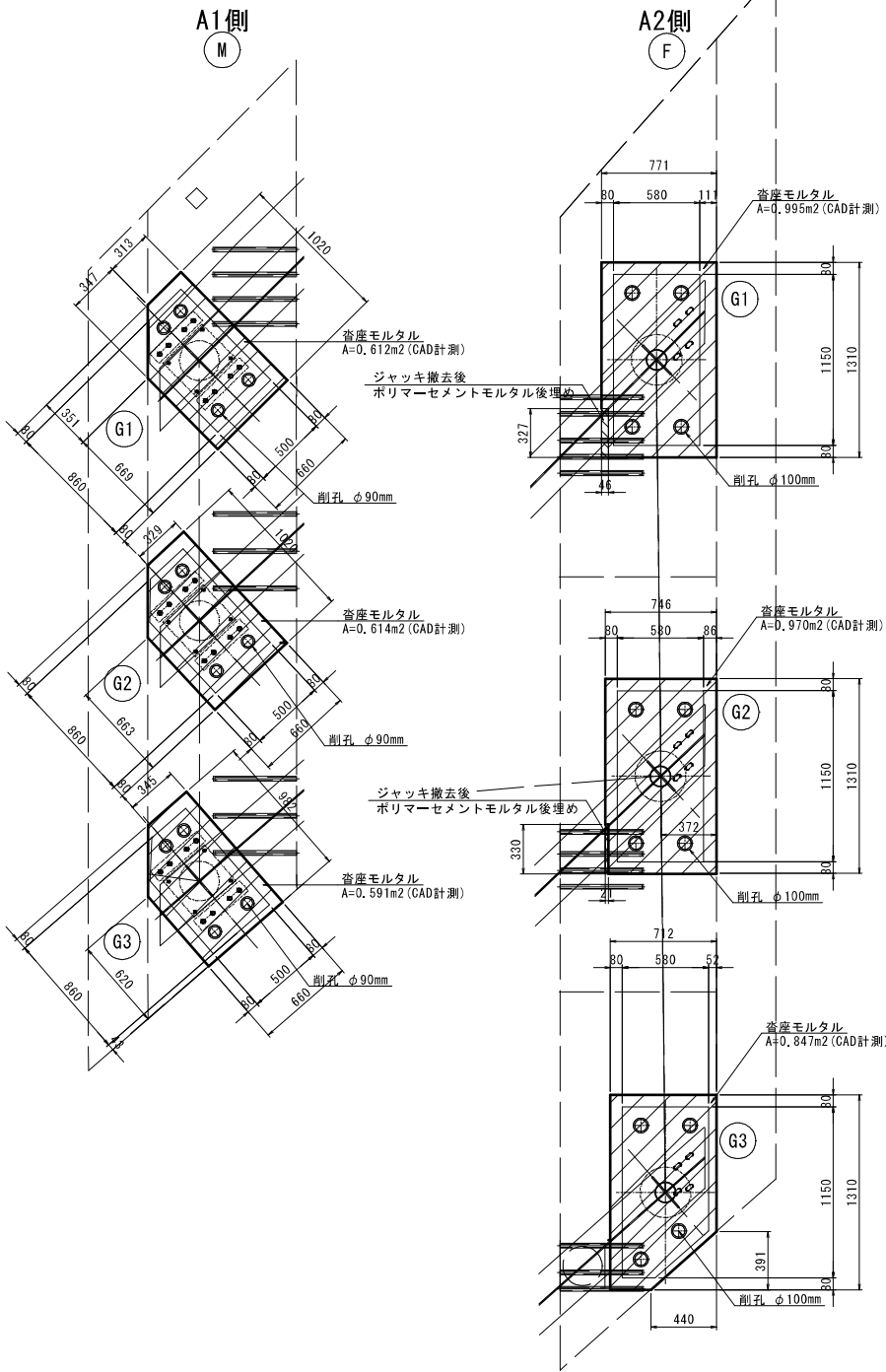
路線名	国道373号
国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）	
図名	支存取替詳細図（その8）
位置	八頭郡智頭町福原
縮尺	図示
図号	全45葉中の内32
令和8～9年度施行 鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所	

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

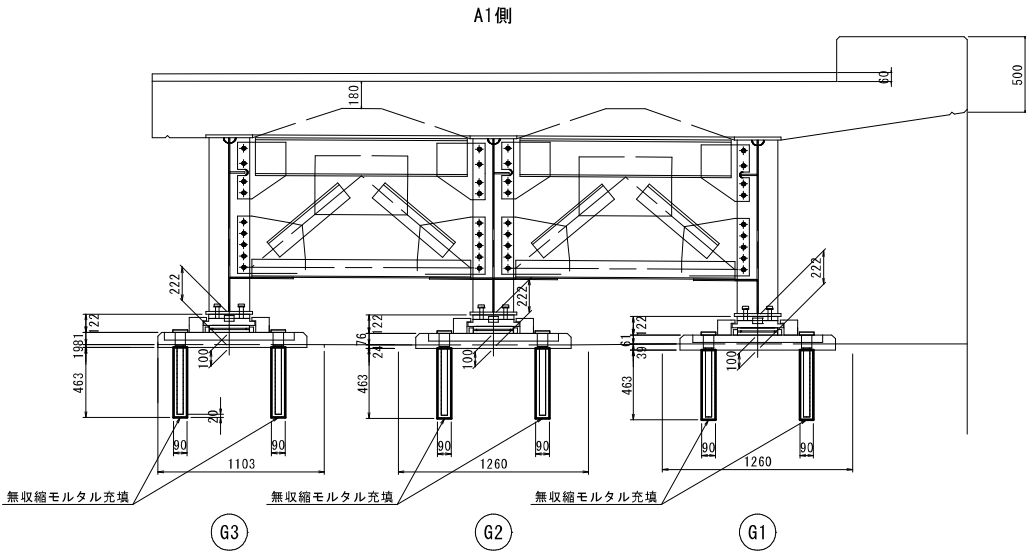
支取替え詳細図（その9）
既設橋（拡幅部）新支承設置詳細図

補修工の凡例	
補修工項目	補修工の表示
沓座モルタル	
無収縮モルタル充填	

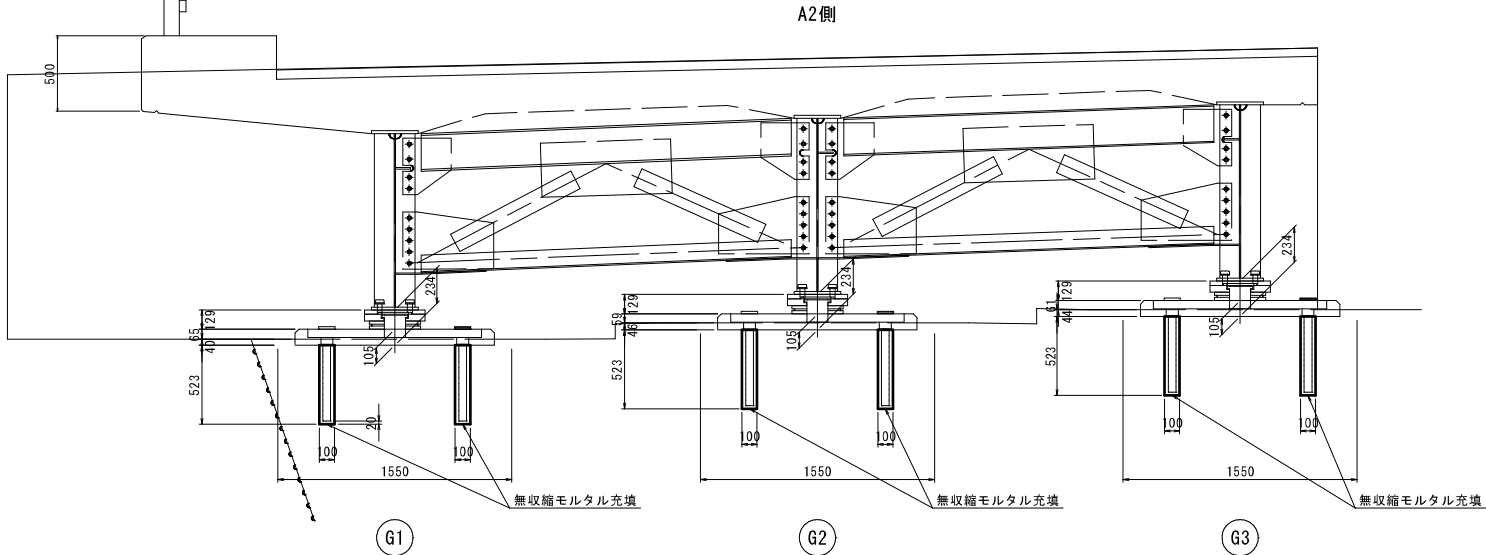
平面図 S=1:25



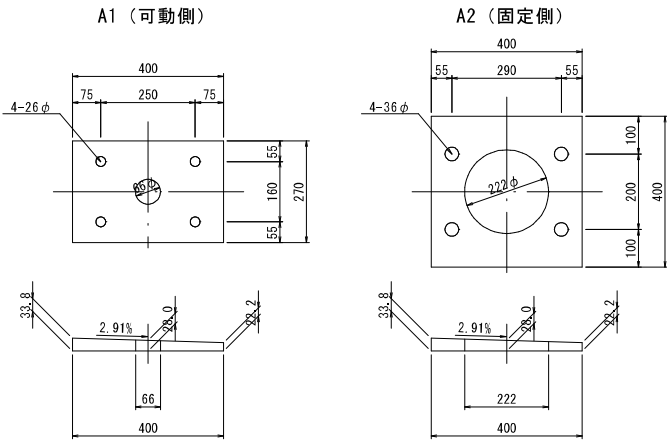
断面図 S=1:25



断面図 S=1:25

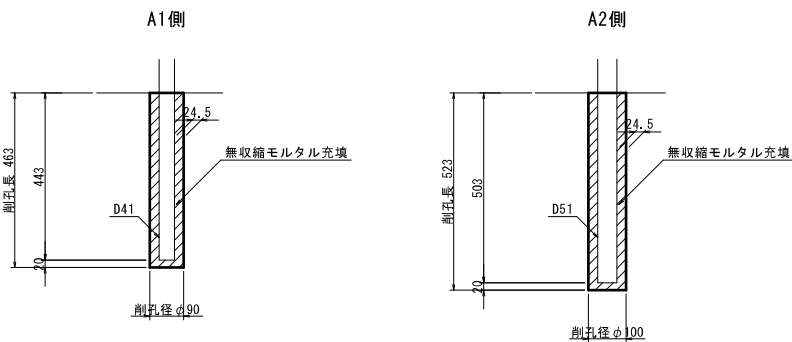


ソールプレート詳細図 S=1:10



1. 施工に先立ち、必ず現地実測の上工事を実施すること。
特に支承高さは、各支点毎に実計測を行い、設置高さを確認すること。
2. 既設鉄筋は切断することの無いよう非破壊検査やハツリ等の適切な事前処置を講ずること。
3. アンカー削孔は事前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋位置を把握した上で実施し、既設鉄筋や支承アンカー、補強筋等が相互に干渉しないように、必要に応じて位置調整を行うこと。

アンカー削孔詳細図 S=1:10



注) 1. 材質はSM490Aとする。
2. 溶融亜鉛めっきJIS H 8641 HDZT77とする。

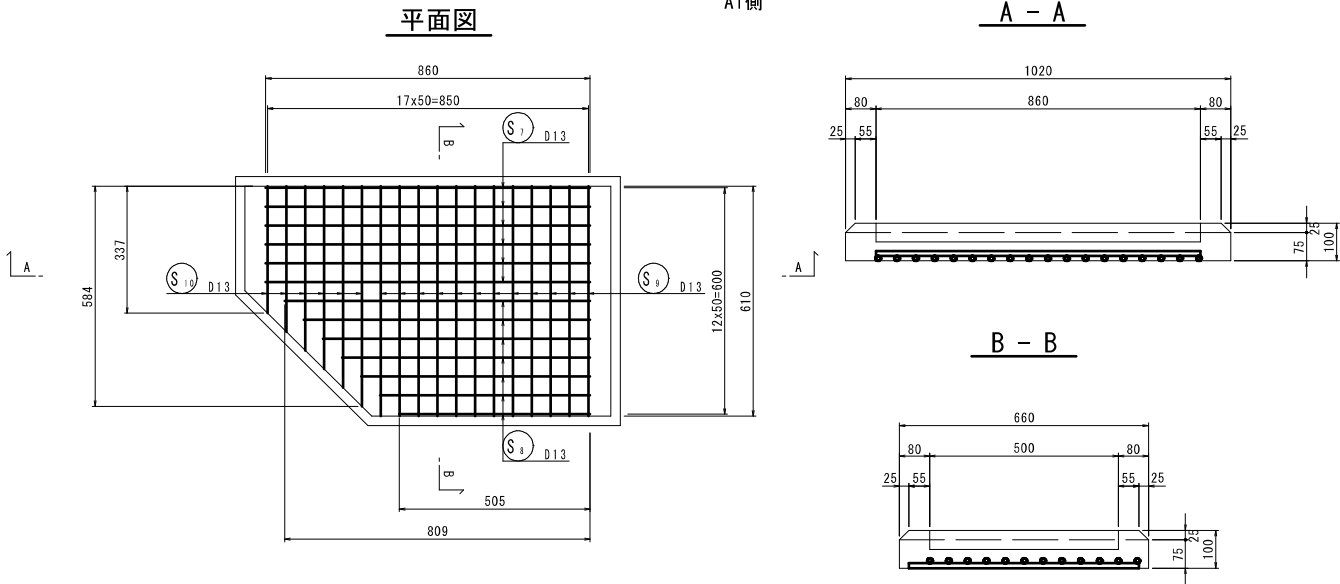
路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	支取替え詳細図（その9）		
位置	八頭郡智頭町福原		
縮尺	図示	単位	m
図号	全 45 葉中の内 33		
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支承取替え詳細図（その１０）

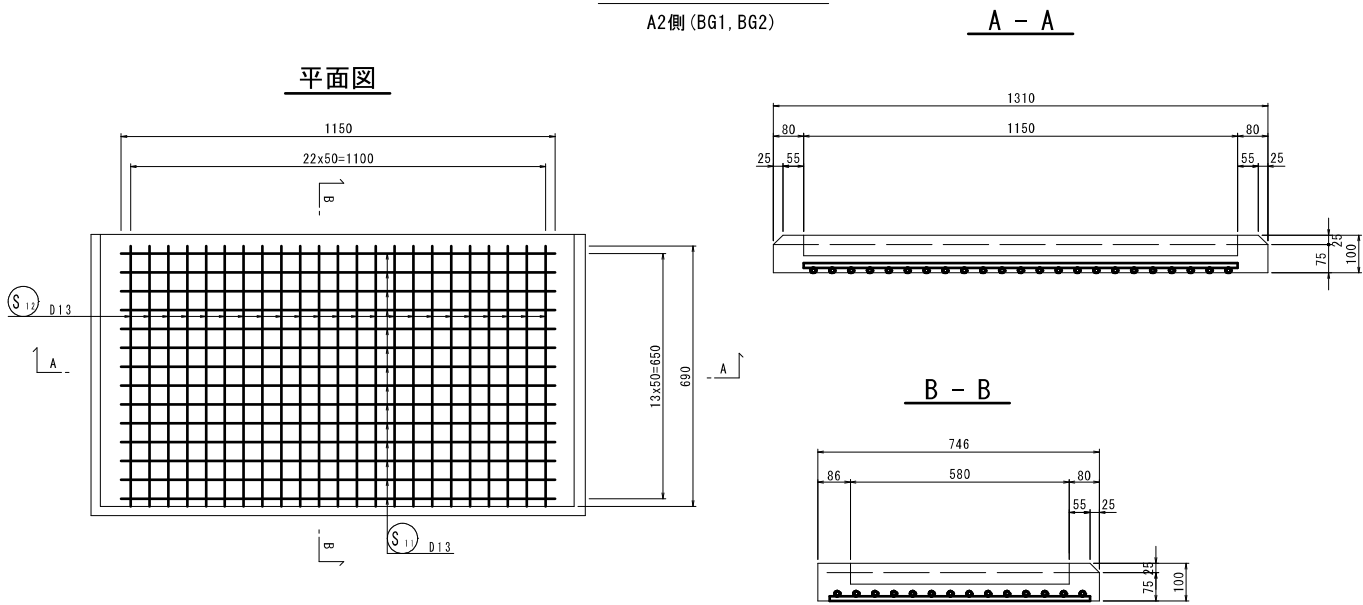
沓座補強筋詳細図

A1側



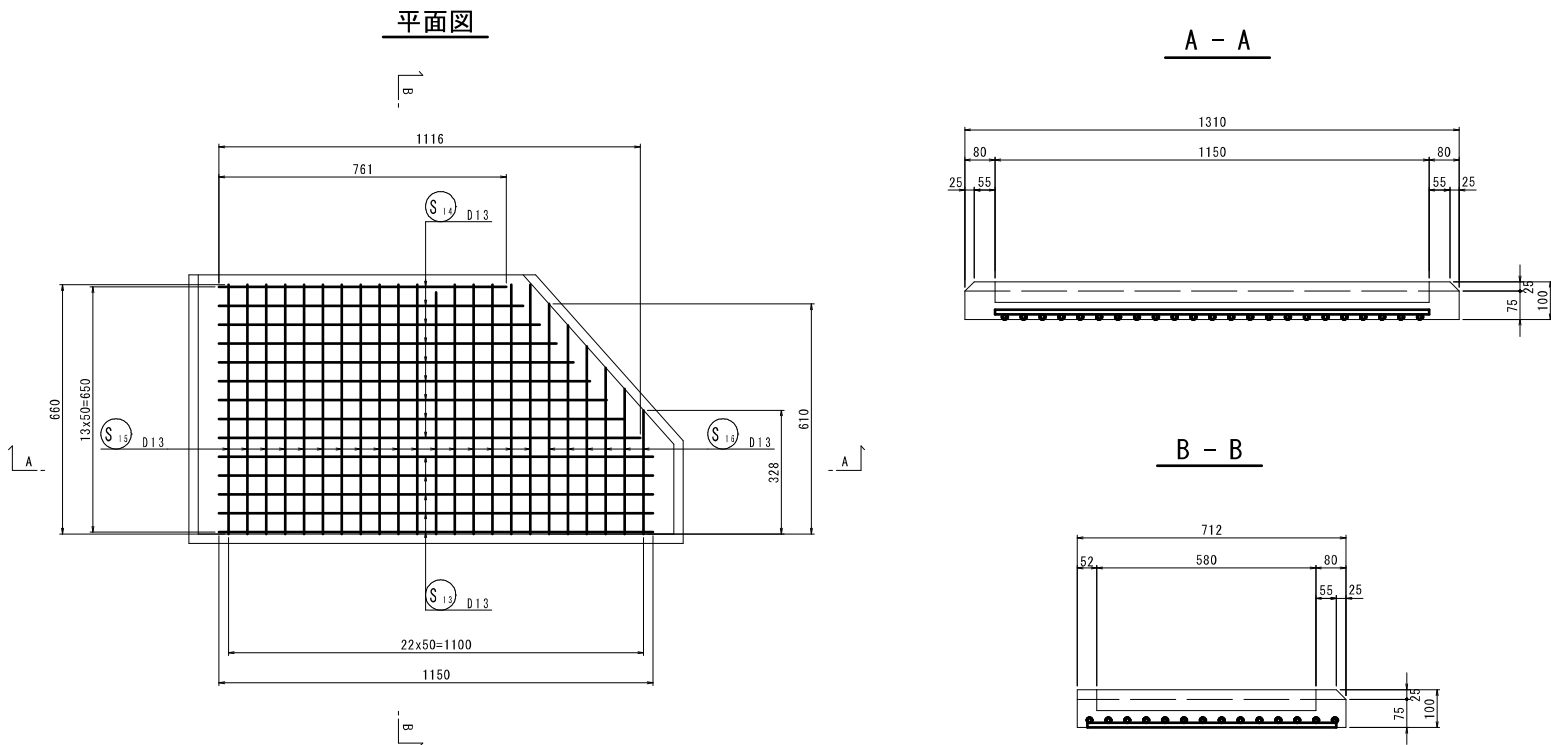
沓座補強筋詳細図

A2側 (BG1, BG2)

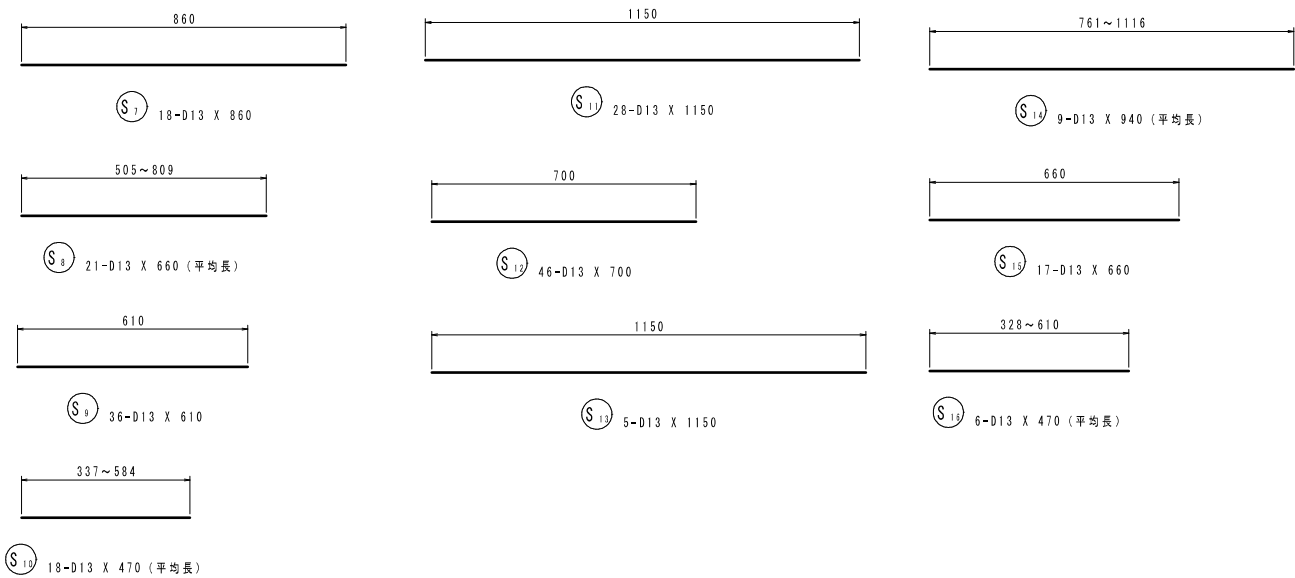


沓座補強筋詳細図

A2側 (BG3)



鉄筋加工図



鉄筋質量表

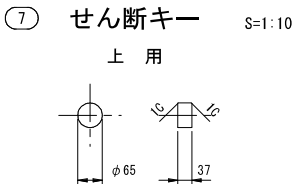
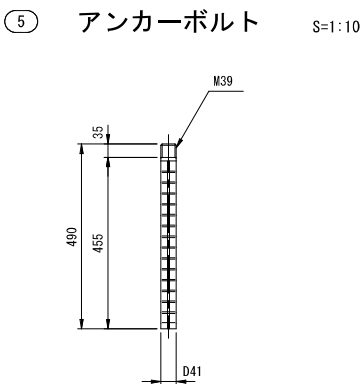
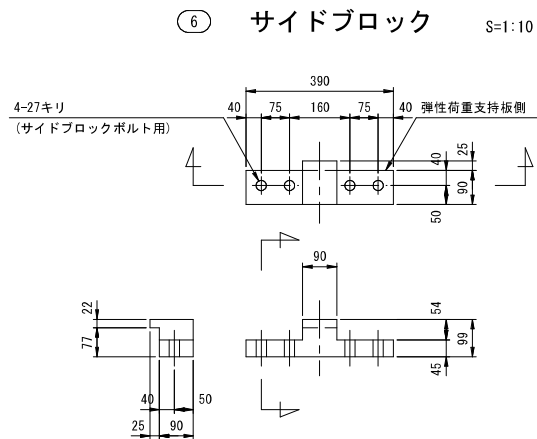
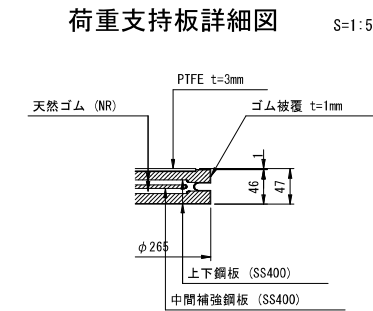
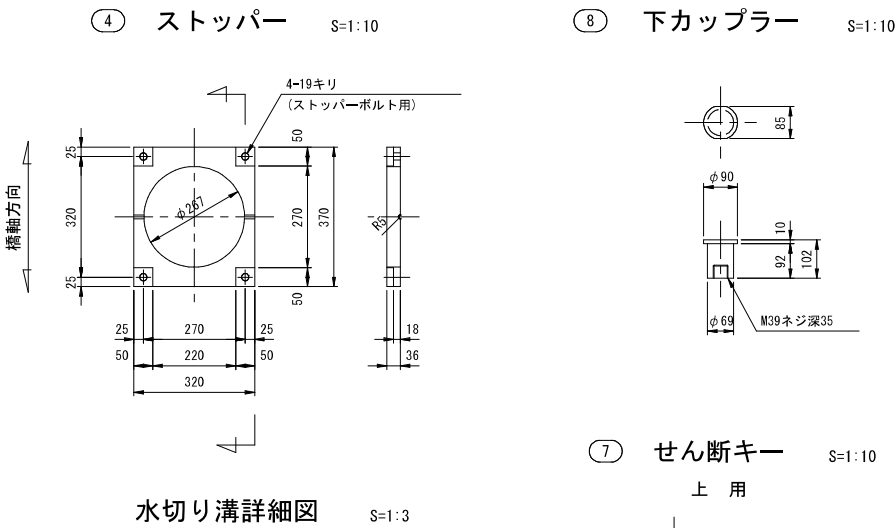
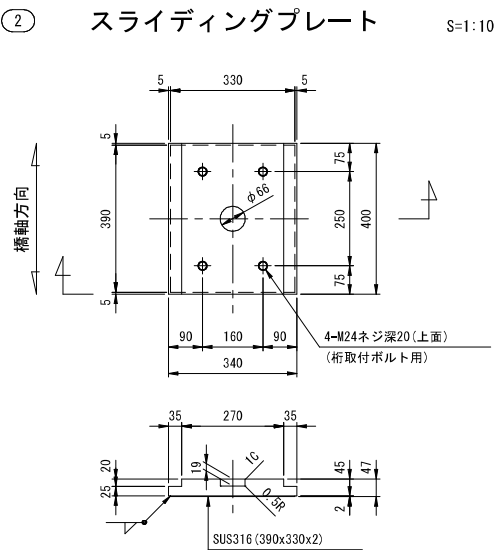
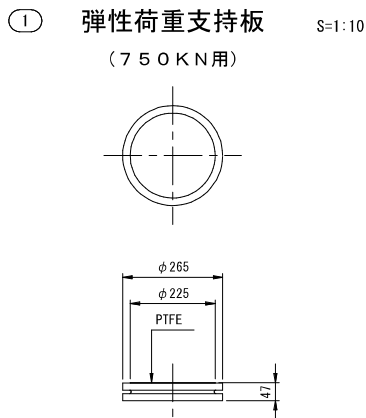
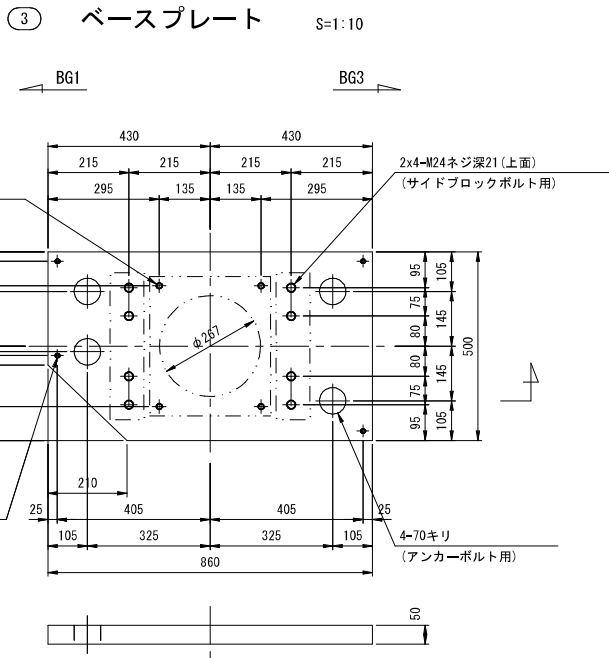
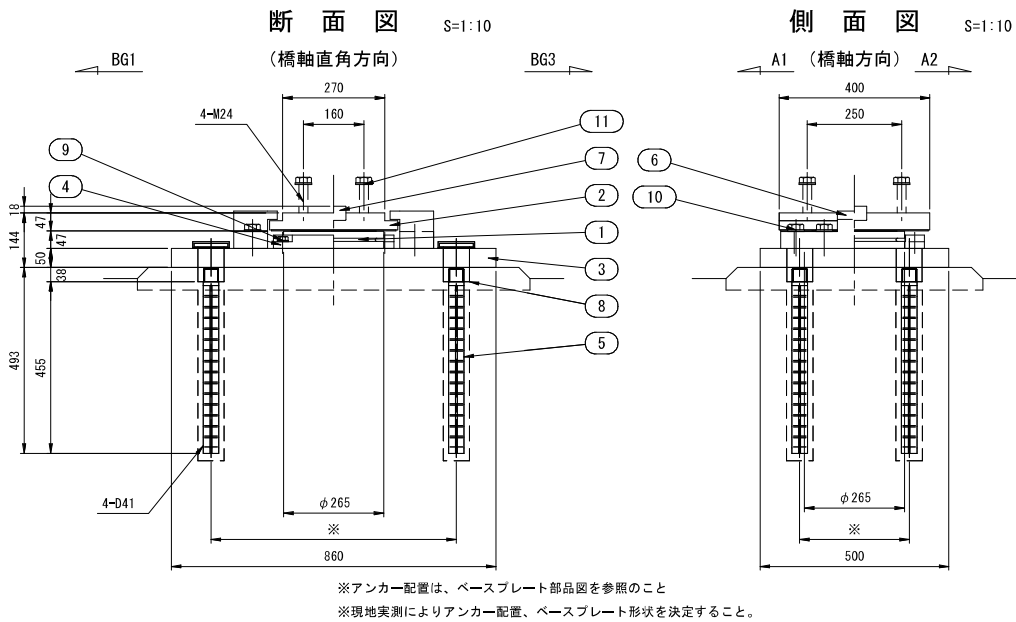
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S 7	D13	860	18	0.995	0.856	15	――
S 8	D13	660	21	0.995	0.657	14	―― (平均長)
S 9	D13	610	36	0.995	0.607	22	――
S 10	D13	470	18	0.995	0.468	8	―― (平均長)
S 11	D13	1150	28	0.995	1.144	32	――
S 12	D13	700	46	0.995	0.697	32	――
S 13	D13	1150	5	0.995	1.144	6	――
S 14	D13	940	9	0.995	0.935	8	―― (平均長)
S 15	D13	660	17	0.995	0.657	11	――
S 16	D13	470	6	0.995	0.468	3	―― (平均長)
151							
合 計 D13				151 kg			
総質量				151 kg			

路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）		
図 名	支承取替え詳細図（その10）		
位 置	八 頭 郡 智 頭 町 福 原		
縮 尺	1：10	単 位	m
図 号	全 45 葉中の内 34		
	令和 8～9 年度施行 鳥取県		
	鳥取県 八頭県土整備事務所		

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支取替詳細図（その 1 1）

既設橋（拡幅部）支取替詳細図 A1 可動ゴム支取替装置（弾性荷重支持板）



設計条件

反力 (kN)		A1
最大反力	Rmax	670
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	410
死荷重反力	RD	450
照査荷重	RIL	110
最大水平力	橋軸方向	RHeq1
	橋軸直角方向	RHeq2
	サイドブロック	RHeq3
上向きの地震力	Ru	~233
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δcL	0.306
回転変位量	δr	0.667
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1
	地震時・橋軸方向	ΔLe1
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料・G	NR-G10
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	360
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS
	変位量 (mm)	UB

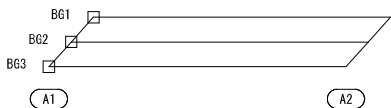
材料表 (1組当り)

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	14.0	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	44.9	
③	ベースプレート	SM490A	1	153.9	
④	ストッパー	SM490A or SCW480N	1	16.1	
5	アンカーボルト	SD345	4	20.6	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	30.9	
⑦	せん断キー	SM490A or S35CN	1	1.0	上 用
⑧	下カップラー	S45CN	4	10.9	
⑨	ストッパーボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.3	
⑩	サイドブロックボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	8	3.1	
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.9	
12	ゴムキャップ	EPDM	4	0.2	
13	アイボルト	SS400	-	-	M12
⑭	化粧ボルト、ワッシャー	強度区分 4.8	4	-	M12x20 (細径)
合計				297.8	(kg)

- ※1 道路橋支取替便覧(H16)準拠。
※2 使用材料は道路橋支取替便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支取替の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※9 スライディングプレートのSUS溶接部は高濃度亜鉛未塗装とする。
※10 部番、9、10、11のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。

⑨	ストッパーボルト、ワッシャー	M16 x 35	強度区分 8.8
⑩	サイドブロックボルト、ワッシャー	M27 x 75	強度区分 8.8
⑪	桁取付ボルト、ワッシャー	M24 x L	強度区分 8.8

位置図



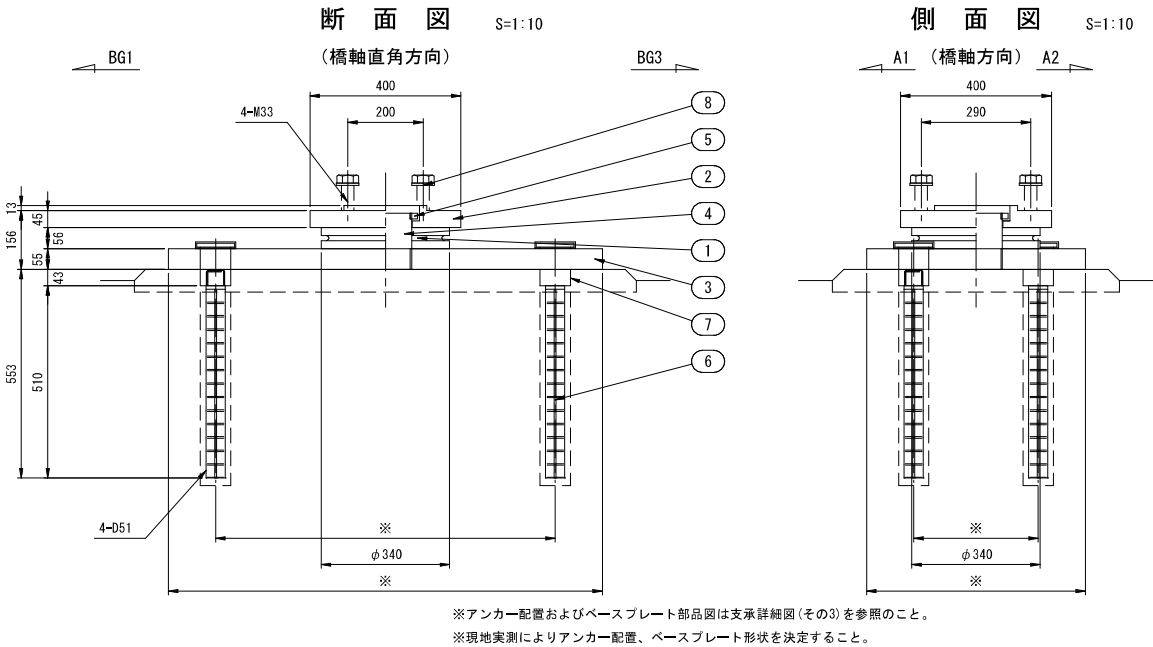
路線名	国道373号
位置	国道373号(福原工区)改良工事(2工区)(交付金改良)
図名	支取替詳細図(その11)
位置	八頭郡智頭町福原
縮尺	図示 単位 m
図号	全 45 葉中の内 35
令和 8~9 年度施行	鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所	

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

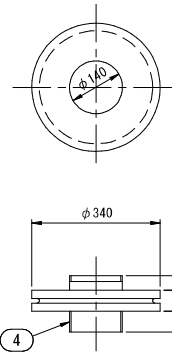
支承取替え詳細図（その１２）

既設橋（拡幅部）支承詳細図 A2

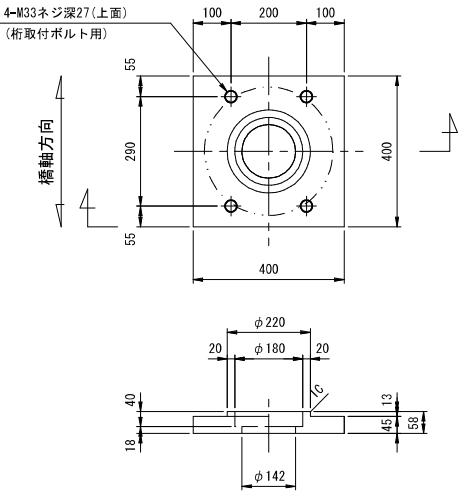
固定ゴム支承装置（弾性荷重支持板）



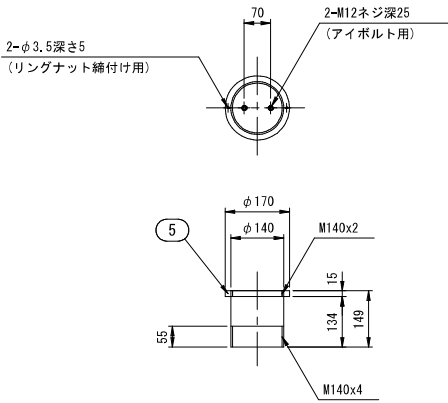
① 弾性荷重支持板 S=1:10



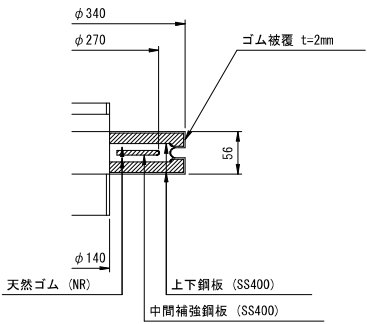
② 上 沓 S=1:10



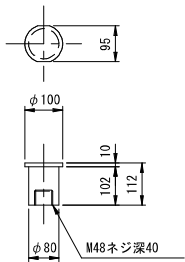
④ シンボウ S=1:10



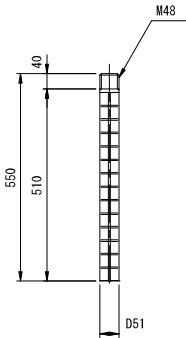
荷重支持板詳細図 S=1:5



⑦ 下カップラー S=1:10



⑥ アンカーボルト S=1:10



設 計 条 件

反 力 (kN)		A2
最 大 反 力		Rmax 740
最 大 反 力 (回 転 照 査 用)		Rmax2 470
死 荷 重 反 力		RD 490
照 査 荷 重		R1L 125
最大 水平 力	橋 軸 方 向	RHeq1 837
	橋 軸 直 角 方 向	RHeq2 436
上 向 きの 地 震 力		Ru -147
変 位 量 (mm)		
照 査 荷 重 時 の 変 位 量		δ cL 0,391
回 転 変 位 量		δ r 0,900
水 平 変 位 量	常 時 ・ 橋 軸 方 向	Δ L1 -
	地 震 時 ・ 橋 軸 方 向	Δ Le1 -
	地 震 時 ・ 橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2 -
性 能		
ゴ ム の 種 類 及 び 呼 び		材料・G NR・G10
圧 縮 ば ね 定 数 (kN/mm)		Kv 320
試 験 変 位 量	せん断ひずみ (%)	γ S -
	変 位 量 (mm)	UB -

材 料 表 (1 組 当 り)

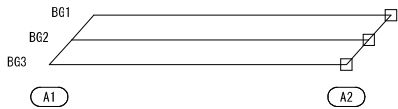
部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400	1	21.8	
②	上 沓	SM490A	1	49.5	
③	ベースプレート	SM490A	1	※	
④	シンボウ	S45CN	1	18.0	
⑤	リングナット	S45CN	1	0.9	
6	アンカーボルト	SD345	4	35.0	
⑦	下カップラー	S45CN	4	15.5	
⑧	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8, 8	4	4.2	
9	ゴムキャップ	EPDM	4	0.3	
10	アイボルト	SS400	-	-	M12
⑪	化鉋ボルト, ワッシャー	強度区分 4, 8	4	-	M12x20 (鉋径)
合 計				※ (kg)	

※ベースプレート、合計重量は
支承詳細図(その13)を参照のこと

- ※1 道路橋支承便覧(H16)準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※9 部番、8のボルトはBBCAP(シリコーン)を施すこと。

⑧ 桁取付ボルト, ワッシャー M33 x L 強度区分 8.8

位 置 図



路線名	国道373号
国道373号(福原工区)改良工事 (2工区)(交付金改良)	
図 名	支承取替え詳細図(その12)
位 置	八頭郡智頭町福原
縮 尺	図示 単 位 m
図 号	全 45 葉中の内 36
令和 8~9 年度施行	鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所	

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

支承取替え詳細図（その１３）

既設橋（拡幅部）支承詳細図

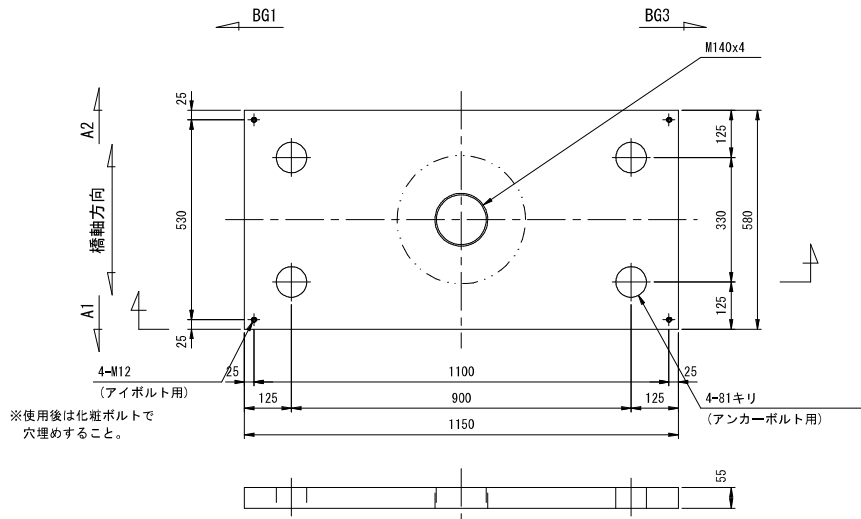
A2

固定ゴム支承装置（弾性荷重支持板）

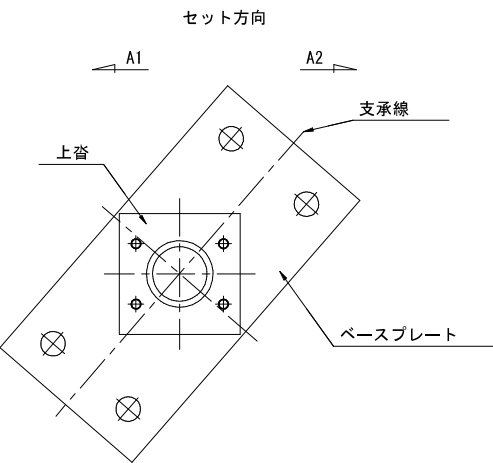
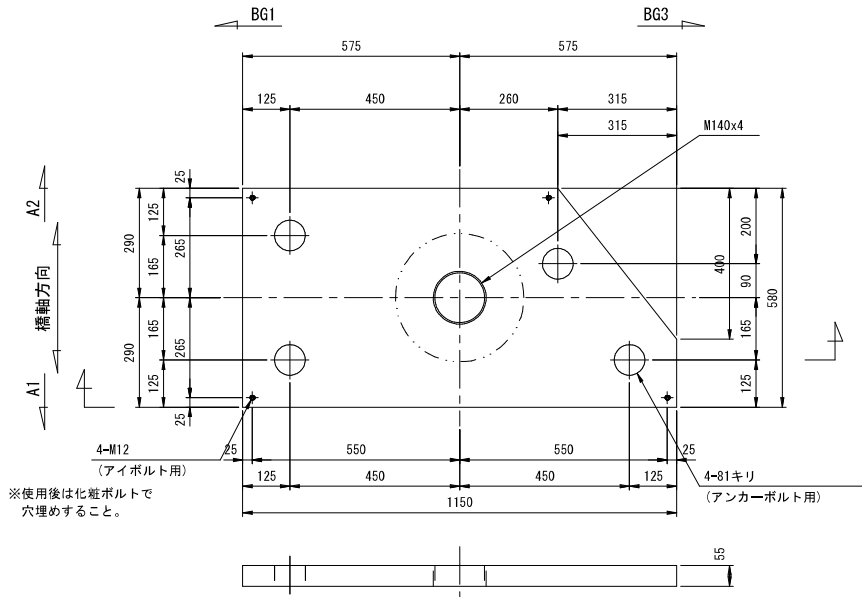
③ ベースプレート

S=1:10

BG1, BG2

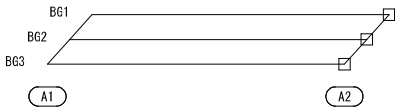


BG3



材料表	（1組当り）			
	BG1	BG2	BG3	
ベースプレート	272.5	272.5	245.3	
合計（kg）	417.7	417.7	390.5	

位置図



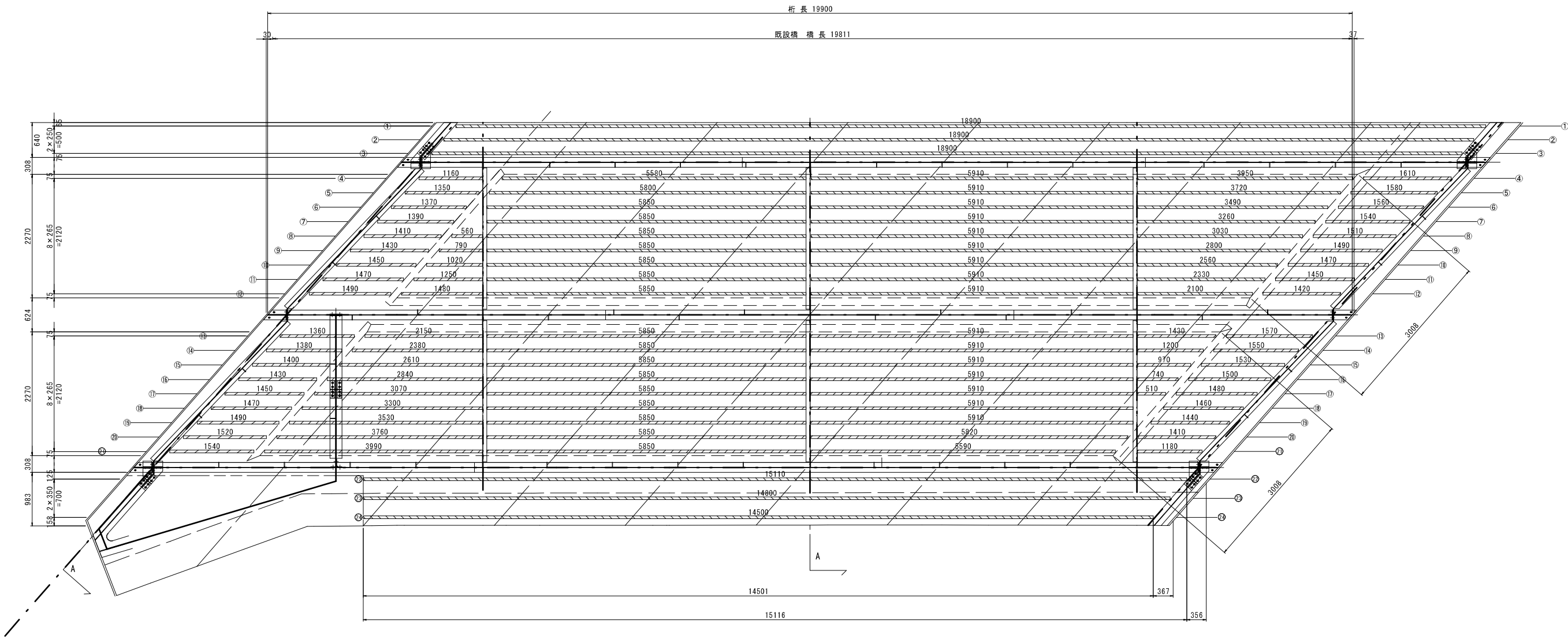
路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）		
図名	支承取替え詳細図（その13）		
位置	八頭郡智頭町福原		
縮尺	図示	単位	m
図号	全 45 葉中の内 37		
令和 8～9 年度施行	鳥取県		
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

炭素繊維補強詳細図（その１）

既設橋（旧橋部）

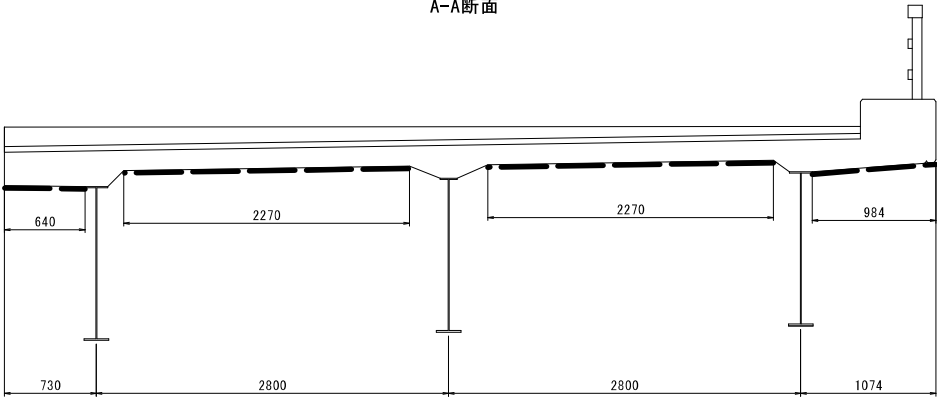
平面図 S=1:40



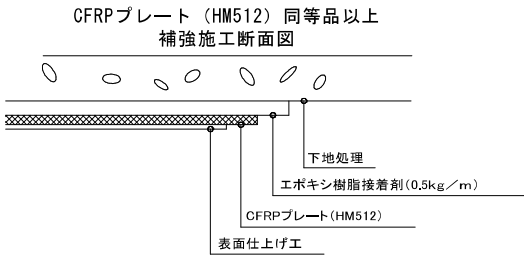
注記)
1. 設置寸法については施工前に現地を十分確認し適宜修正すること。

断面図 S=1:30

A-A断面



炭素繊維成形板施工接着仕様図



炭素繊維成形板性能表

適用箇所	床版下面 (配力筋方向)
分 類	高 弾 性 HM512
引 張 強 度	1.2kN/mm ²
ヤ ン グ 係 数	450kN/mm ²
幅 × 厚 さ	50mm x 1.2mm

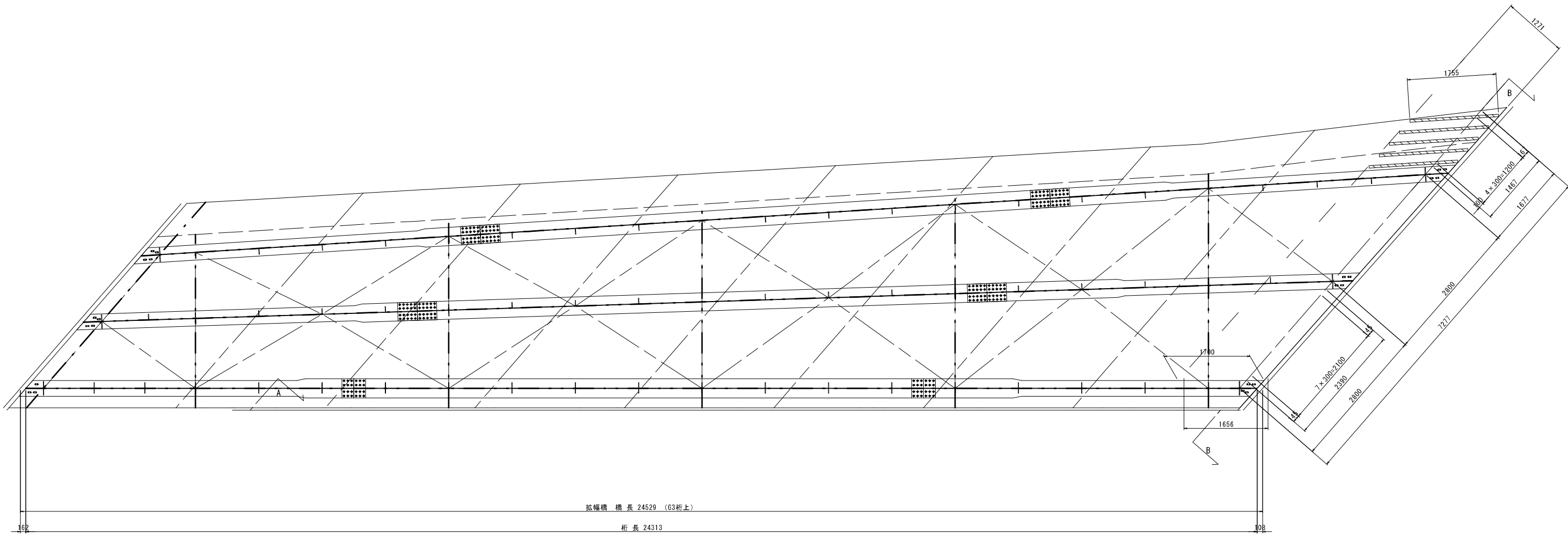
路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）		
図 名	炭素繊維補強図（その１）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 ４５	葉中の内	３８
令和 ８～９ 年度施行			鳥 取 県
鳥 取 県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

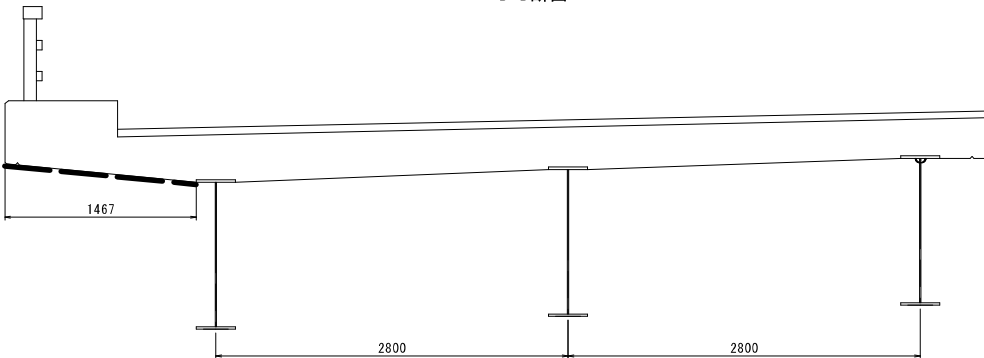
炭素繊維補強詳細図（その2）

既設橋（拡幅部）

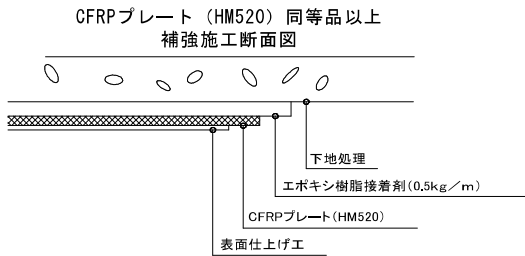
平面図 S=1:60



断面図 S=1:30
B-B断面



炭素繊維成形板施工接着仕様図



炭素繊維成形板性能表

適用箇所	床版下面 (配力筋方向)
分類	高 弾 性 HM520
引 張 強 度	1.2kN/mm ²
ヤ ン グ 係 数	450kN/mm ²
幅 × 厚さ	50mm x 2.0mm

路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図 名	炭素繊維補強図（その2）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 45	葉中の内	39
令和 8～9 年度施行 鳥 取 県			
鳥 取 県 八頭県土整備事務所			

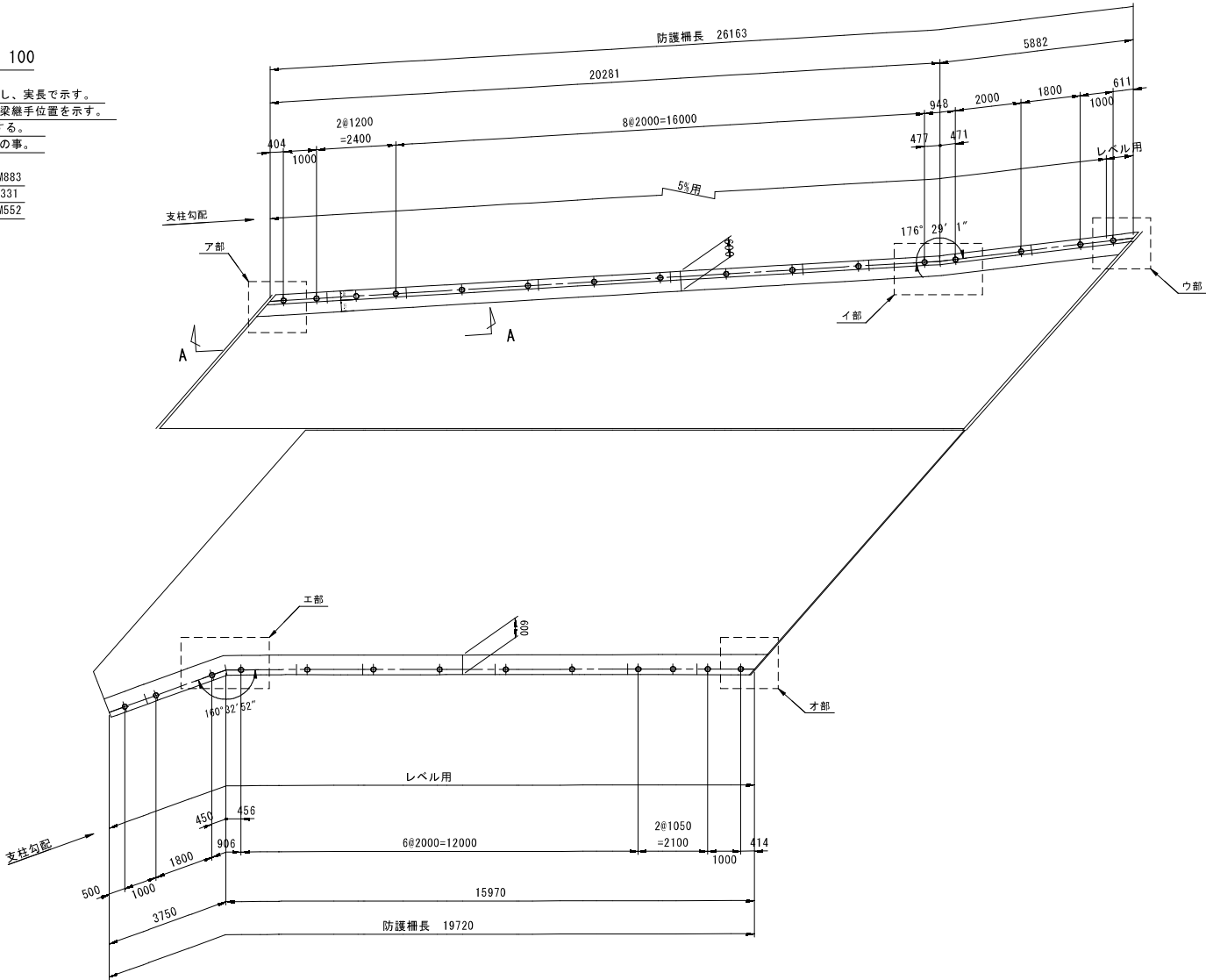
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

防護柵詳細図（その1）

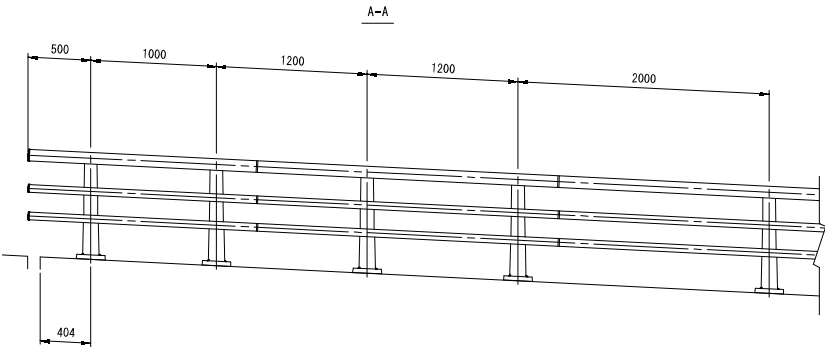
平面図 S=1:100

- 注記
- 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
 - 図中○印は支柱位置を示し、+印は横梁継手位置を示す。
 - 本図R部の横梁材は、直物にて製作とする。
 - 記入寸法及び勾配は、打ち合せ後決定の事。

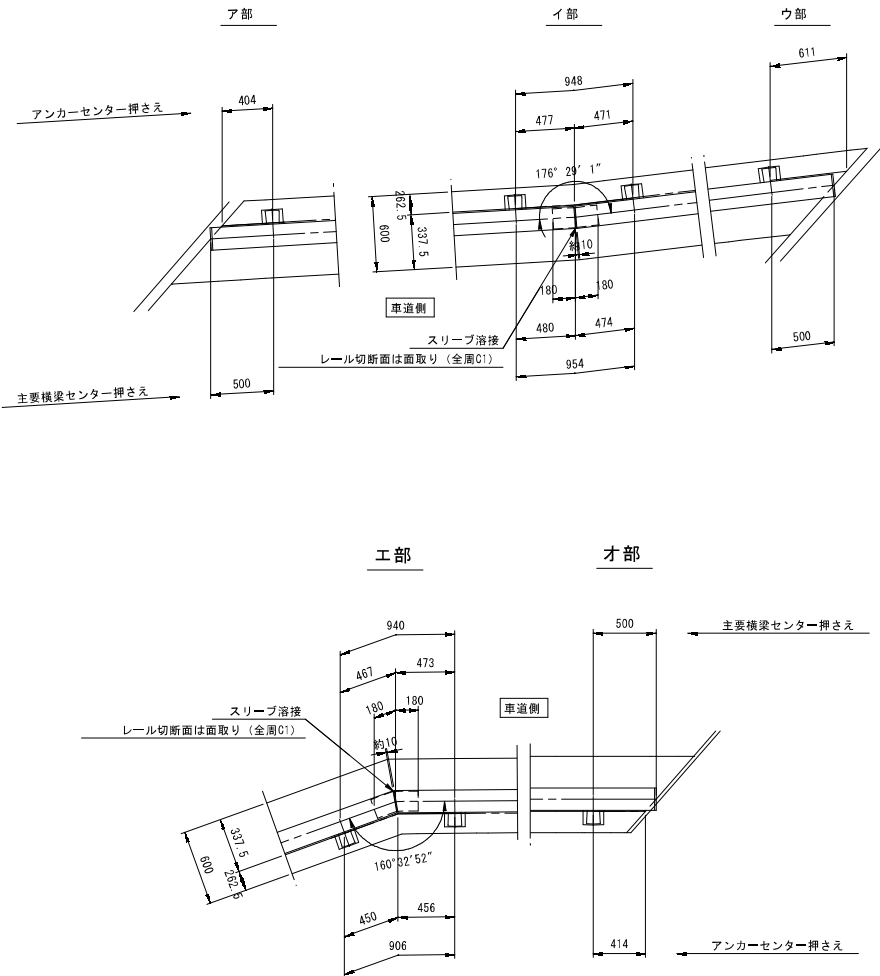
防護柵総延長	45M883
（レベル用）	20M331
（5%用）	25M552



姿図 S=1:30



平面詳細図 S=1:30



路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	防護柵詳細図(1)		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	40
令和 8～9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

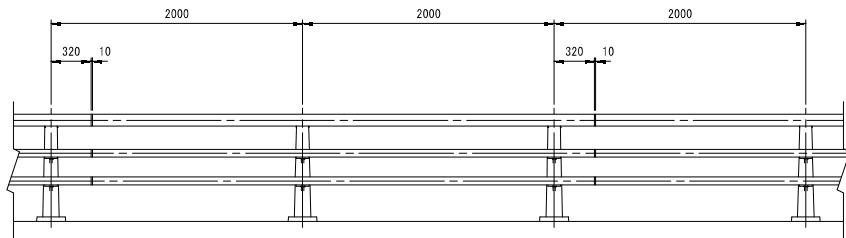
防護柵詳細図（その２）

材料表

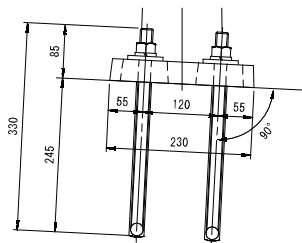
(12M当たり)

部番	名 称	寸 度	数 量	単 重	1本当	総重量	材 質	備 考
1	主要横梁	3990.0	3	6.874	27.43	82.3	A6061S-T6	180x90x5
2	下段横梁	3990.0	6	2.592	10.34	62.0	A6061S-T6	120x60x3
3	支柱		6		12.85	77.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	360.0	3	6.275	2.26	6.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	6	2.398	0.72	4.3	A6061S-T6	
6	板ナット	120.0	12	0.986	0.12	1.4	A6061S-T6	
7	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
8	〃	M12x30	24		0.05	1.2	A2-50 SUS	W1, SW1
9	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
10	〃	M12x25	24		0.05	1.2	A2-70 SUS	W1, SW1
11	全ネジアンカーボルト	M20x330	12		0.87	10.4	SCM435	N3, φ56W1, SW1
12	〃	M20x270	12		0.75	9.0	SS400	N1, φ56W1, SW1
13	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		-	-		
	〃	AP-20L相当品	12		-	-		
					総重量	259.0	Kg/12M	
					M当り	21.6	Kg/M (端部は除く)	

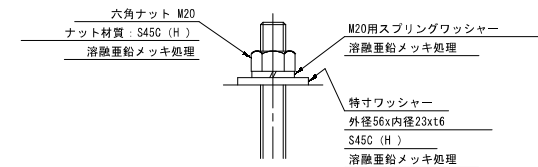
姿 図 $S=1:30$



勾配部定着詳細図

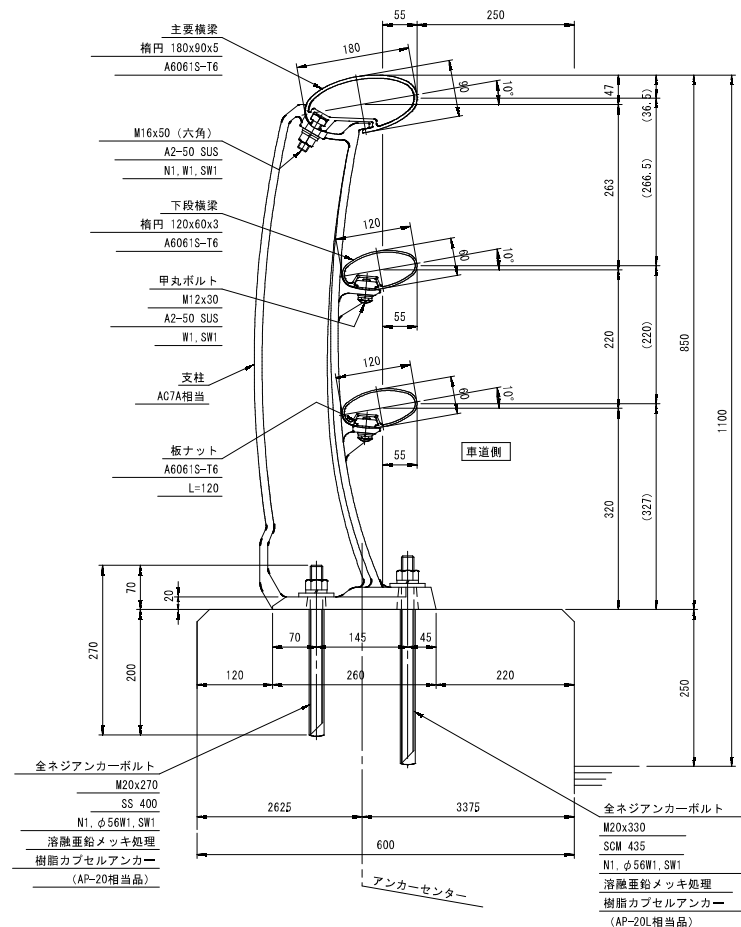


アンカーナット締め付け部 S=1 : 30

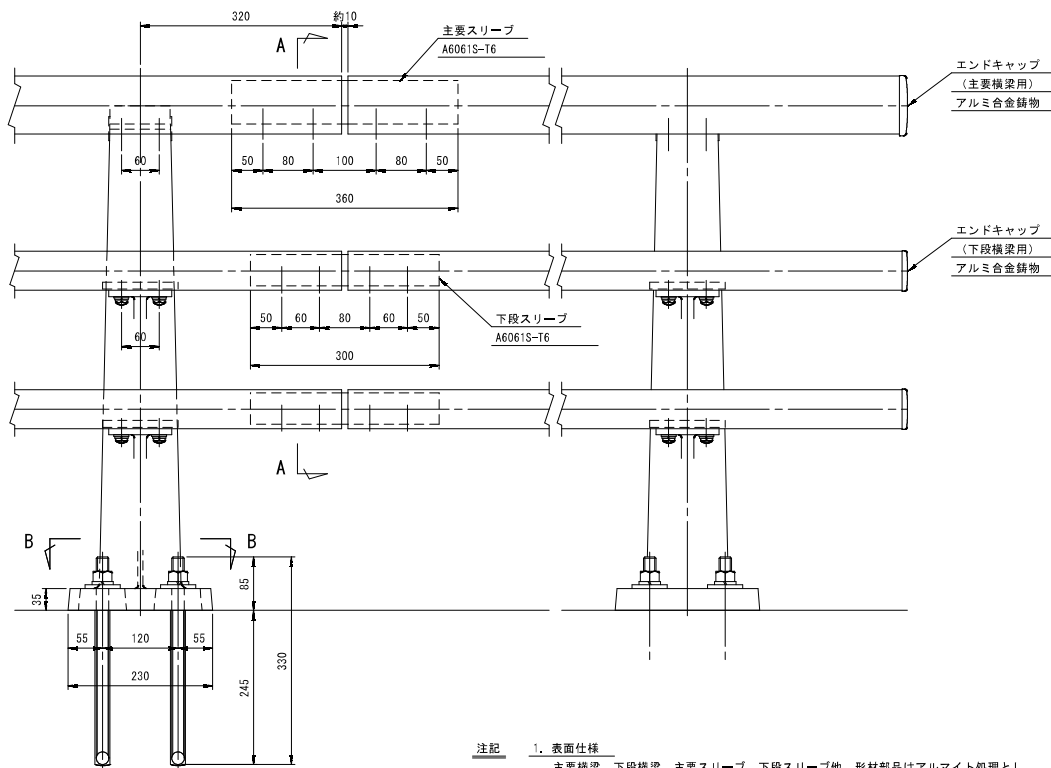


車両用防護柵取付詳細図 S=1 : 6

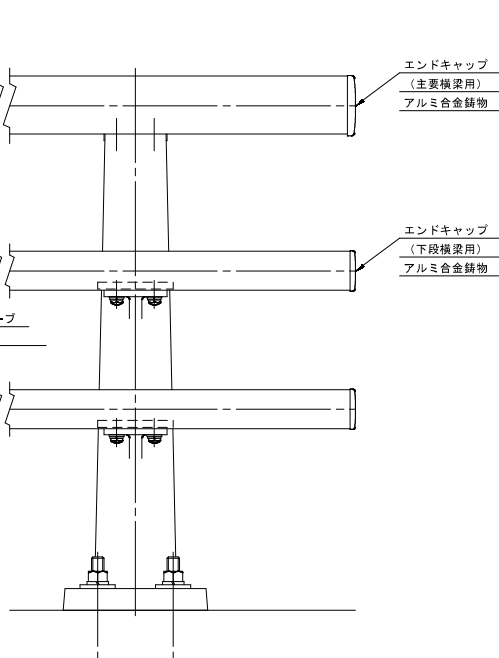
種別 A種



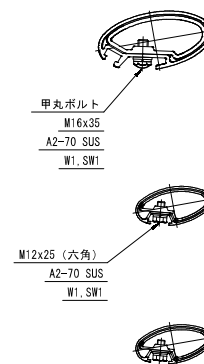
繼手部



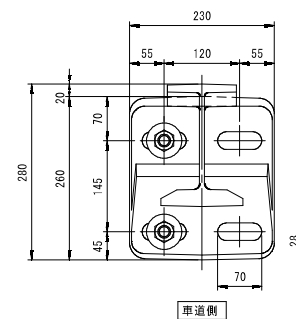
端 部



断面A—A



断面B—B



- 注記** 1. 表面仕様
- 主要構梁、下段構梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理。ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
2. 本防護欄の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土庫製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製構梁用防護欄設計要領」（平成30年6月）、
「アルミニウム合金製構梁用防護欄製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護欄の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}$ 以上

路線名	国道３７３号		
国道３７３号（福原工区）改良工事 （２工区）（交付金改良）			
図 名	防護柵詳細図（２）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 ４５ 葉中の内 ４１		
令和 ８～９ 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

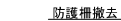
端支点横桁・防護柵撤去図

平面图 S=1:60

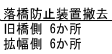


補修工項目	
コンクリート砕り 無収縮モルタル復旧	

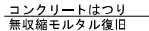
撤去断面図 S=1:20



落橋防止裝置撤去図 S=1:40

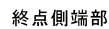
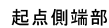


撤去平面図 S=1:20



支柱撤去 N=17本

断面図 S=1:60

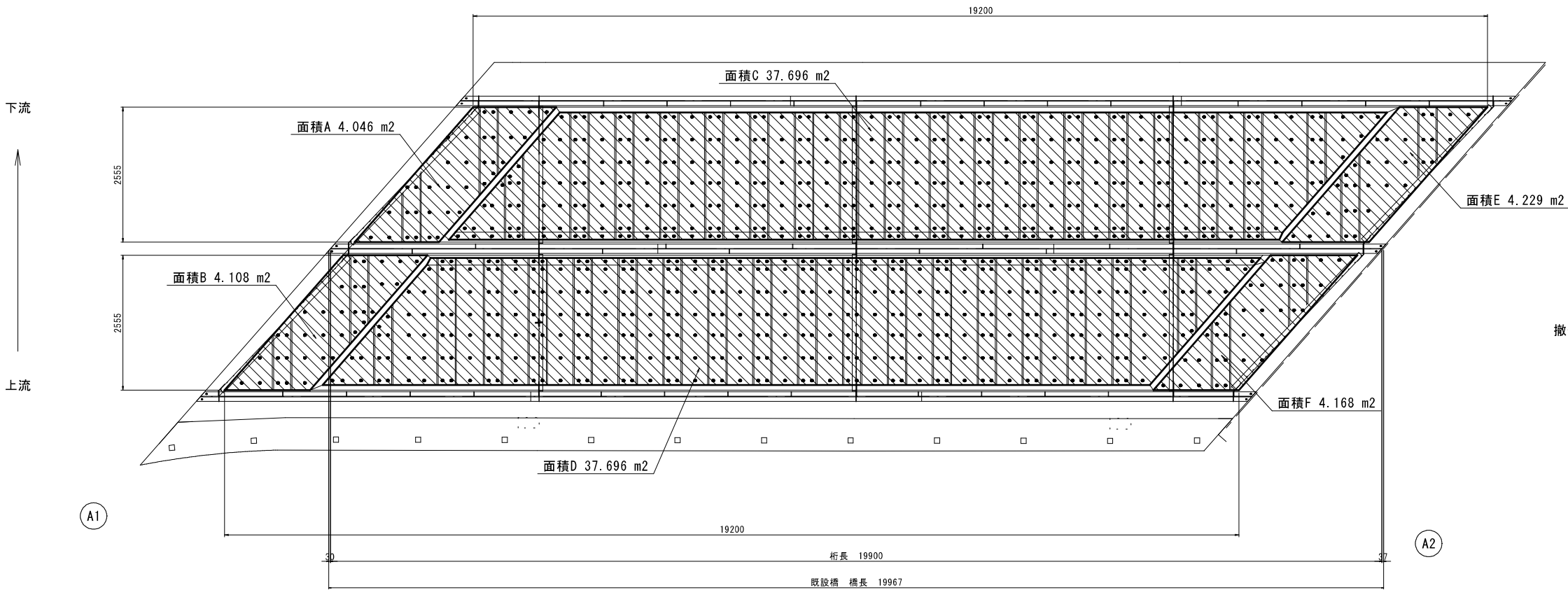


路線名	国道373号		
国道373号(福原工区)改良工事 (2工区)(交付金改良)			
図名	撤去図(その1)		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45 葉中の内 42		
令和 8~9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

撤去図（その２）
既設舗装撤去図・接着鋼板撤去図

旧橋部既設接着鋼板撤去図 S=1:50



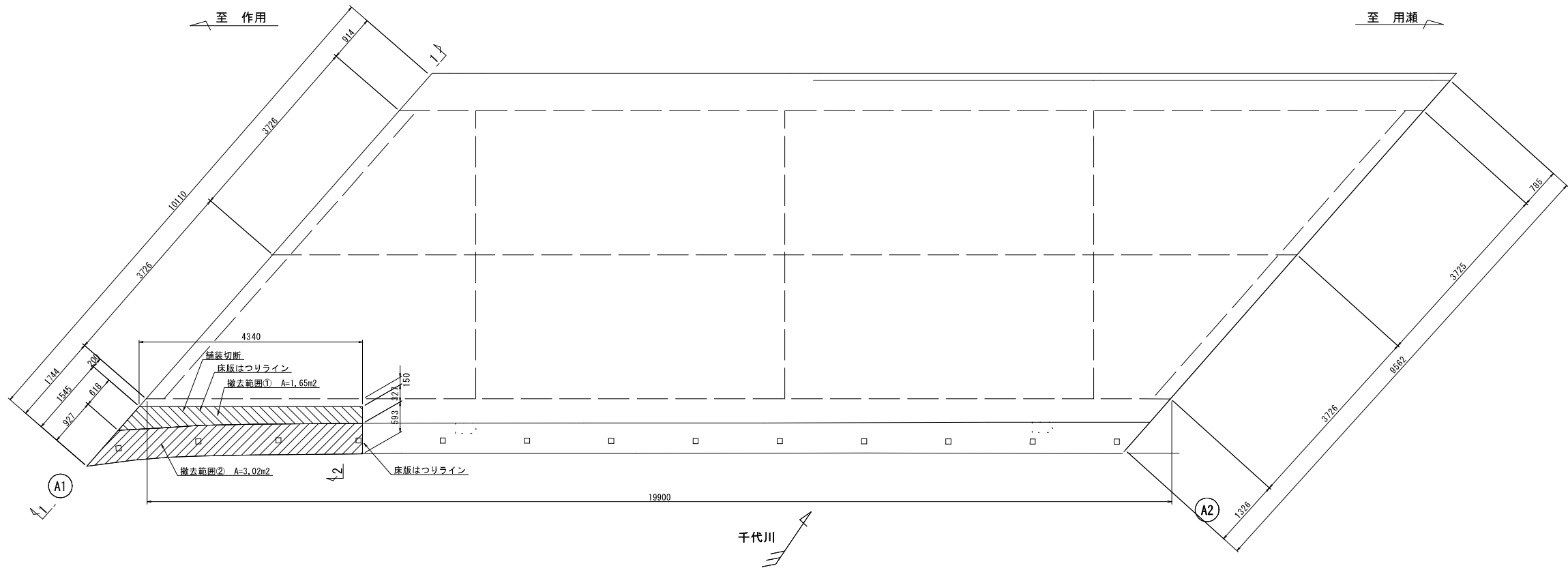
撤去面積 $A = 4.046 + 4.108 + 37.696 + 37.696 + 4.229 + 4.168$
 $= 91.943\text{m}^2$

路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	撤去図（その2）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	43
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

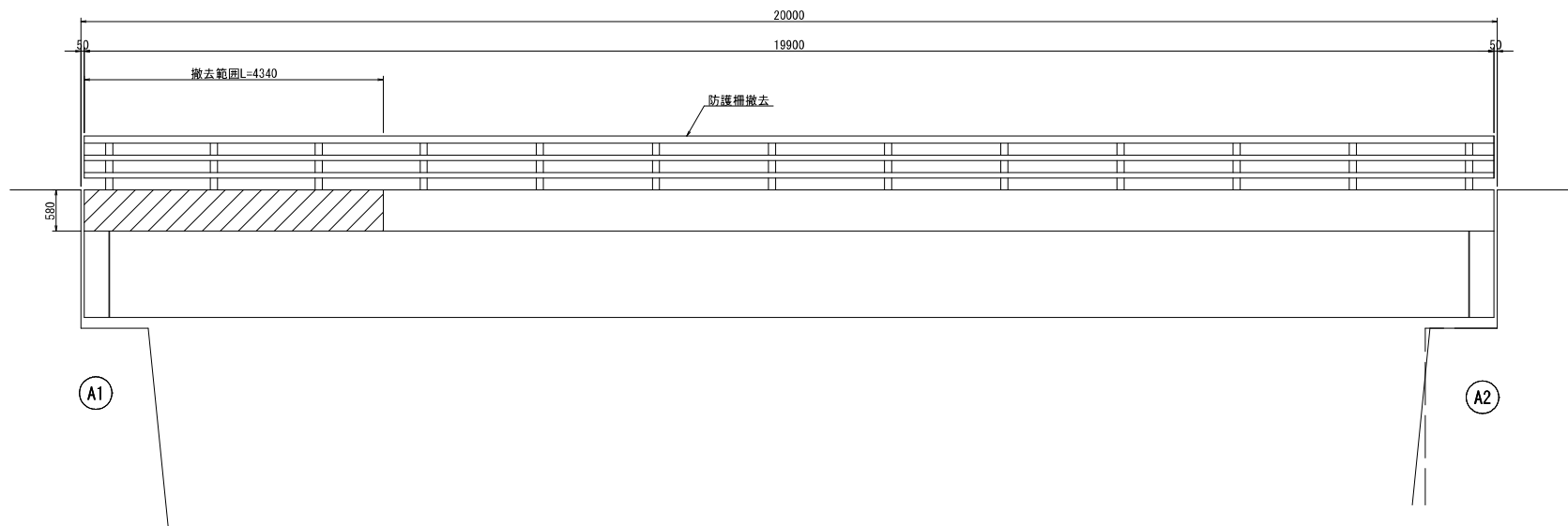
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

撤去図（その3）
旧橋部既設床版地覆撤去図

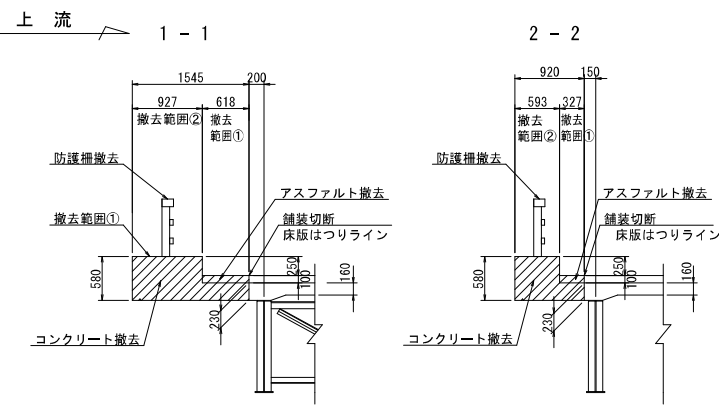
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



断面図 S=1:50

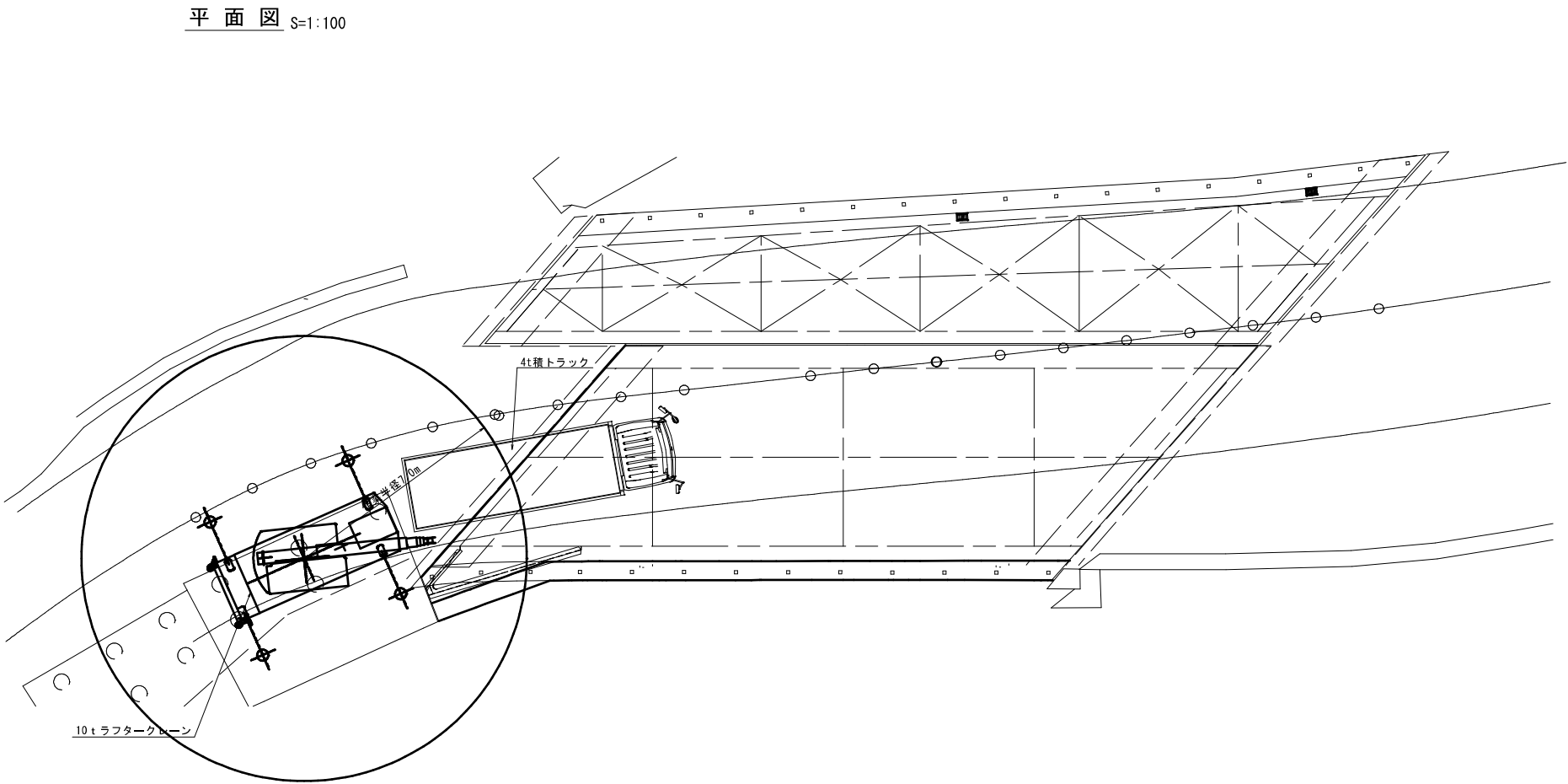
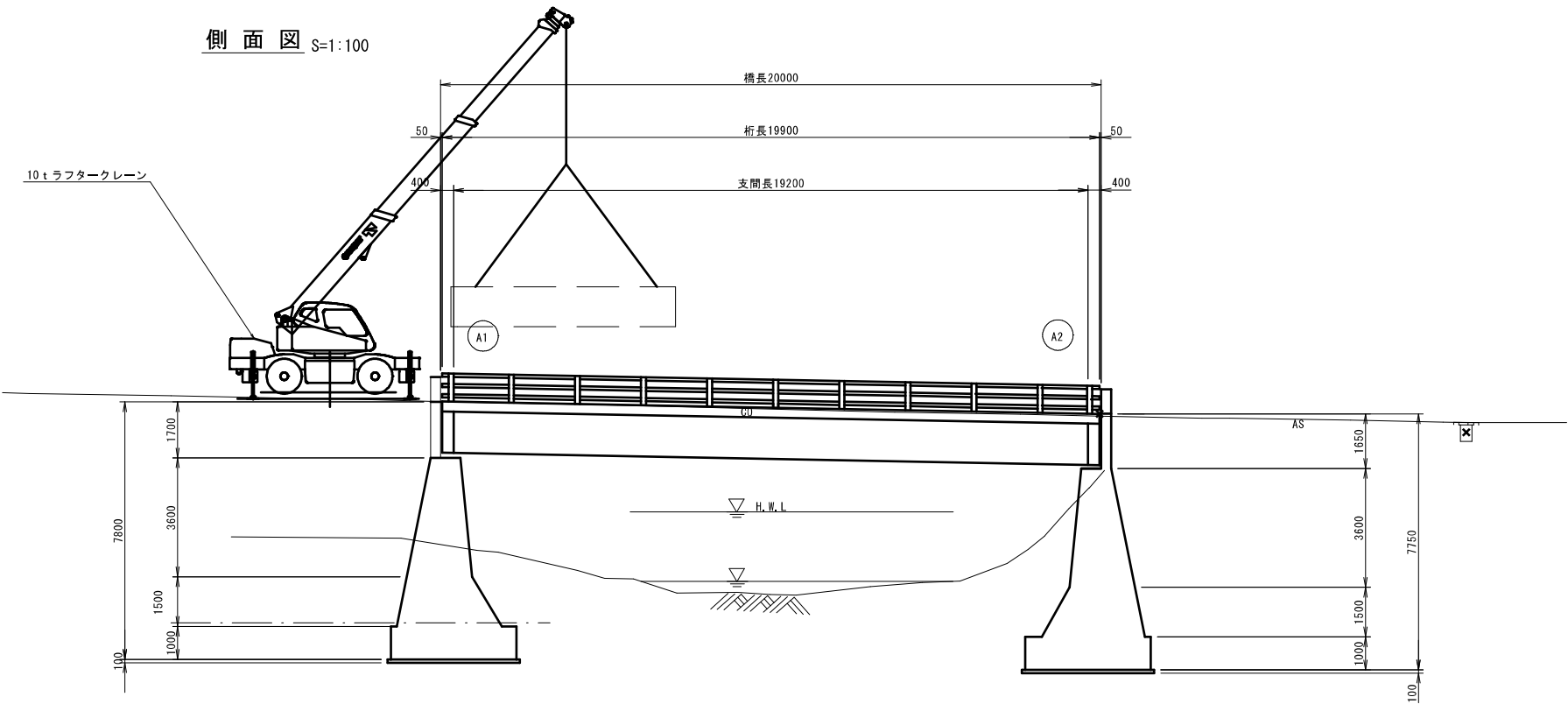


注)
1. 施工に先立っては、現地計測を十分に行い、
既設構造物の寸法確認を行うこと。

路線名	国道373号		
	国道373号（福原工区）改良工事 （2工区）（交付金改良）		
図名	撤去図（その3）		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	全 45	葉中の内	44
令和 8～9 年度施行		鳥取県	
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

拡幅桁架設図



10t ラフタークレーン
(KATO MR-100LSP)
吊り能力表 ブーム 12.7m

作業半径	重 量
6m	3.35t
7m	2.80t
8m	2.3t

アウトリガ最大張出 4.5m

架設重量 (桁1本当り重量)

主桁	1.50t
フック	0.30t
その他	0.20t
合計	2.00t

アウトリガ最大反力

左前	72kN
左後	81kN
右前	77kN
右後	78kN

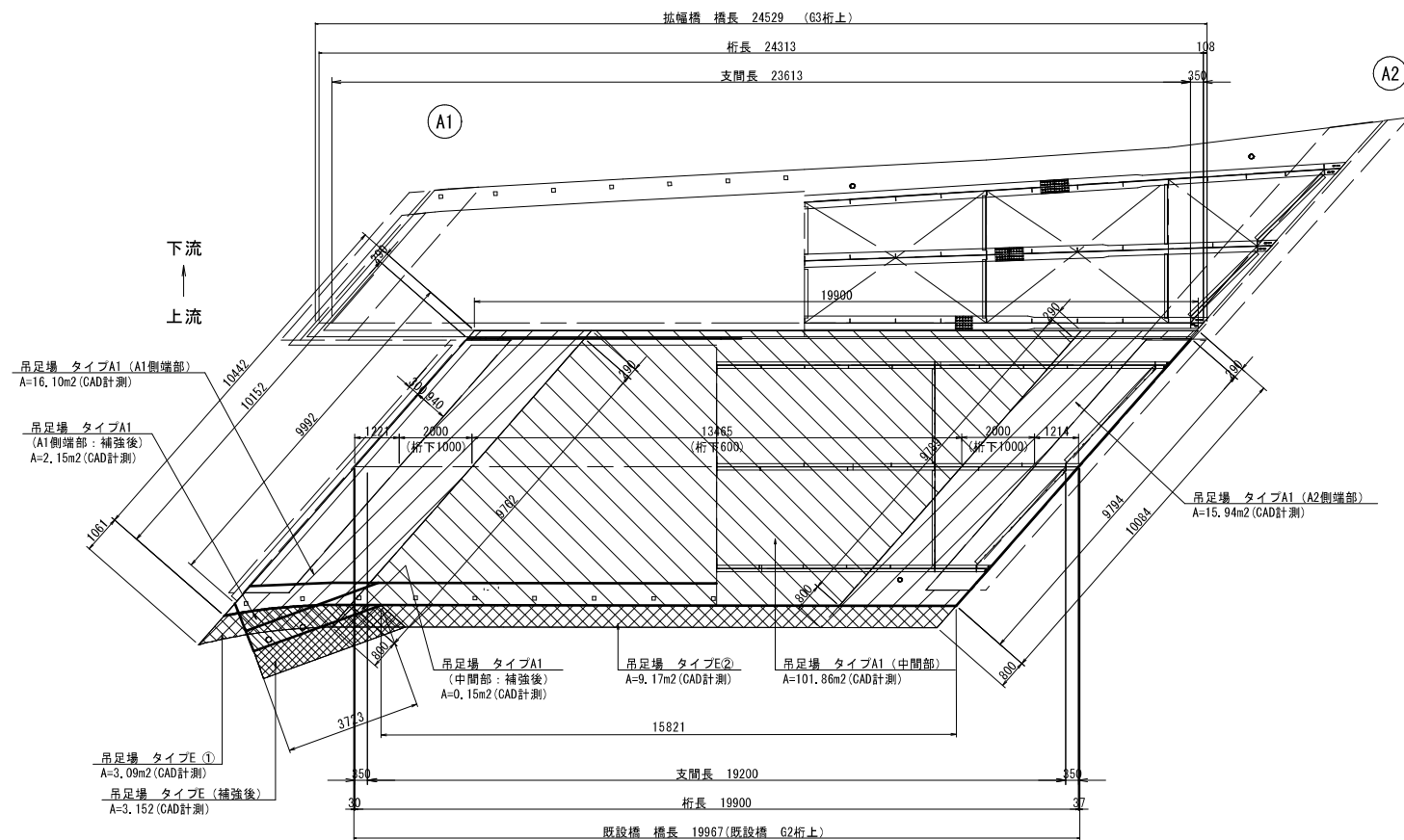
アウトリガ反力がB活荷重の軸荷重100kN以下のなので
擁壁張り出し床版の耐力には問題ない。

路線名	国道373号		
	国道373号(福原工区)改良工事 (2工区)(交付金改良)		
図 名	拡幅桁架設図		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	全 45	葉中の内	45
令和 8~9 年度施行 鳥取県			
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

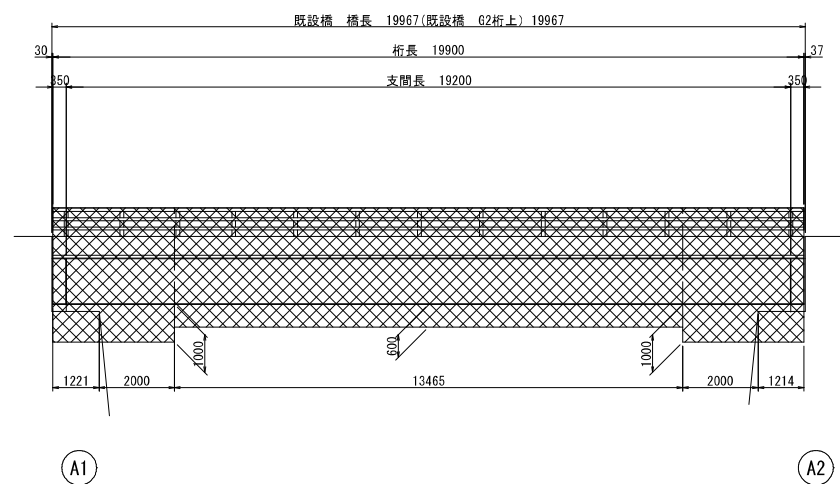
仮設計画図（その１）
旧橋部 吊足場（参考）

平面图 S=1:100



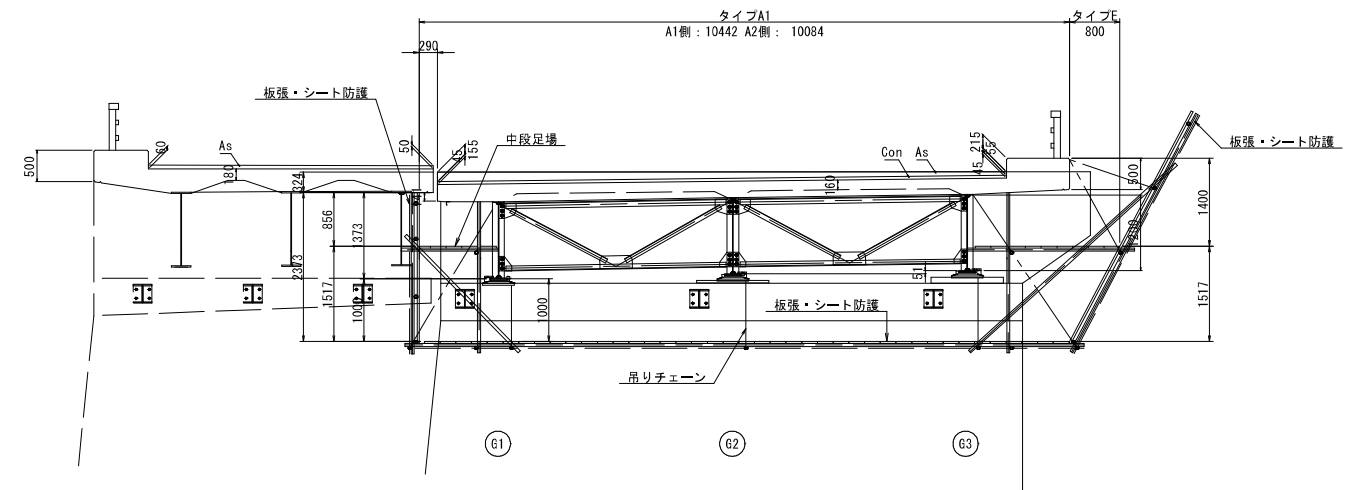
側 面 図 S=1:100

旧 橋 部



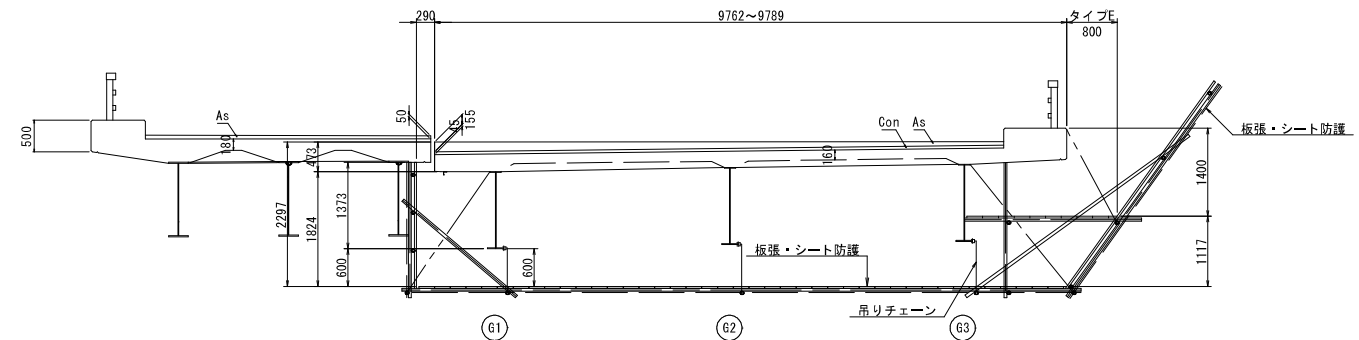
断面図 S=1:60

端音

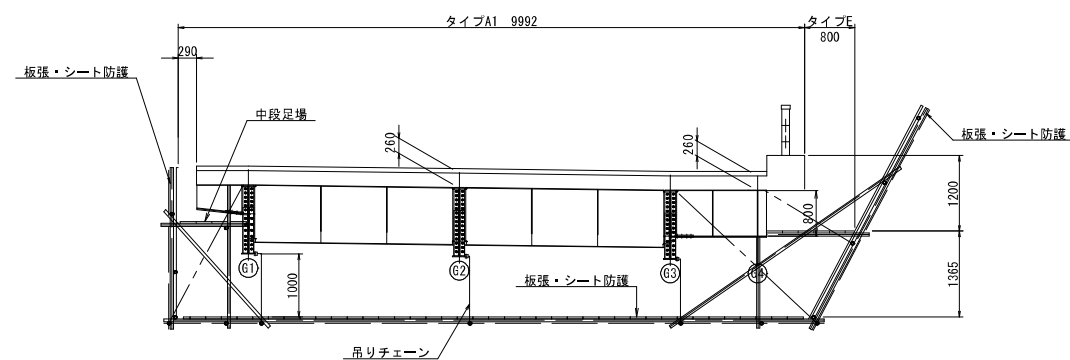


断面图 S=1:60

中間音



補強後断面図 S=1:60

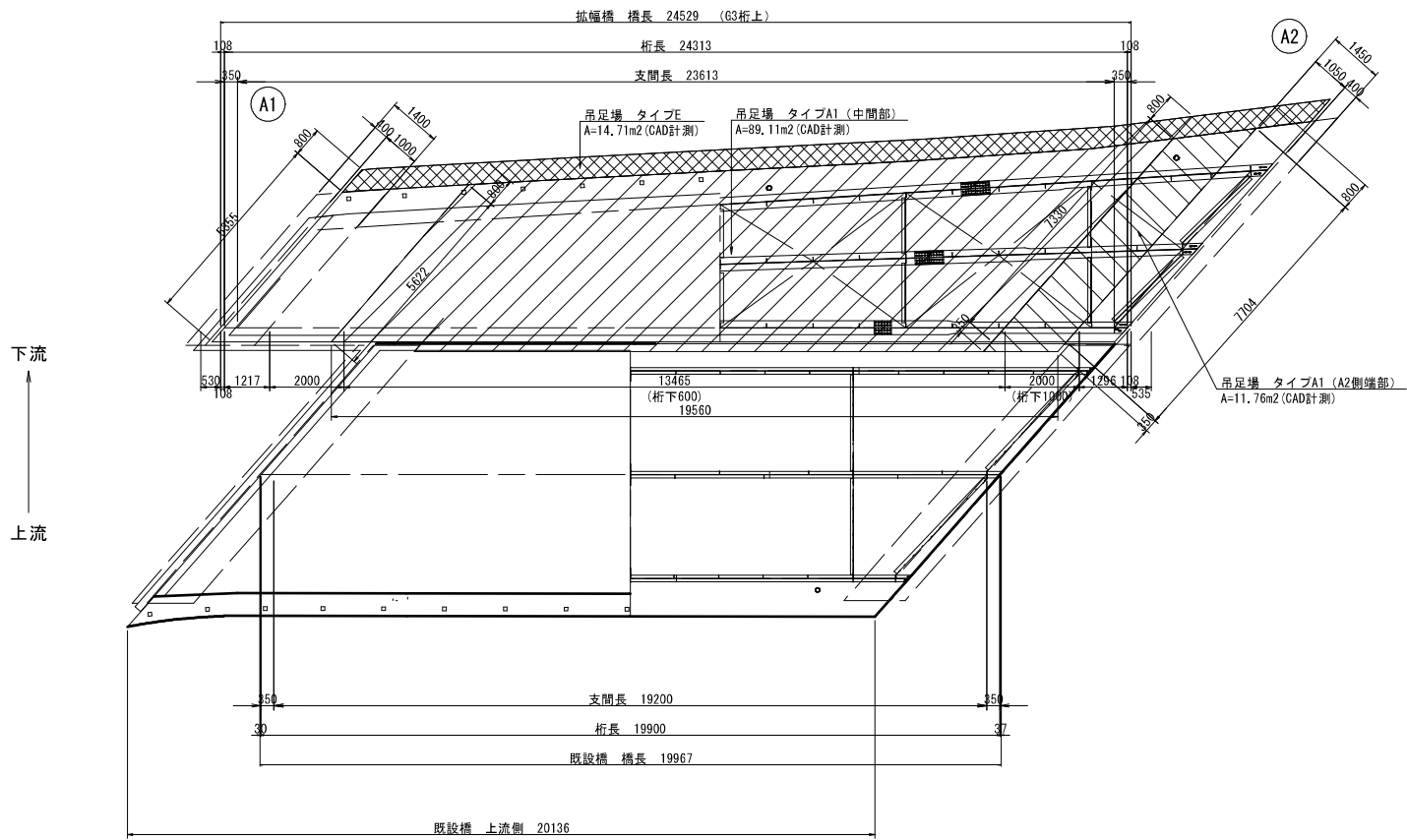


路線名	国道 373 号		
国道 373 号（福原工区）改良工事 （2 工区）（交付金改良）			
図 名	仮設計面図（その 1）		
位 置	八頭郡 智頭町 福原		
縮 尺	図示	単 位	M
図 号	参考図		
令和 8～9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

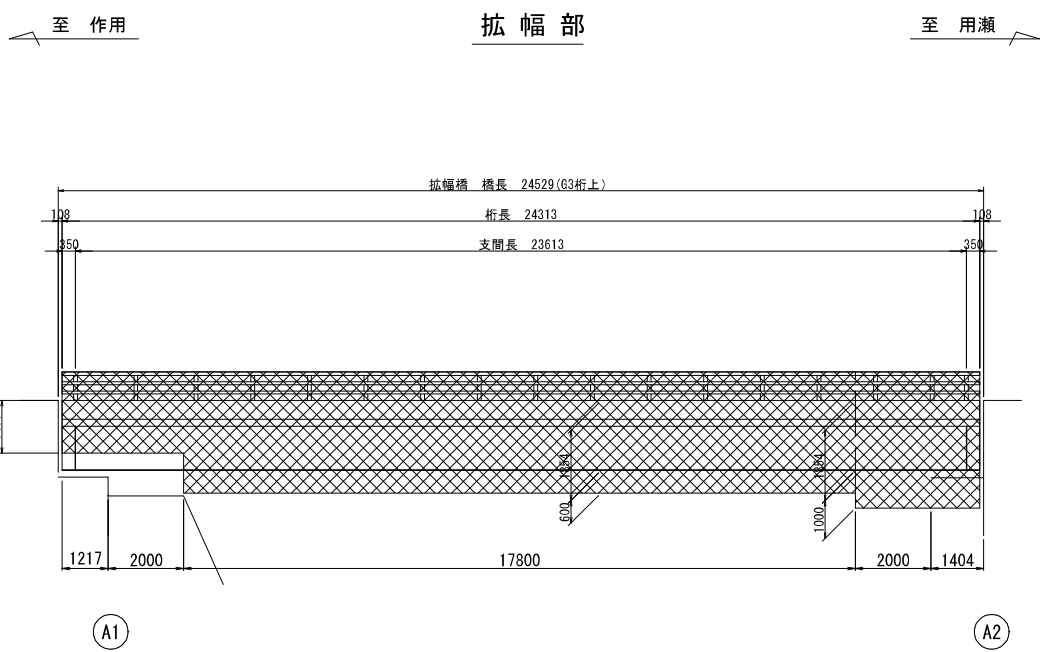
※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

仮設計画図（その2）
拡幅橋 吊足場（参考）

平面図 S=1:100

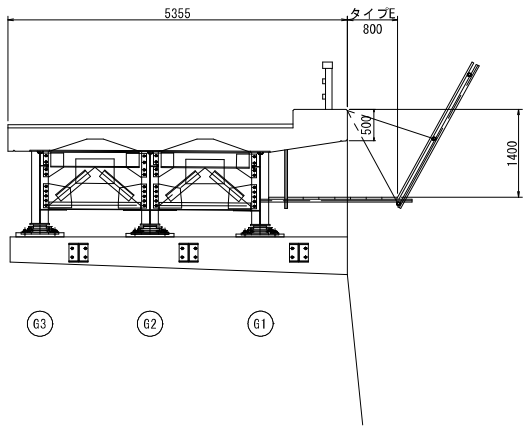


側面図 S=1:100

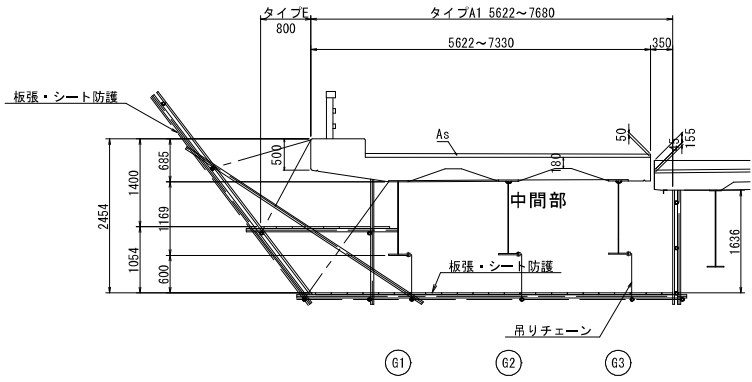


断面図 S=1/60

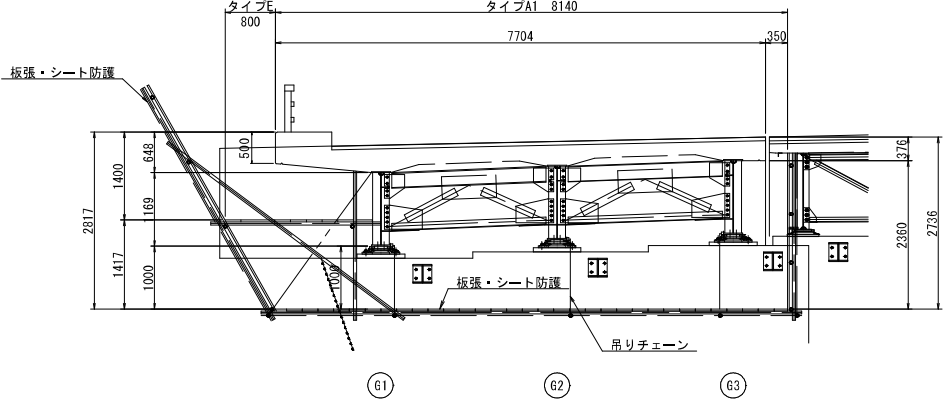
断面図 S=1:60
起点側端部



断面図 S=1:60
中間部



断面図 S=1:60
終点側端部



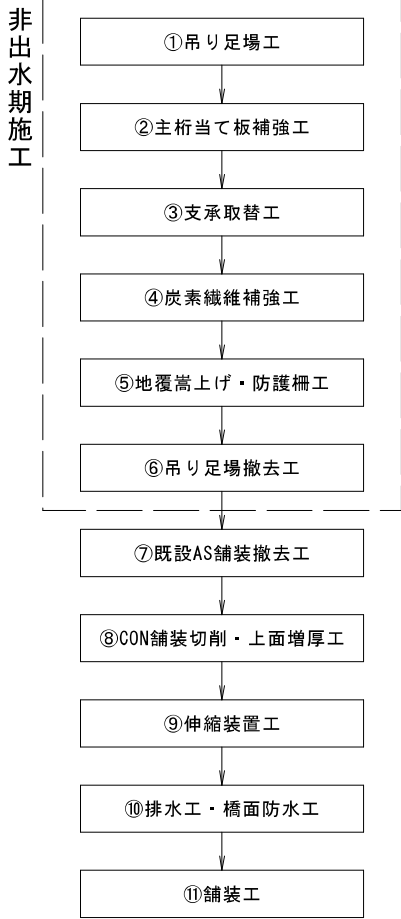
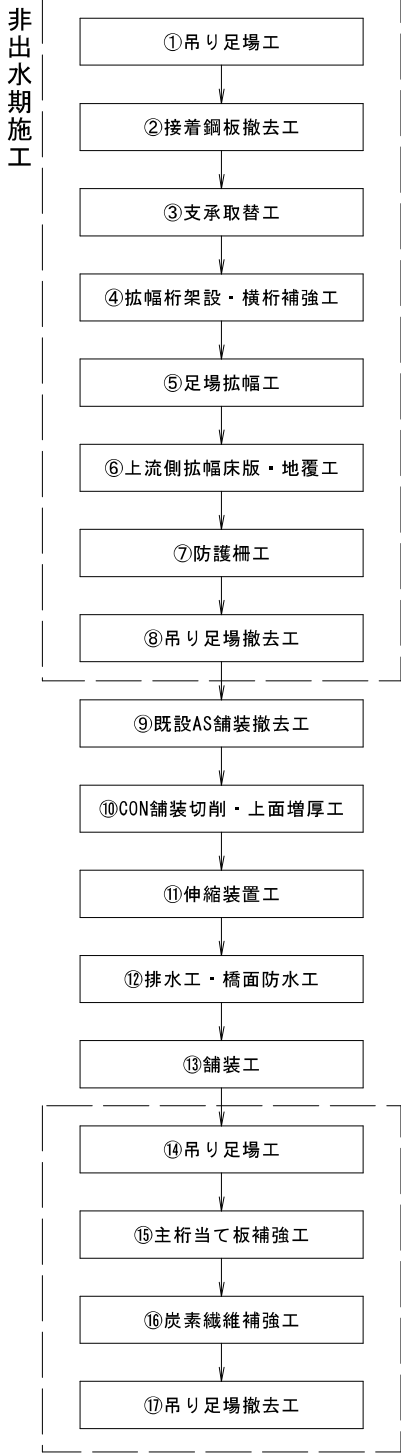
路線名	国道373号		
	国道373号(福原工区)改良工事 (2工区)(交付金改良)		
図名	仮設計画図(その2)		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	参考図		
令和 8~9 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2

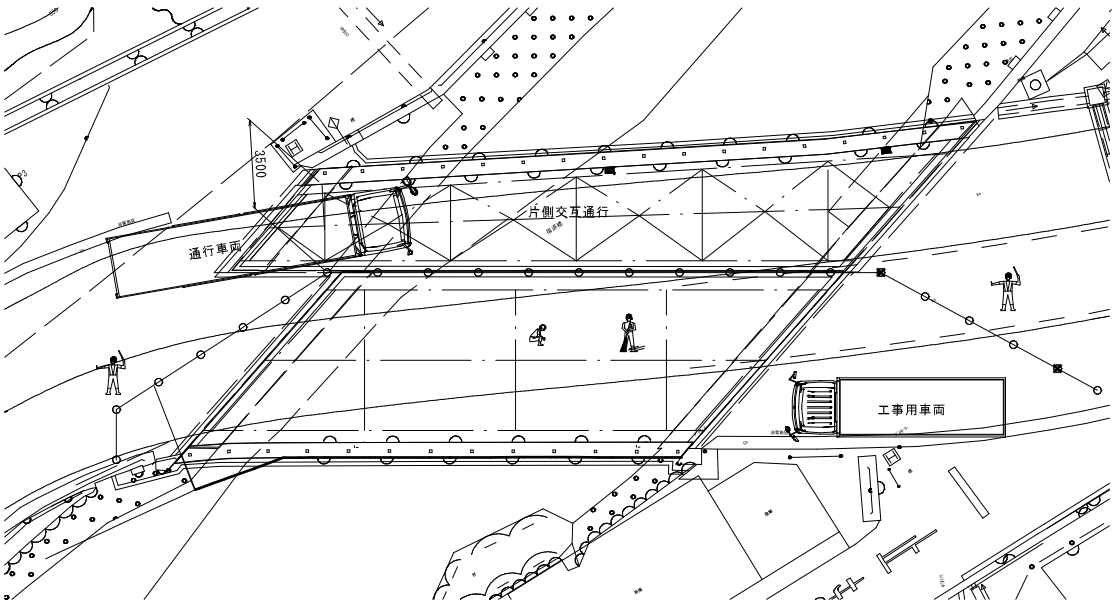
施工順序および交通規制図

既設橋（旧橋部）
施工手順

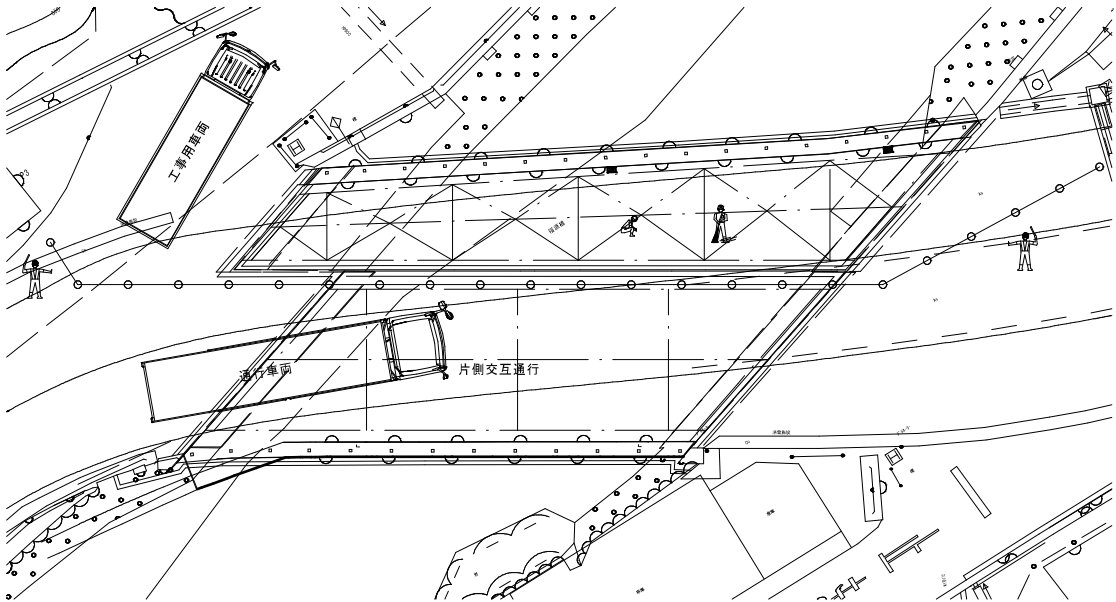
既設橋（拡幅部）
施工手順



既設橋（旧橋部）施工時
交通規制図（参考図）



既設橋（拡幅部）施工時
交通規制図（参考図）



路線名	国道３７３号		
	国道３７３号（福原工区）改良工事（２工区）（交付金改良）		
図名	施工順序および交通規制図		
位置	八頭郡 智頭町 福原		
縮尺	図示	単位	M
図号	参考図		
令和 ８～９ 年度施行			鳥取県
鳥取県 八頭県土整備事務所			

※A3印刷の場合、表示縮尺の1/2